

平成26年度岡山県学力・学習状況調査 調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成26年8月

目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・問題作成の基本方針	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較	3
(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較	3
(3) 各教科の正答数分布について	5
(4) 各教科のカテゴリー別正答率について	7
(5) 平均正答率が高い問題・低い問題	11
(6) 設問別の比較・出題のねらい	15
(7) 4教科の調査問題・正答・平均正答率	19
4 倉敷市の学習状況の特徴	73
(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問	74
(2) 自分自身について	76
(3) 家庭での様子について	77
(4) 学校での学習について	81
(5) その他の学習について	82
5 総括	83
(1) 学力調査の結果から	84
(2) 学習状況調査の結果から	85
(3) 考察	85
○ 倉敷市の取組	86
○ 〈参考資料〉	88

3 倉敷市の学力の特徴

市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較

	4教科			国語			社会			数学			理科		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
倉敷市平均	60.2	52.5	57.2	69.7	57.2	67.4	56.9	61.9	53.7	61.0	45.1	56.5	53.0	45.7	51.4
岡山県平均	62.1	53.2	57.9	71.4	58.0	67.4	58.7	62.4	53.9	63.2	46.2	57.7	54.9	46.0	52.4
県との差	-1.9	-0.7	-0.7	-1.7	-0.8	0.0	-1.9	-0.6	-0.3	-2.2	-1.1	-1.3	-1.8	-0.3	-1.0

○社会を除き、昨年度の平均正答率を上回っている。

○市の平均正答率は、国語では県平均と同じである。他の3教科は、県平均をわずかに下回っている。

○4教科の市と県との差は、昨年度とほぼ同じである。国語と社会は、2年続けて県との差が縮まり、国語は県平均と同じになった。

○数学・理科の県平均との差が課題である。

(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較

	国語		社会		数学		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
倉敷市平均	74.3	42.5	54.2	52.4	58.2	50.2	58.4	30.2
岡山県平均	74.0	43.6	54.0	53.7	59.6	51.0	59.3	31.8
県との差	0.4	-1.1	0.1	-1.3	-1.4	-0.8	-0.8	-1.6

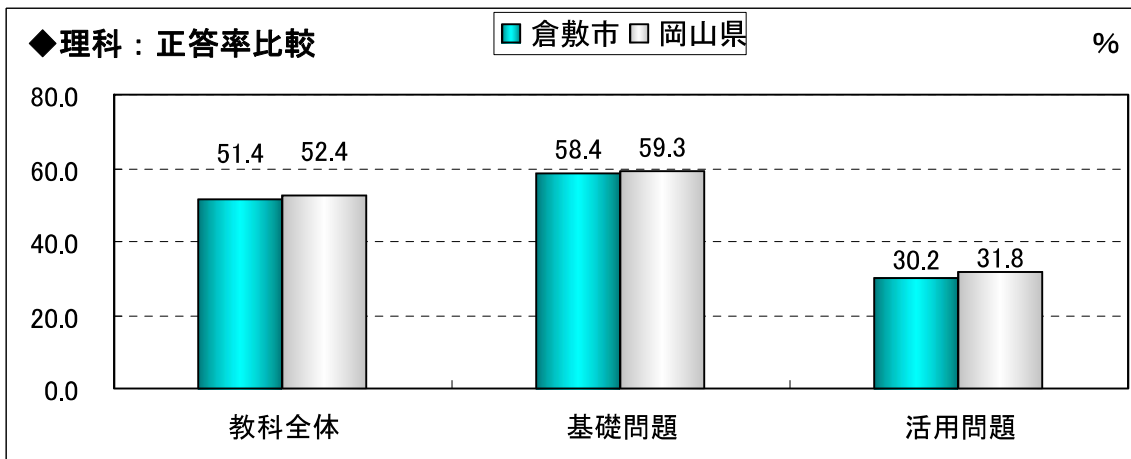
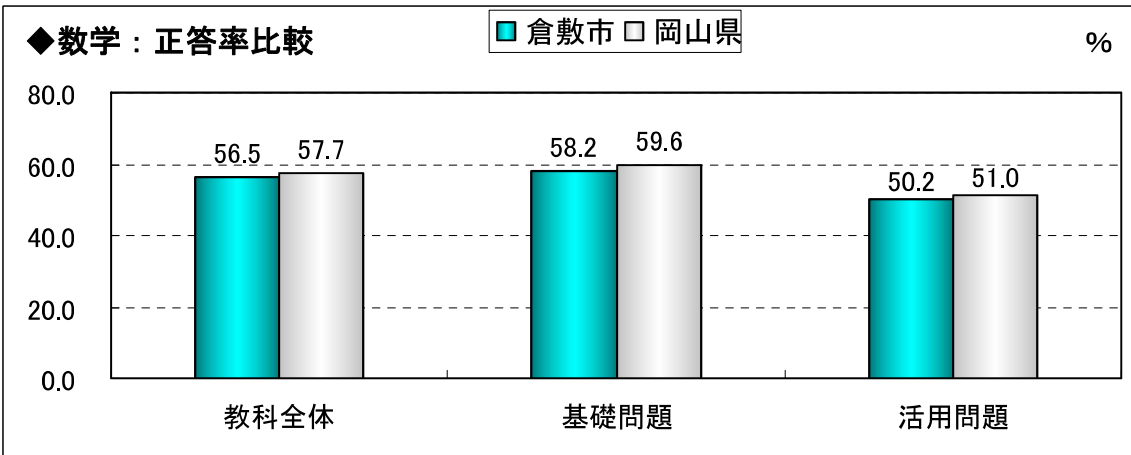
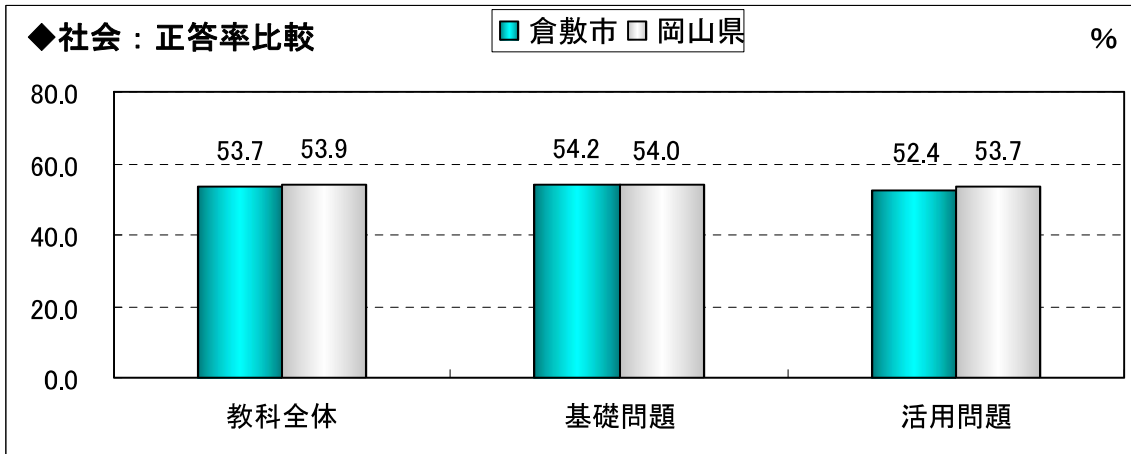
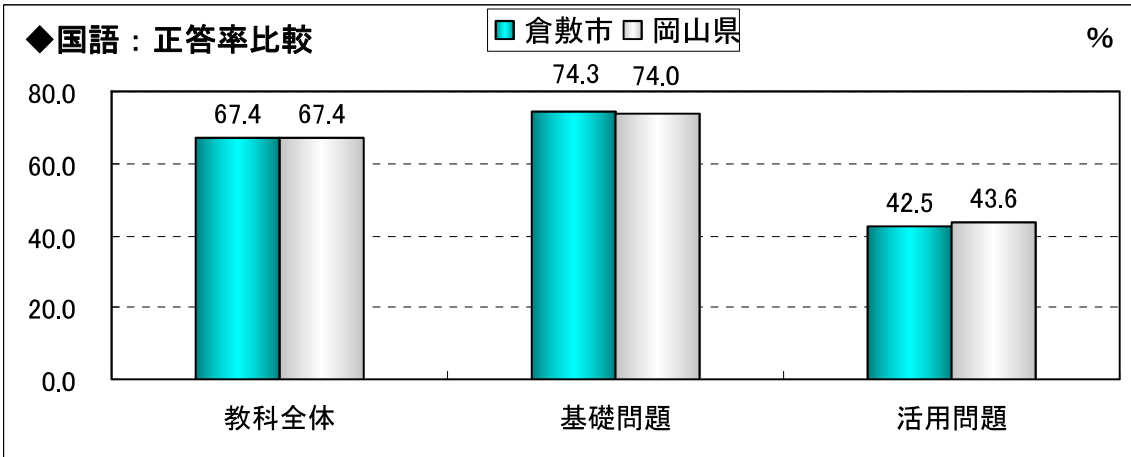
○平均正答率は、国語・社会の基礎は、県平均を上回っている。

○活用において、4教科とも県平均との差が大きい。

○数学は、基礎の方が県平均との差が大きい。

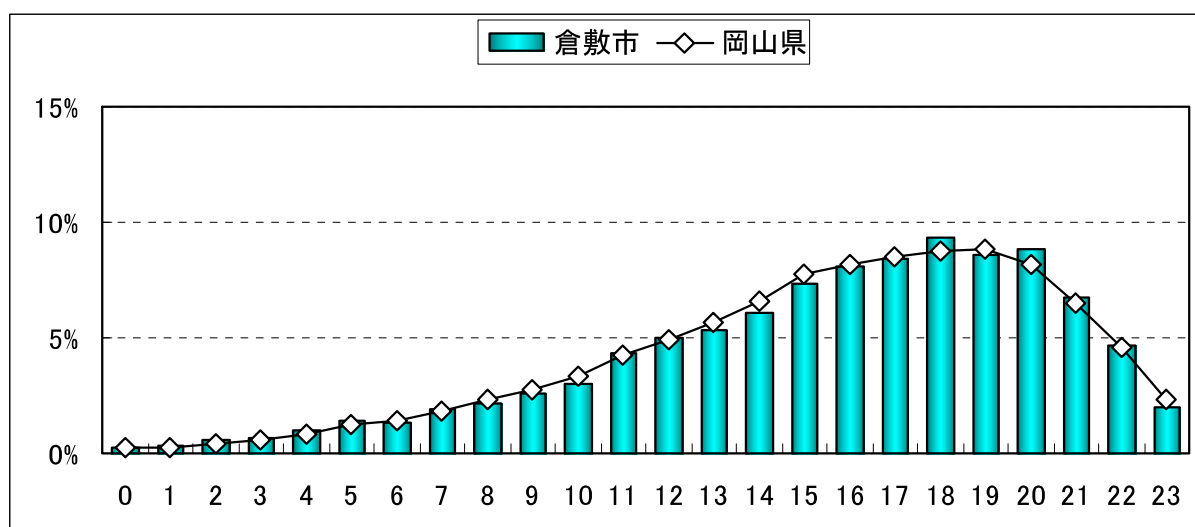
※各教科の設問数

国語(23問)		社会(24問)		数学(23問)		理科(20問)	
基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
18問	5問	17問	7問	18問	5問	15問	5問

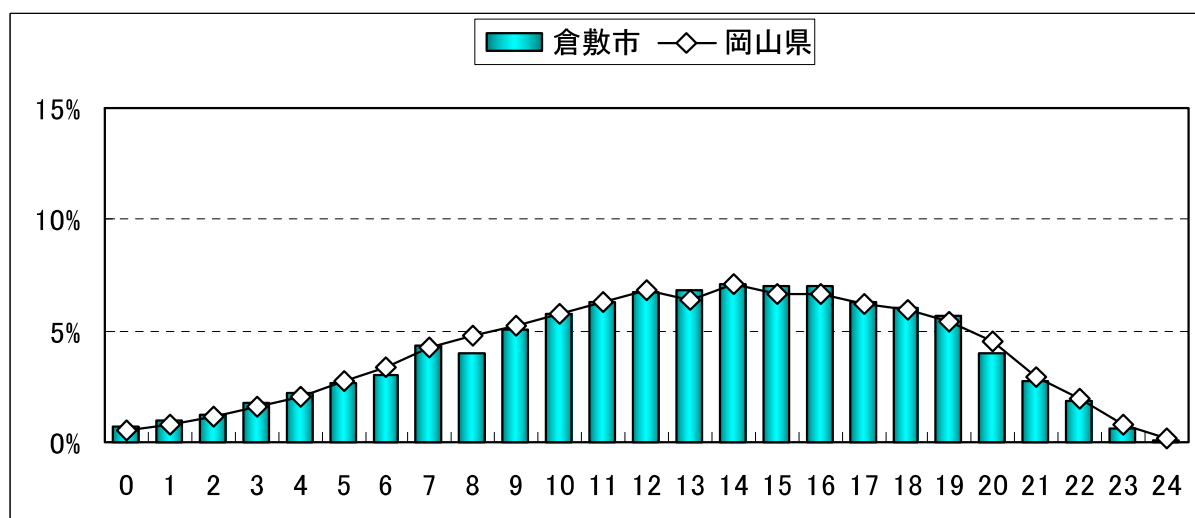


(3) 各教科の正答数分布について

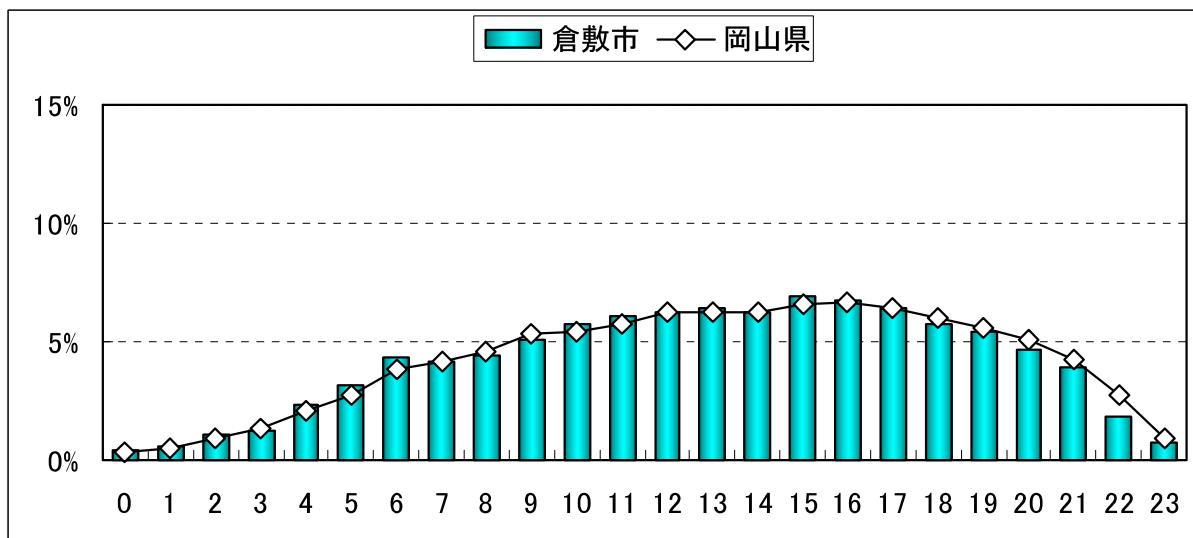
【国語】(全23問)



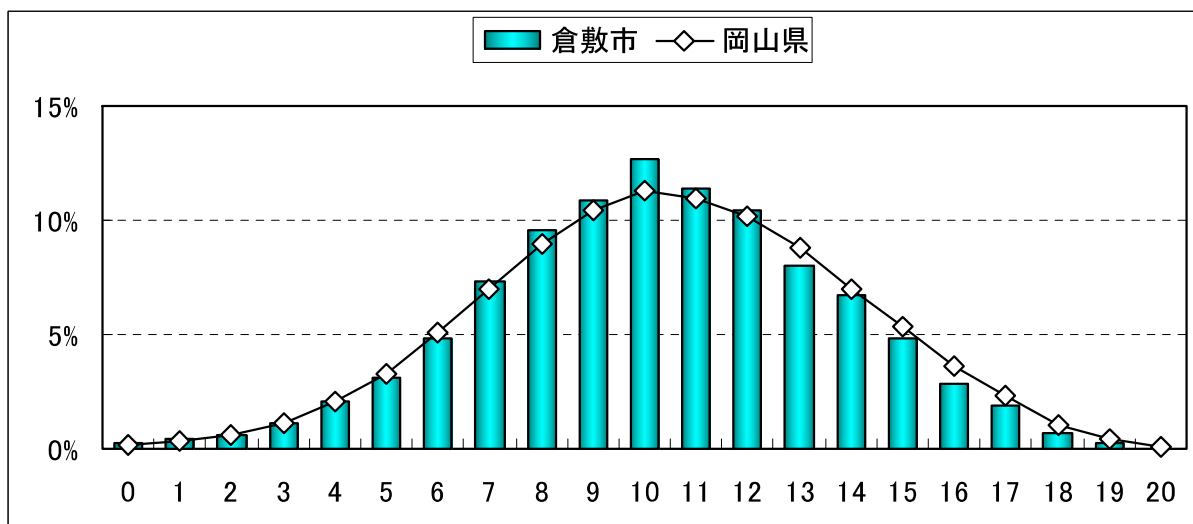
【社会】(全24問)



【数学】（全 23 問）



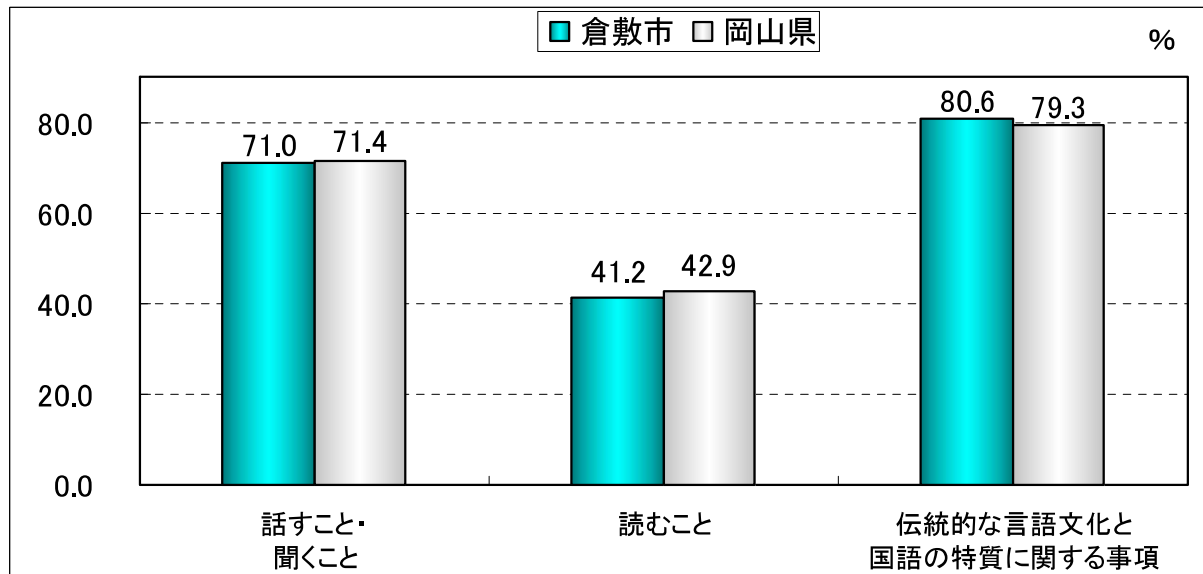
【理科】（全 20 問）



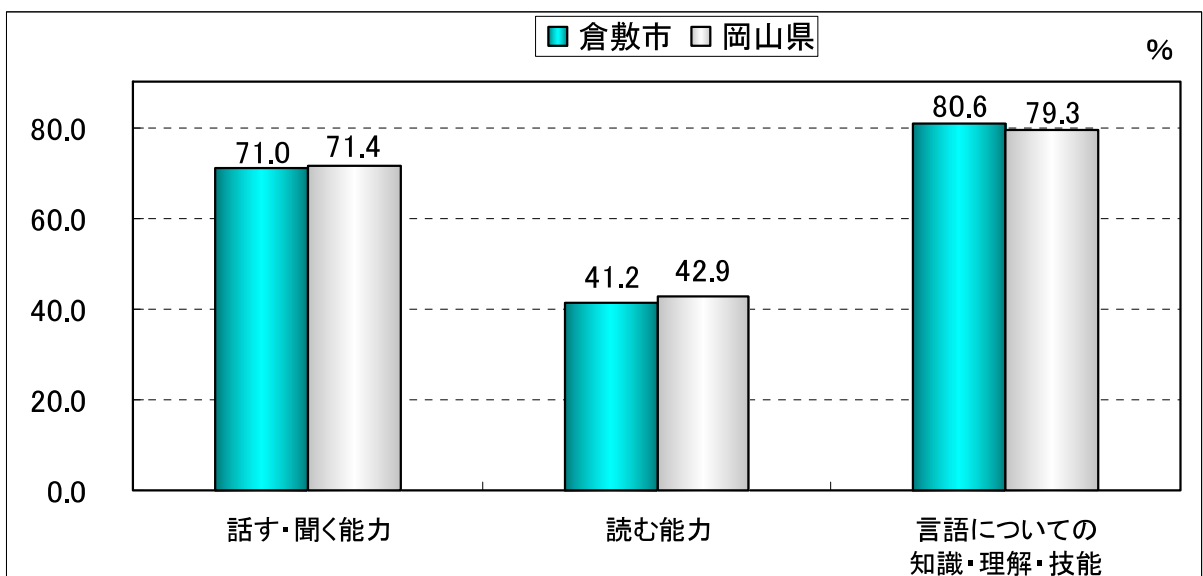
- 4 教科とも、正答数分布は、県と概ね同様の傾向になっている。
- 国語については、上位層の割合が県よりもやや高い。
- 社会については、中間層がやや多く、上位層がやや少ない。
- 数学については、上位層の割合が県よりもやや低く、下位層の割合が県よりもやや高い。
- 理科については、上位層の割合が県よりもやや低く、中間層の割合が県よりもやや高い。

（４）各教科のカテゴリー別正答率について

【国語・領域】



【国語・観点】

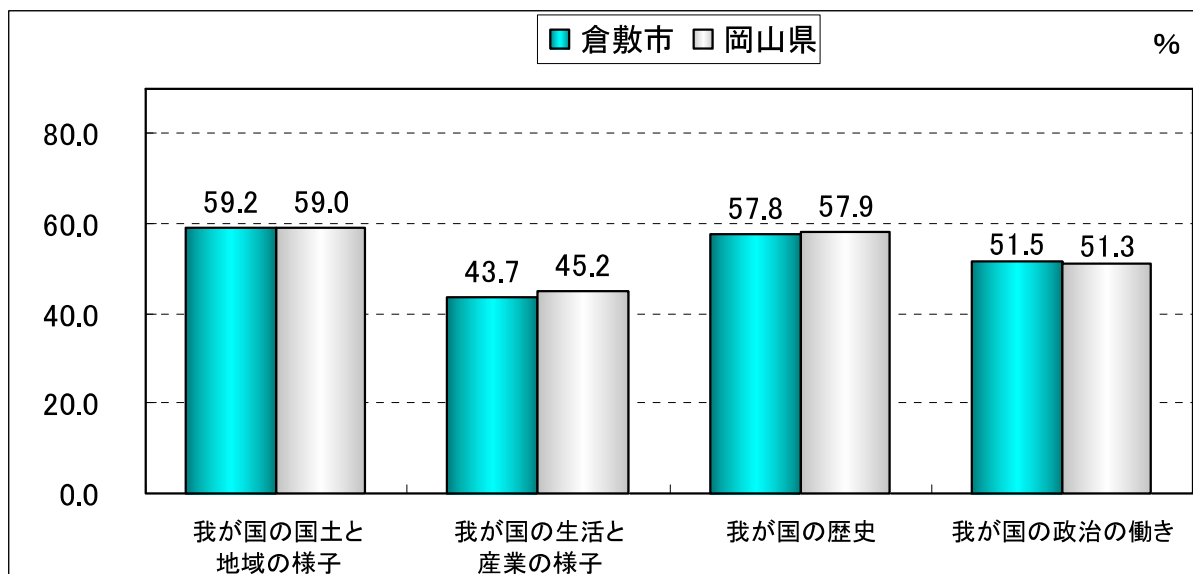


【領域】○県、市ともに、正答率の高い領域は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」であり、低い領域は、「読むこと」である。

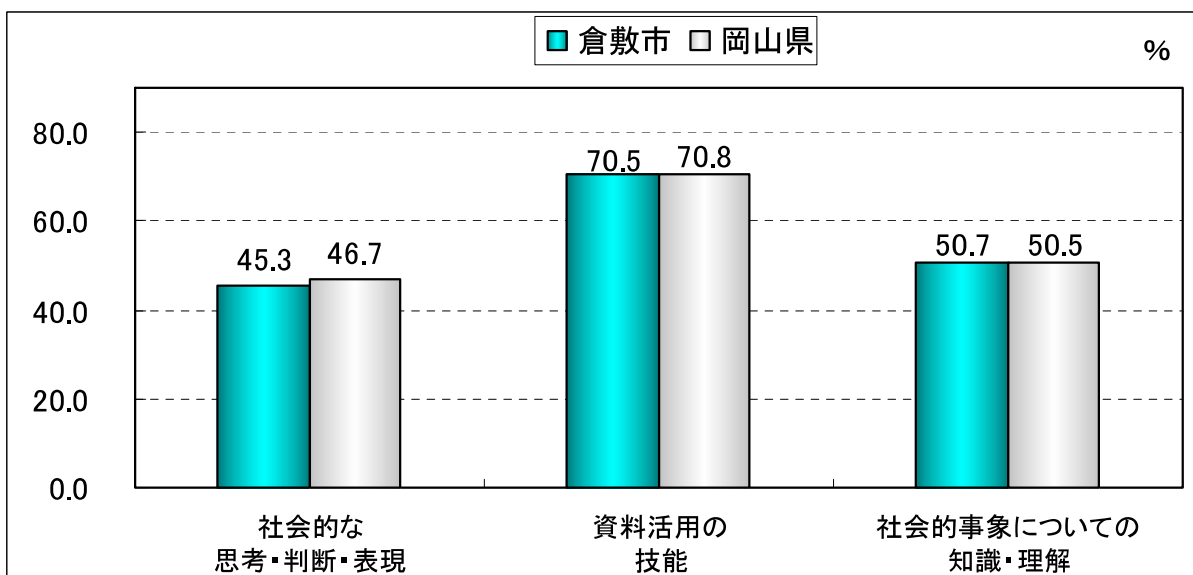
○H26は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、県平均を1.3ポイント上回っている。

【観点】○「読むこと」の正答率が低いとともに、県との差も大きい。特に初見の文章を読んで登場人物の心情を読み取ったり、読み取ったことを基に自分の考えを書いたりすることに課題が見られる。読書週間や朝読書等の活動を通して、読書力の向上を期待したい。

【社会・領域】



【社会・観点】

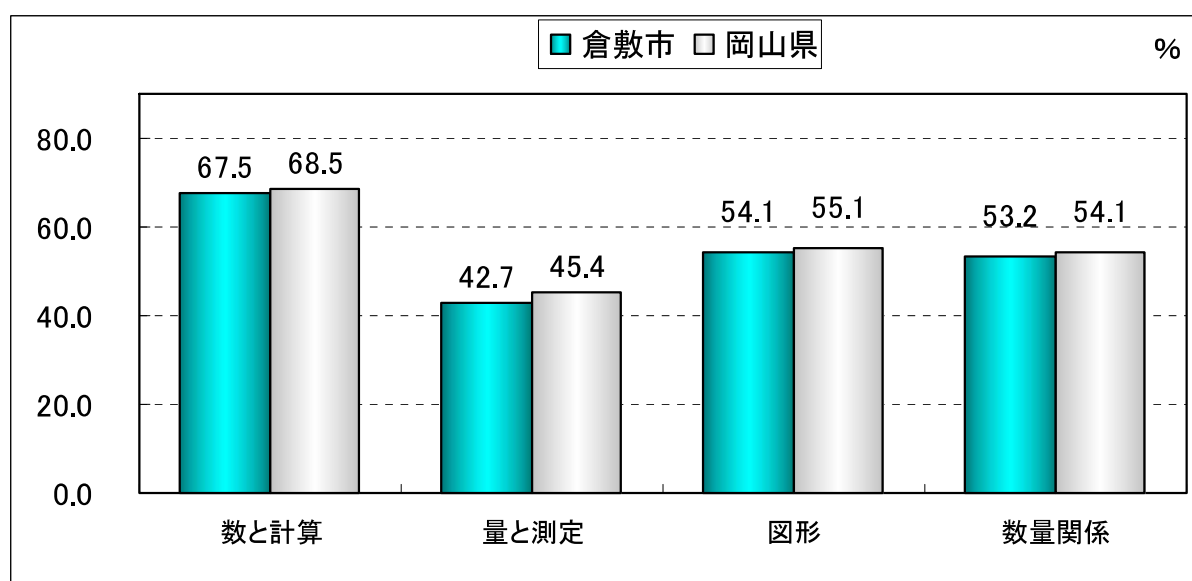


【領域】○問題の難易度が高かったためか、H25に比べて「我が国の産業」（県 72.0 → 45.2, 市 70.4 → 43.7）と「我が国の政治の働き」（県 76.6 → 51.3, 市 74.9 → 51.5）においては正答率が特に下がっている。

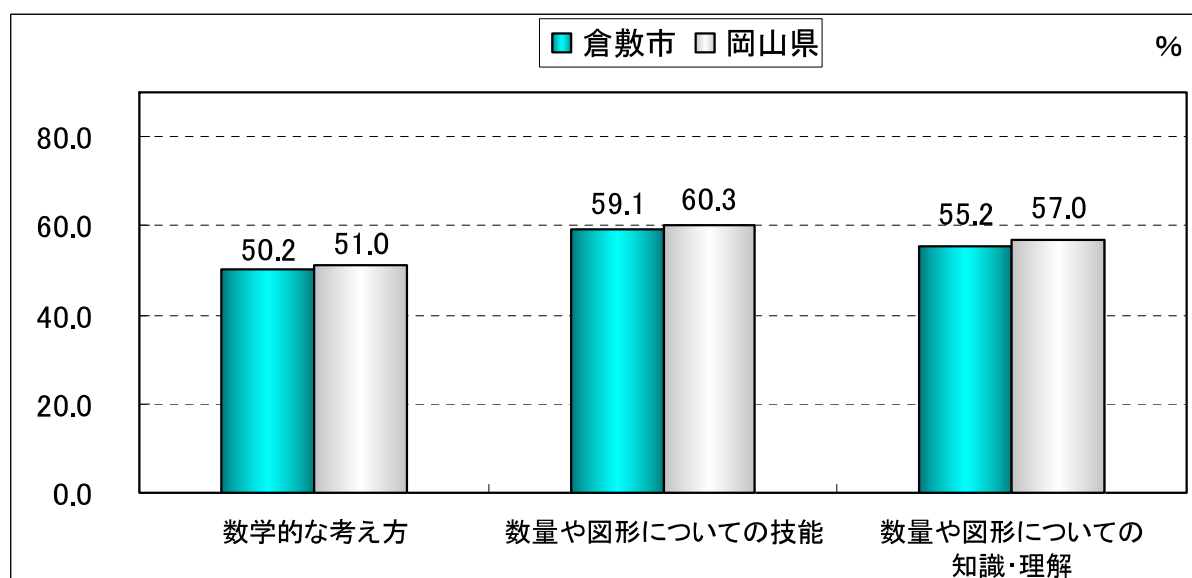
○「我が国の国土と地域の様子」と、「我が国の政治の働き」の領域において本市は、県平均をやや上回っている。「我が国の生活と産業の様子」においては、県平均を1ポイント以上下回っている。

【観点】○「資料活用の技能」は、県・市ともに平均正答率が高い。

【数学・領域】



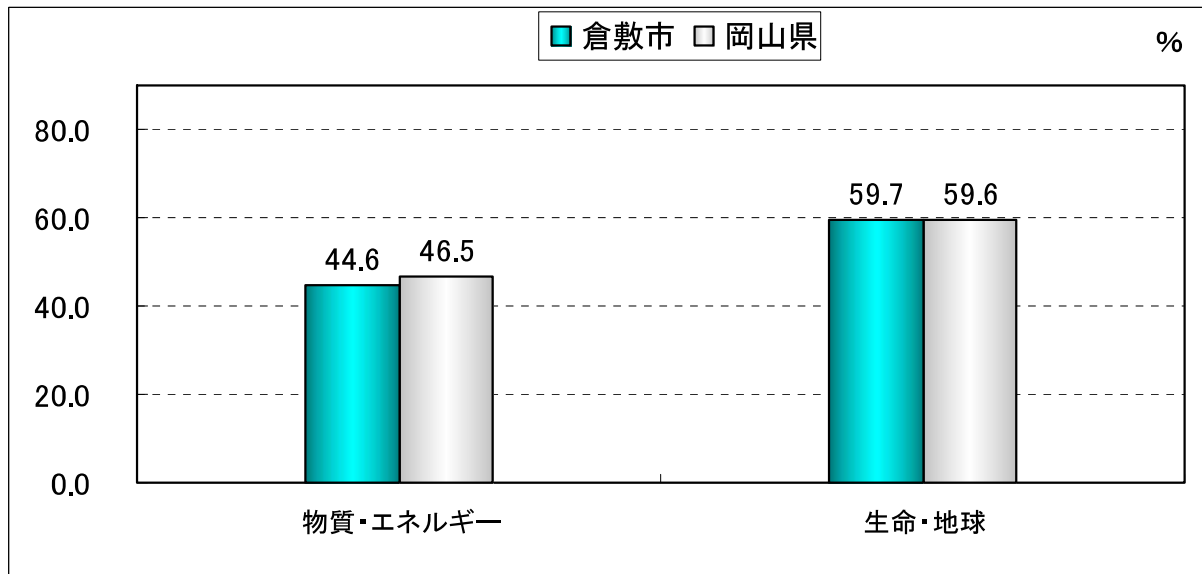
【数学・観点】



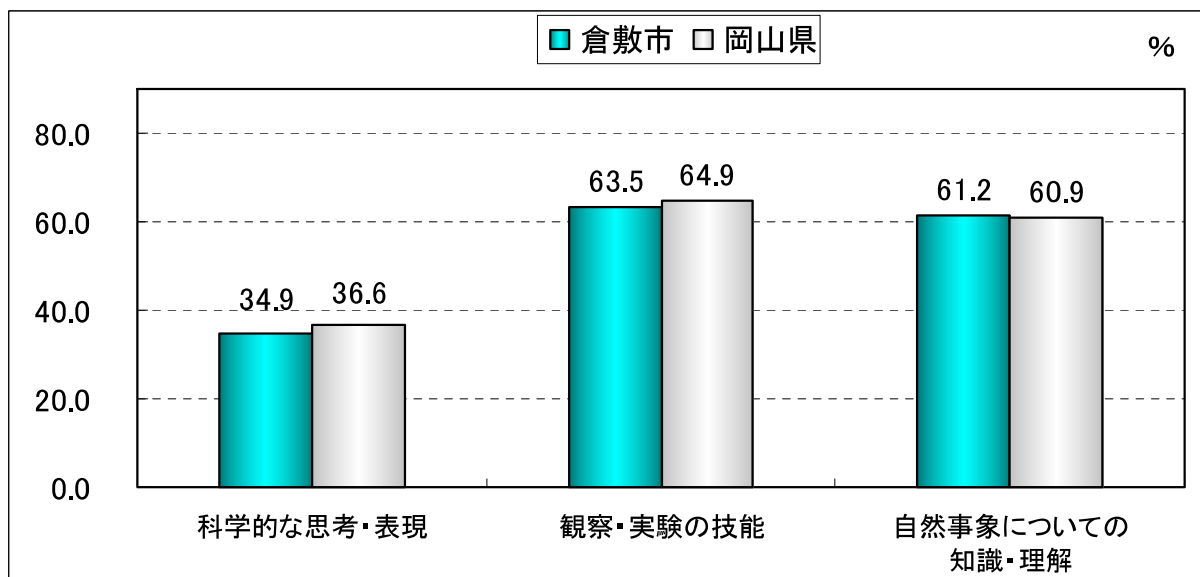
【領域】○4 領域とも県平均を下回っている。「数と計算」は、H25と比べて県と差が縮まり、改善傾向にある。(H25は-1.8)しかし、「量と測定」において逆に、H25と比べて、開きが大きくなっている。(H25は-0.7)

【観点】○3 観点とも、県平均よりやや低い、「数量や図形についての技能」については、H25と比べて県との差がやや縮まっている。(H25は-1.6)

【理科・領域】



【理科・観点】



【領域】○「生命・地球」の領域は県平均をわずかに上回っているが、「物質・エネルギー」は、県平均を下回っている。

【観点】○「自然事象についての知識・理解」は、正答率が県平均よりやや高いが、「科学的な思考・表現」「観察・実験の技能」は、正答率が県平均より低い。特に、実験結果を基に考察し、説明する力に引き続き課題が見られる。

(5) 平均正答率が高い問題・低い問題

◆各教科で、平均正答率が県平均よりも高い問題（上位3問）

国 語	[2-(4)] 【基礎】文法・語句に関する知識 ☆文の意味のつながりを考えて一文を二文に分けて書くことができる。	市	44.8
		県	37.6
		差	+7.2
	[2-(1)] 【基礎】文法・語句に関する知識 ☆文の定義を理解することができる。	市	58.0
		県	51.1
		差	+6.9
	[1-(2)②] 【基礎】漢字の読み ☆小学校で学習した漢字（コキュウ）を書くことができる。	市	84.6
		県	81.6
		差	+3.0

社 会	[6-(2)] 【基礎】日本国憲法 ☆国民の義務について理解している。	市	50.4
		県	45.5
		差	+4.9
	[3-(1)] 【基礎】日本の国土と人々のくらし ☆日本周辺の海洋の名称と位置を理解している。	市	79.2
		県	75.1
		差	+4.1
	[5-(5)①] 【基礎】日本の文化 ☆国風文化について理解している。	市	59.2
		県	55.8
		差	+3.4

数 学	[1-(2)] 【基礎】四則計算の性質 ☆減法と除法の混合した整数の計算（ $16-6\div2$ ）をすることができる。	市	83.3
		県	80.9
		差	+2.3
	[1-(3)] 【基礎】小数や分数の計算 ☆小数の加法（ $0.75+0.9$ ）の計算をすることができる。	市	81.0
		県	79.2
		差	+1.8
	[1-(4)] 【基礎】小数や分数の計算 ☆商（ $6\div5$ ）を分数で表すことができる。	市	77.7
		県	77.0
		差	+0.7

理 科	[2-(4)] 【基礎】魚のたんじょう ☆メダカの成魚は、水中の生物を食べていることを理解している。	市	45.5
		県	40.0
		差	+5.5
	[2-(2)] 【基礎】魚のたんじょう ☆受精について理解している。	市	89.9
		県	88.6
		差	+1.3
	[1-(1)] 【基礎】天気の様子と気温 ☆気温の測り方を理解している。	市	52.5
		県	51.7
		差	+0.9

◆各教科で、平均正答率が高い問題（上位３問）

国 語	[1－(1)①] 【基礎】漢字の読み ☆小学校で学習した漢字（重ねる）を読むことができる。	市	98.1
		県	97.9
		差	+0.2
	[1－(1)③] 【基礎】漢字の読み ☆小学校で学習した漢字（規則）を読むことができる。	市	93.0
		県	93.5
		差	-0.4
	[1－(2)③] 【基礎】漢字の書き ☆小学校で学習した漢字（アラウ）を書くことができる。	市	91.6
		県	91.7
		差	0.0

社 会	[5－(4)] 【基礎】日本の外交史 ☆元寇についての写真と説明を合致することができる。	市	91.1
		県	91.0
		差	+0.1
	[2－(2)②] 【基礎】くらしを支える水 ☆家庭での節水の取組と効果を理解している。	市	84.7
		県	86.3
		差	-1.7
	[3－(3)] ア・イ【活用】日本の国土と人々のくらし ☆人々のくらしとその土地の気候の関係を、資料を基に読み取る ことができる。	市	83.2
		県	83.9
		差	-0.7

数 学	[1－(1)] 【基礎】整数の減法・整数の性質・およその数 ☆繰り下がりのある減法（ $422-26$ ）の計算をすることができる。	市	85.5
		県	85.1
		差	+0.4
	[1－(2)] 【基礎】四則計算の性質 ☆減法と除法の混合した整数の計算（ $16-6\div2$ ）をすることができる。	市	83.3
		県	80.9
		差	+2.3
	[1－(3)] 【基礎】小数や分数の計算 ☆小数の加法（ $0.75+0.9$ ）の計算をすることができる。	市	81.0
		県	79.2
		差	+1.8

理 科	[2－(3)] 【基礎】魚のたんじょう ☆メダカの卵の変化を理解している。	市	93.2
		県	93.2
		差	0.0
	[1－(3)①] 【基礎】１年間の植物の成長 ☆グラフの読み取り方を身に付けている。	市	91.9
		県	91.5
		差	+0.3
	[2－(2)] 【基礎】魚のたんじょう ☆受精について理解している。	市	89.9
		県	88.6
		差	1.3

◆各教科で、県平均正答率を下回り、その差が大きい問題

(大きい方から3問)

国 語	[4-(1)] 【基礎】古典に関する文章の読み取り ☆文章に書かれている情景を想像しながら、描写を読み取ることができる。	市	61.3
		県	64.0
		差	-2.8
	[3-(1)ア] 【基礎】オープンスクールについての話し合い ☆目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	市	65.2
		県	67.4
		差	-2.2
	[4-(3)] 【活用】古典に関する文章の読み取り ☆文章に書かれている内容を理解したうえで、自分の考えを記述することができる。	市	61.6
		県	63.5
		差	-1.9

社 会	[6-(1)②] 【基礎】日本国憲法 ☆日本国憲法の原則について理解している。	市	24.1
		県	27.6
		差	-3.5
	[5-(1)] 【活用】日本の外交史 ☆歴史上の代表的なできごとなどから共通のテーマを見つけることができる。	市	68.9
		県	71.6
		差	-2.7
	[4-(2)] 【基礎】日本の食糧生産 ☆品種改良について理解している。	市	38.6
		県	41.1
		差	-2.5

数 学	[5-(3)] 【基礎】測定・面積・速さ ☆地図を観察して平行四辺形を見だし、その面積を求めることができる。	市	27.2
		県	31.8
		差	-4.6
	[5-(2)] 【基礎】測定・面積・速さ ☆道のり(km)と所要時間(分)から分速(m)を求めることができる。	市	41.9
		県	45.7
		差	-3.8
	[2-(1)] 【基礎】整数の減法・整数の性質・およその数 ☆2つの自然数(8と6)の最小公倍数を求めることができる。	市	77.6
		県	81.4
		差	-3.7

理 科	[4-(3)②] 【基礎】電流のはたらき ☆電磁石の性質から、ゲームの結果を予測できる。	市	33.2
		県	37.7
		差	-4.5
	[1-(2)] 【基礎】天気のようにすと気温 ☆くもりの日の1日の気温の変化を、グラフから読み取ることができる。	市	24.7
		県	28.3
		差	-3.6
	[4-(3)③] 【活用】電流のはたらき ☆電磁石の力を強くする方法を、電磁石の性質に基づいて説明することができる。	市	8.0
		県	11.1
		差	-3.1

◆各教科で、平均正答率が低い問題（低い方から３問）

国 語	[５－(２)①] 【活用】物語の読み取り ☆登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	市	28.5
		県	30.2
		差	-1.7
	[５－(１)] 【活用】物語の読み取り ☆登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	市	31.1
		県	31.4
		差	-0.4
	[４－(２)] 【基礎】古典に関する文章の読み取り ☆文章に書かれている短歌の特徴を理解したうえで、作者の意図を読み取ることができる。	市	31.5
		県	32.8
		差	-1.3

社 会	[４－(１)] 【基礎】日本の食糧生産 ☆兼業農家について理解している。	市	3.1
		県	4.1
		差	-1.1
	[６－(１)②] 【基礎】日本国憲法 ☆日本国憲法の原則について理解している。	市	24.1
		県	27.6
		差	-3.5
	[２－(２)①] 【活用】くらしを支える水 ☆取水制限が行われた時期を複数の資料をもとに判断し、その内容を説明することができる。	市	31.7
		県	32.2
		差	-0.6

数 学	[３－(２)] 【基礎】小数や分数の計算 ☆１に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している。	市	17.9
		県	21.3
		差	-3.4
	[２－(３)] 【基礎】測定・面積・速さ ☆円周の長さから、その円の面積を求めることができる。	市	24.2
		県	27.9
		差	-3.7
	[４－(１)] 【基礎】資料の分類整理 ☆二次元表の中の欄が表す事柄を２つの項目と単位に着目して読み取り、記述できる。	市	24.2
		県	25.0
		差	-0.8

理 科	[４－(３)③] 【活用】電流のはたらき ☆電磁石の力を強くする方法を、電磁石の性質に基づいて説明することができる。	市	8.0
		県	11.1
		差	-3.1
	[１－(４)] 【活用】１年間の植物の成長 ☆実験の条件の問題点を指摘し、説明することができる。	市	10.0
		県	11.4
		差	-1.4
	[４－(３)①] 【基礎】電流のはたらき ☆磁石の性質から、ゲームの結果を予測できる。	市	22.4
		県	24.1
		差	-1.7

(6) 設問別比較・出題のねらい

国 語

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	出題のねらい	倉敷市	県	県との差	正答率比較グラフ		無解答率		
				選択	短答	記述	イ	エ	オ							-10	10	倉敷市	県	
1	1	(1)	①		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(重ねる)を読むことができる。	98.1	97.9	0.2			0.5	0.5	
2			②		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(至急)を読むことができる。	85.6	86.8	-1.1			2.9	2.6	
3			③		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(規則)を読むことができる。	93.0	93.5	-0.4			2.3	2.1	
4		(2)	①		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(ビョウイン)を書くことができる。	82.2	83.4	-1.2			3.3	3.2	
5			②		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(コキュウ)を書くことができる。	84.6	81.6	3.0			5.4	6.4	
6			③		☆				◎	○		小学校で学習した漢字(アラウ)を書くことができる	91.6	91.7	0.0			3.4	3.3	
7	2	(1)			☆				◎	○		文の定義を理解することができる(はじめの5文字を抜き出す)	58.0	51.1	6.9			10.7	10.8	
8		(2)		☆					◎	○		小学校で学習した漢字を理解することができる(「キカン」)	83.2	84.3	-1.0			0.8	0.7	
9		(3)		☆						◎	○		多義語を理解することができる。(「出す」と同じ意味の文)	84.7	84.8	-0.1			0.8	0.7
10		(4)			☆					◎	○		文の意味のつながりを考えて一文を二文に分けて書くことができる。	44.8	37.6	7.2			7.8	12.9
11	3	(1)	ア		☆		◎				○	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	65.2	67.4	-2.2			8.7	7.9	
12			イ		☆		◎				○	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	67.3	68.6	-1.3			8.5	7.9	
13			ウ		☆		◎				○	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	81.2	82.0	-0.8			8.3	7.7	
14		(2)		☆			◎				○	目的に応じて文章を読み取り、司会の役割を理解した上で話し合いを進行することができる。	86.7	86.1	0.6			1.3	1.1	
15		(3)		☆			◎				○	目的に応じて文章を読み取り、話し合いでの発言の意図を理解することができる。	70.5	70.0	0.5			1.6	1.4	
16		(4)		☆			◎				○	目的に応じて文章を読み取り、司会の役割を理解することができる。	68.2	67.6	0.6			1.9	1.7	
17		(5)				☆	◎					○	目的に応じて文章を読み取り、話し合いの流れに沿った適切な文章を記述することができる。	57.8	57.8	0.0			15.1	16.2
18	4	(1)			☆			◎			○	文章に書かれている情景を想像しながら、描写を読み取ることができる。	61.3	64.0	-2.8			5.9	5.5	
19		(2)		☆				◎			○	文章に書かれている短歌の特徴を理解したうえで、作者の意図を読み取ることができる。	31.5	32.8	-1.3			3.0	2.8	
20		(3)				☆		◎			○	文章に書かれている内容を理解したうえで、自分の考えを記述することができる。	61.6	63.5	-1.9			15.2	15.1	
21	5	(1)		☆				◎			○	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	31.1	31.4	-0.4			8.3	7.3	
22		(2)	①			☆		◎			○	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	28.5	30.2	-1.7			22.0	20.7	
23			②			☆		◎			○	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	33.5	35.2	-1.7			27.1	25.9	
教科の正答率													67.4	67.4	0.0					

【問題形式について】「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

【観点について】 観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)話す・聞く能力、(エ)読む能力、(オ)言語についての知識・理解・技能

社 会

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	出題のねらい	倉敷市	県	県との差	正答率比較グラフ		無解答率		
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ							-10	10	倉敷市	県	
1	1	(1)		☆				◎		○		地図記号や縮尺の知識を基に、距離を読み取ることができる。	66.5	65.0	1.4			0.4	0.4	
2		(2)			☆			◎		○		地図記号等の知識を基に、絵の様子を読み取り、地図の内容と合致することができる。	64.2	64.4	-0.2			0.9	0.7	
3		(3)				☆	◎				○		自動車工場が集中する理由を、複数の資料を基に考察し、説明することができる。	32.0	33.0	-0.9			9.9	10.4
4	2	(1)		☆				◎	○			森林の役割を理解している。	65.3	66.5	-1.2			0.4	0.4	
5		(2)	①			☆	◎			○		取水制限が行われた時期を、複数の資料を基に判断し、その内容を説明することができる。	31.7	32.2	-0.6			3.5	3.5	
6		(2)	②	☆					◎	○		家庭での節水の取組と効果を理解している。	84.7	86.3	-1.7			2.9	2.5	
7	3	(1)		☆				◎	○			日本周辺の海洋の名称と位置を理解している。	79.2	75.1	4.1			1.1	1.0	
8		(2)		☆					◎	○		都道府県の名称と位置を理解している。	42.1	41.9	0.2			1.3	1.1	
9		(3)	アイ		☆				◎		○	人々の暮らしとその土地の気候の関係について、資料をもとに読み取ることができる。(札幌と那覇)	83.2	83.9	-0.7			2.4	2.2	
10		(3)	ウ			☆			◎		○	沖縄の気候と伝統的な住宅の関係について、資料をもとに読み取ることができる。	47.5	49.5	-2.0			8.4	7.5	
11	4	(1)			☆				◎	○		兼業農家について理解している。	3.1	4.1	-1.1			35.2	35.8	
12		(2)			☆				◎	○		品種改良について理解している。	38.6	41.1	-2.5			27.7	26.9	
13		(3)				☆	◎				○		日本の米づくり農家の工夫について、資料を基に考察し、説明することができる。	39.2	40.9	-1.8			20.8	21.2
14	5	(1)			☆			◎			○	歴史の代表的なできごとなどから共通のテーマを見つけることができる。	68.9	71.6	-2.7			6.3	5.8	
15		(2)		☆				◎			○	歴史上のできごとを、年代順に整理することができる。	54.5	55.8	-1.3			2.0	1.8	
16		(3)		☆					◎	○		聖徳太子について理解している。	57.6	58.5	-0.9			1.7	1.5	
17		(4)		☆					◎		○	元寇についての写真と説明を合致することができる。	91.1	91.0	0.1			2.5	2.4	
18		(5)	①		☆					◎	○		国風文化について理解している。	59.2	55.8	3.4			12.2	12.7
19		(5)	②		☆					◎	○		国風文化について理解している。	37.9	35.3	2.6			21.9	24.4
20		(5)	③		☆					◎	○		国風文化について理解している。	35.4	37.1	-1.7			15.5	16.2
21		6	(1)	①		☆				◎	○		日本国憲法の原則について理解している。	63.7	62.9	0.8			18.2	19.1
22	(1)		②		☆					◎	○		日本国憲法の原則について理解している。	24.1	27.6	-3.5			13.0	13.1
23	(1)		③		☆					◎	○		日本国憲法の原則について理解している。	68.0	69.4	-1.4			16.5	16.6
24	(2)			☆						◎	○		国民の義務について理解している。	50.4	45.5	4.9			4.1	3.7
													53.7	53.9	-0.3					

【問題形式について】「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

【観点について】 観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現、(ウ)資料活用の技能、(エ)社会的事象についての知識・理解

数 学

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	出題のねらい	倉敷市	県	県との差	正答率比較グラフ		無解答率		
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ							-10	10	倉敷市	県	
1	1	(1)			☆			◎		○	繰り下がりのある減法(422－26)の計算をすることができる。	85.5	85.1	0.4			0.4	0.2		
2		(2)			☆			◎		○	減法と除法の混合した整数の計算(16－6÷2)をすることができる。	83.3	80.9	2.3			0.5	0.4		
3		(3)			☆			◎		○	小数の加法(0.75＋0.9)の計算をすることができる。	81.0	79.2	1.8			0.5	0.5		
4		(4)			☆			◎		○	商(6÷5)を分数で表すことができる。	77.7	77.0	0.7			2.7	2.8		
5		(5)			☆			◎		○	小数と分数の混合した乗法(150×0.8×2/3)の計算をすることができる。	70.8	72.2	－1.3			5.7	5.2		
6	2	(1)			☆			◎		○	2つの自然数(8と6)の最小公倍数を求めることができる。	77.6	81.4	－3.7			2.6	1.9		
7		(2)		☆					◎	○	概数にする際、1つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している。	66.1	67.0	－0.9			2.0	1.9		
8		(3)			☆				◎		○	円周の長さから、その円の面積を求めることができる。	24.2	27.9	－3.7			14.4	13.8	
9		(4)		☆						◎	○	展開図で示された空間図形について、2つの面の位置関係(面と面の平行)を理解している。	73.5	75.0	－1.6			1.8	1.6	
10	3	(1)		☆					◎	○	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	63.4	64.8	－1.3			3.1	2.9		
11		(2)			☆					◎	○	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している。	17.9	21.3	－3.4			15.7	15.0	
12	4	(1)				☆		◎		○	二次元表の中の欄が表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、記述できる。	24.2	25.0	－0.8			4.5	4.1		
13		(2)			☆				◎		○	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表すことができる。	60.9	63.1	－2.2			5.0	4.5	
14	5	(1)		☆			◎			○	縮図(地図)から、実際の道のりを読み取ることができる。	76.8	76.3	0.6			1.5	1.4		
15		(2)			☆				◎		○	道のり(km)と所要時間(分)から分速(m)を求めることができる。	41.9	45.7	－3.8			9.2	8.9	
16		(3)			☆				◎		○	地図を観察して平行四辺形を見だし、その面積を求めることができる。	27.7	31.8	－4.1			12.6	12.0	
17	6	(1)				☆	◎			○	五角形を2本の対角線で3つの三角形に分けて内角の和を求める考え方を記述できる。	56.2	55.8	0.4			12.5	13.0		
18		(2)			☆		◎				○	五角形の内部に点をとり、内角の和を求める考え方の誤りを、正すことができる。	32.8	34.4	－1.7			11.1	10.6	
19	7	(1)	①	☆				◎		○	棒グラフから全体の数の変化の様子を読み取ることができる。	51.5	52.9	－1.4			2.5	2.1		
20		(1)	②	☆				◎		○	棒グラフから男女の割合の変化の様子を読み取ることできる。	57.0	57.6	－0.6			3.5	3.2		
21		(2)	①		☆				◎		○	メダル獲得数と順位の関係を理解し、メダルの個数を特定することができる。	63.2	64.6	－1.4			4.9	4.7	
22			(2)	②			☆	◎				○	示された得点の求め方を基に順位の上下を判断し、判断の理由を記述できる。	51.6	51.8	－0.3			8.9	7.8
23			(2)	③		☆			◎			○	基準量と比較量の大きさの関係に着目し、割合が50%を超える項目を選択できる。	33.7	36.6	－3.0			17.6	17.6
													56.5	57.7	－1.3					

【問題形式について】「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

【観点について】 観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)数学的な考え方、(ウ)数量や図形についての技能、(エ)数量や図形についての知識・理解

理 科

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	出題のねらい	倉敷市	県	県との差	正答率比較グラフ		無解答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ							-10	10	倉敷市	県
1	1	(1)		☆					◎	○		気温の測り方を理解している。	52.5	51.7	0.9			0.5	0.4
2		(2)				☆			◎	○		くもりの日の1日の気温の変化を、グラフから読み取ることができる。	24.7	28.3	-3.6			0.5	0.5
3		(3)	①	☆					◎	○		グラフの読み取り方を身に付けている。	91.9	91.5	0.3			0.5	0.5
4			②			☆	◎				○	ヘチマのくきののび方と、気温の変化の関係から考察している。	53.4	54.0	-0.7			3.9	3.7
5		(4)				☆	◎				○	実験の条件の問題点を指摘し、説明することができる。	10.0	11.4	-1.4			2.0	2.1
6	2	(1)				☆			◎	○		おすのメダカの見分け方を身に付けている。	75.8	77.5	-1.7			0.7	0.4
7		(2)		☆						◎	○	受精について理解している。	89.9	88.6	1.3			0.7	0.6
8		(3)		☆						◎	○	メダカの卵の変化を理解している。	93.2	93.2	0.0			0.6	0.4
9		(4)				☆				◎	○	メダカの成魚は、水中の生物を食べていることを理解している。	45.5	40.0	5.5			6.3	7.2
10	3	(1)		☆					◎	○		ふりこの1往復する時間の求め方を身に付けている。	41.4	42.9	-1.6			0.8	0.7
11		(2)		☆						◎	○	ふりこの1往復する時間とおもりの重さの関係を調べるための実験を指摘できる。	80.0	81.8	-1.8			1.3	1.2
12		(3)		☆				◎			○	ふりこの1往復する時間とふりこの長さの関係について理解している。	72.3	72.0	0.3			4.7	4.6
13		(4)					☆	◎				○	おもちゃの往復する時間を合わせる方法を、ふりこ運動の規則性に基づいて説明できる。	34.0	36.3	-2.3			3.8
14	4	(1)				☆			◎	○		回路の作り方を身に付けている。	67.3	67.4	-0.1			3.8	3.6
15		(2)		☆						◎	○	電流と磁力の関係について理解している。	36.1	39.2	-3.0			2.3	2.4
16		(3)	①		☆			◎			○	磁石の性質から、ゲームの結果を予測できる。	22.4	24.1	-1.7			5.0	5.1
17			②		☆			◎			○	電磁石の性質から、ゲームの結果を予測できる。	33.2	37.7	-4.5			5.6	5.6
18			③			☆	◎				○	電磁石の力を強くする方法を、電磁石の性質に基づいて説明することができる。	8.0	11.1	-3.1			14.7	13.9
19	5	(1)		☆						◎	○	水のあたたまり方を理解している。(対流)	49.8	52.8	-3.0			1.0	1.5
20		(2)			☆			◎				○	夏になると、レールのつなぎ目のすき間が小さくなる原因を、金属の性質から説明できる。	45.5	46.0	-0.5			6.3
													51.4	52.4	-1.0				

【問題形式について】「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

【観点について】 観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現, (ウ)観察・実験の技能, (エ)自然事象についての知識・理解

(7) 4教科の調査問題・正答・平均正答率

○国語・社会・数学・理科の全調査問題・正答及び、各問題の市・県の平均正答率とその差等を掲載。

※市・県の数値は%，差の数値はポイントとして表示。

※過去の調査問題と類似している問題については，その数値を掲載。

※自校の平均正答率を，追記して御活用ください。

国語はP33から始まり、本ページまでです。

(2)

高田^{たかだ}さんは、この文章の印象に残った文について、次のようにまとめようとしています。あなたなら、草馬^{そうま}の「うれしさ」と「さびしさ」について、どのように考えますか。

次の①・②にあてはまる言葉を、それぞれ前の言葉に続くように書きなさい。

22
23

〈印象に残った文〉

「笑顔^{えがほ}なのに、草馬の目には、うつすらと涙^{なみだ}がうかんでいる。」

〈考え〉

草馬は、このとき、うれしさとさびしさの両方を感じていたのだと思う。

草馬が、

- ・うれしさを感じているのは、
①から。
- ・さびしさを感じているのは、
②から。

(2) ①(正答例) みんなが、草馬の気持ちも、かめちゃんの気持ちもちゃんと受け止めて考えてくれたのがわかった

市 28.5

県 30.2

差 -1.7

自校()

②(正答例) 草馬にとって特別な存在のかめちゃんと離れる決心をした

市 33.5

県 35.2

差 -1.7

自校()

(1) この文章を読んだ高田^{たかだ}さんは、登場人物の心情について、

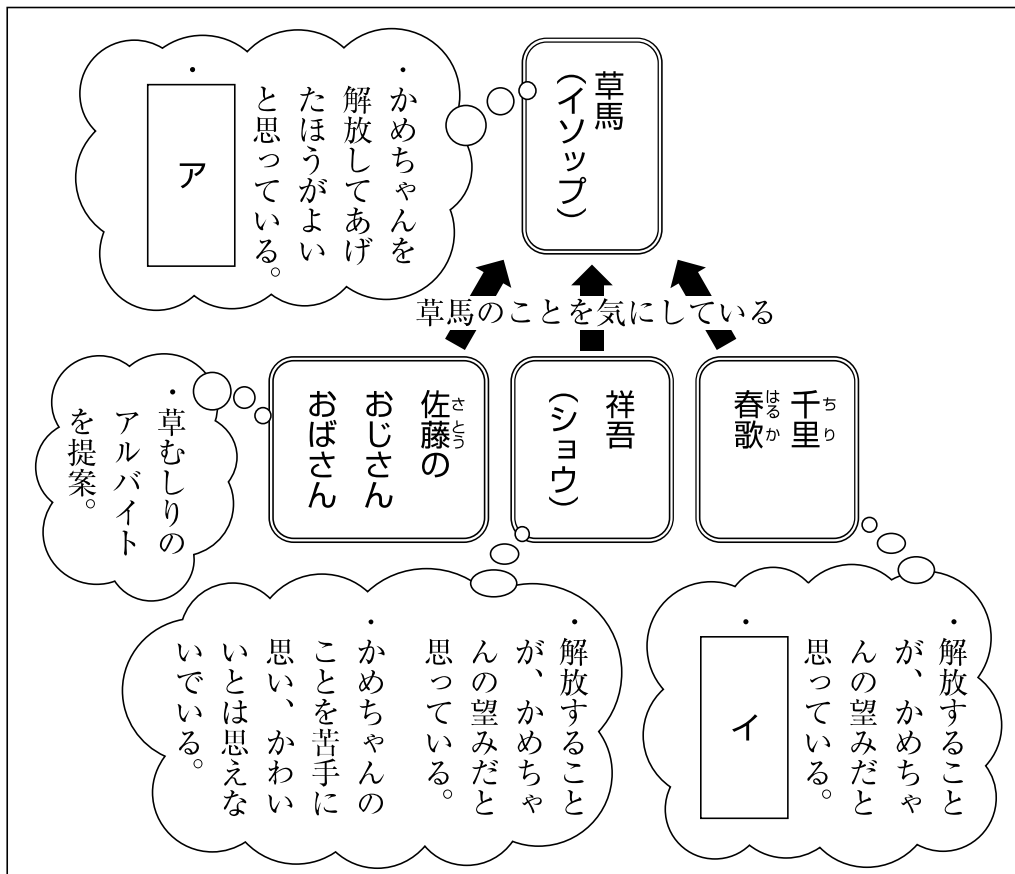
下の図のようにまとめました。図の中の、ア・イにあてはまる言葉として最も適切なものを、次の1から5までの中から一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

㊤

- 1 自分からは、かめちゃんを解放するよう言い出せない。
- 2 かめちゃんに、週に二回会えれば十分だと思っている。
- 3 かめちゃんを、ひとりぼっちにさせたくないと思っている。
- 4 かめちゃんのことを、大切な心の友だと感じている。
- 5 クラスで、かめちゃんの世話をすればよいと思っている。

(1) (正答) ア 4 イ 1
【完答】

市 3 1. 1
県 3 1. 4
差 - 0. 4
自校()



おれ、いま、すごくしあわせなんだ。うれしすぎて、泣けてくるぐらいだよ。」

まっすぐに祥吾しょうごを見ていうと、草馬そうまは照れたように笑って、涙なみだをふいた。祥吾は鼻のおくが、つんとしてきた。

(青木和雄・吉富多美「イソップ」金の星社 より)

※注1 かめちゃんマップ……「かめちゃん」を探すために作られた地図。

2 ママちゃん……草馬の母親。

3 穂積先生……祥吾たちの担任の先生。

きた。かめちゃんの背中が、てかりと光る。ぬめぬめとした感^{かん}触^{しよく}を想像しただけで、祥吾は身ぶるいがした。

「いや、いいよ。えんりよしとくよ。」

どんどんあとずさる祥吾の背中を、千里と春歌が笑いながら押^おした。

「わかったよ、いうから。」

ふたりをふりむいて、祥吾はいった。たのんだよ、と千里。しつかりね、と春歌。

「イソップ。ちよつと話があるんだけど。あ、かめちゃんは置いてきていいよ。」

祥吾がいうと、草馬はいつもの笑^え顔^がで、縁^{えん}側^{がわ}を下りてきた。庭の片すみにしゃがんで、祥吾は草馬に話しかける。

「あのね、イソップ。かめちゃん、ここの庭が気に入ったようなんだ。友だちもできたみたいだし。広い世界を知ったら、水^{すい}槽^{そう}の中はきゆうくつなんじゃないかな。」

草馬の顔がくもった。

「わかるけど。」

「おばさんにたのんでさ、イソップがかめちゃんに会^あいに、ここへくるようにすればどうなのかな。ここのおばさん、かめ^{※1}ちゃんマップの協力者なんですよ。きっと、オーケーしてくれると思うけどな。」

祥吾は汗^{あせ}がふきだした。顔のまわりを、ぷーんと蚊^かが飛んだ。

いきなり草馬の手がとんで、祥吾のほおをぴしゃりとたたいた。

「蚊がとまっていたんだ、ほら。」

おどろく祥吾に、血のついた手のひらを見せて、草馬はへへへと笑った。

「おれ、この庭の草むしりをやらせてもらうことにした。さっき、佐藤のおじさんが、バイトをしないかっていつてくれたんだ。時給二百円もくれるんだぞ。週に二回、一時間ずつ。いい話だろ。」

草馬は、いつも静かに笑う。

「おばさん^{※2}とママちゃんと、穂^{※3}積^{ほづみ}先生にも聞いてもらった。みんな、いい話だって。だから、おれ、おじさんと約束したんだ。かめちゃんとはここで会うことにした。」

ふと思いついたように、風がそよいだ。木々は葉をゆらし始める。草馬のさびしげなほえみがこぼれた。

「おれ、うれしかった。おじさんもおばさんも、ママちゃんも穂積先生も……。それから、シヨウちゃんも、あそこにいるみんなも。」

背中に千里と春歌の強い視線を感じて、祥吾はふりむいた。千里と目を合わせて、草馬が笑った。笑顔なのに、草馬の目には、うつすらと涙^{なみだ}がうかんでいる。

「みんな、おれのこと、気にしてくれていたんだ。おれの気持ちも、かめちゃんの気持ちも、ちゃんと受け止めて考えてくれた。」

5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「祥吾（しょうご）」たちのクラスでは、「かめちゃん」という名前のカエルを教室で飼っていた。「草馬（そうま）」にとって、「かめちゃん」は心を癒（い）してくれる特別な存在だった。ある日、「かめちゃん」は教室から逃げ出した。「祥吾」たちは、近所の「佐藤（さとう）」のおじさん、おばさん」の家の庭で「かめちゃん」を見つけた。

「かめちゃんはね、イソップを救ってくれたんだ。」

視線を草馬に置いたままで、千里がいった。

「うん、いえるかも。かめちゃんに会うまでのイソップは、すごく暗かったもの。ひとりぼっちで、いつも、ぼつんとしてたよ。かめちゃんに出会ってから、人が変わったように、元気になったよね。」

春歌（はるか）のことばに、千里はうなずいて続けた。

「かめちゃんは、イソップにとって、特別な存在なんだよ。わたしたちには、それがわかっていているから、かめちゃんの解放を、つらくていいだせないの。」

春歌は両手を合わせて、あまえた声を出した。

「そこで、シヨウちゃんの出番なのよ。」

「そう。もう、こうなったら、シヨウちゃんしかないよね。」千里は、祥吾の肩（かた）をぽんとたたいた。手にもった麦茶を、祥吾はあやうくこぼしそうになった。

「なんだよ。なんで、ぼくなんだよ。」

困惑（こんわく）する祥吾に、きっぱりと千里はいった。

「シヨウちゃんからイソップに伝えてほしいの。かめちゃんの気持ち（もち）を。」

「できないよ。ぼくには、カエルの気持ちはわからない。伝えようがないよ。」

祥吾が断ると、千里は目をくるくると回して、いたずらっぽく笑った。

「あのさあ、シヨウちゃんは、もしかして、かめちゃん、こわいかなあ。さつき、なんか悲鳴（ひめい）のような声を、聞いたような気がするんだけどなあ。」

弱いところをつかれて、祥吾はどきりとした。強がっていつてみる。

「ぼくは、カエルなんて、べつに平気さ。なんでもないよ。」

千里は眉（まゆ）を大きくあげると、草馬に向かって叫（さけ）んだ。

「イソップ！ シヨウちゃんが、かめちゃん、だきたいっていつてるよ。」

「いいよ、ほら。」

かめちゃんのをせた手（て）をかがげて、草馬はうれしそうに寄って

(3) 【カード】や【話し合いの様子】を読んで、あなたは短歌

を味わうときに、どのようなことに気をつけたいと思いましたか。次の条件に合わせて書きなさい。

20

条件1 「情景」か「言葉のひびき」、どちらかの言葉を使っ

て具体的に書くこと。(両方の言葉を使ってもかまいません。)

条件2 三十字以上、四十字以内で書くこと。

(3) (正答例) どのような印象を与えるかを考えて、言葉のひびきに気をつけて味わいたい。(35字)

市	61.6
県	63.5
差	-1.9
自校(	)

【話の口づの様子】

石川 Aの短歌は春風や桜の花びらといった、やさしく温かいイメージのものが歌われているのに、Bの短歌と同じように、さびしくせつない印象を持ったのが不思議でした。

青山 あおやま AとBに歌われている情景に共通点がないか考えてみたらどうですか。

石川 どちらも、桜の **ア** 姿を歌っていますね。

山本 やまもと そうですね。Aの短歌は平安時代、Bの短歌は昭和時代に作られたものですが、どちらも桜の **ア** 姿を歌っています。昔の人も今の人も、桜の **ア** 姿に心をひかれ、その様子を美しいと感じて、歌いたくなるのかもしれないね。

石川 なるほど。歌われている情景を思いえがくことで、作者が伝えたかったイメージをとらえられるんですね。

青山 短歌のイメージということでは、石川さんが載せているCの短歌の資料はおもしろいですね。

石川 はい。作者が「サラダ」という言葉にこめた秘密のようなものがわかって、とても感心しました。

先生 Cの短歌の作者は、ひびきを考えて言葉を選んだということですね。では、言葉のひびきという点で、AとCの短歌にも共通点がないか考えてみましょう。

山本 どちらにも、**イ** がいくつか入っていますよね。これらの言葉が、さわやかさをもたらしていると思います。声に出して読んでみると、よくわかりますよ。

石川 たしかに、Aの短歌で、桜の花びらが降ってくる様子は、せつないながらも、同時にさわやかにも感じられます。

山本 昔の人も今の人も、どんな言葉がどんな印象をもたらすかをよく知っていて、自分が伝えたいイメージを表現しようとしてきたんですね。言葉のひびきも、短歌を味わうポイントなんです。

(1) **ア** にあてはまる最も適切な言葉を、【カード】や【話し合いの様子】の言葉を使って書きなさい。

(2) **イ** にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 三文字の言葉
- 2 春を表す言葉
- 3 人の動作を表す言葉
- 4 サ行で始まる言葉

(1) (正答) 散る	
市	6 1. 3
県	6 4. 0
差	— 2. 8
自校 ()	

(2) (正答) 4	
市	3 1. 5
県	3 2. 8
差	— 1. 3
自校 ()	

4

石川^{いしかわ}さんは、A、B、Cの短歌について調べた内容と、感じた印象をカードにまとめ、それをもとにグループで話し合いました。次の【カード】と【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【カード】

A 桜散る木の下風はさむからで

空にしられぬ雪ぞ降りける

(紀貫之^{きのつらゆき} 平安時代^{へいあん})

内容…春風がそよ吹^ふいているのに、桜の木の下にいる作者の上に、桜の花びら(＝空^{そら}にしられぬ雪)が降ってくる。

印象…さびしい、せつない

B 夜半^{よわ}さめて見れば夜半さえしらじらと

桜散りおりとどまらざらん

(馬場^{ばば}あき子^こ 昭和時代^{しやうわ})

内容…夜中に目が覚めて外を見ると、夜中だというのに、しらじらと止まることなく桜が散って降り続いている。
印象…さびしい、せつない

C 「この味がいいね」と君が言ったから

七月六日はサラダ記念日

(俵万智^{たわらまち} 昭和時代^{しやうわ})

内容…恋人^{こいびと}に「この味がいいね」とサラダの味をほめられたのがうれしくて、この日を「サラダ記念日」にした。

印象…さわやか、うれしい

★資料(俵万智「短歌をよむ」より)

この一首を作る契機^{※けいき}となるできごとは、現実には七月六日ではなかったし、素材はサラダでもなかった。ではなぜこの日付^{ひづけ}を選び、サラダにしたのかというと、理由はそれぞれたくさんあるのだが、一つにはS音^{エスおん}のひびきということを考えたから、である。

自分で言うのもなんだが、「シチガツ」と「サラダ」のS音が、下の句でひびきあって、さわやかな感じが出ているのではないかと思う。

※注 契機…きっかけ。

(3) 田中さんの「交流を通じて」①「どうですか」という発言の意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

15

- 1 村井さんに、具体的な提案をうながす意図。
- 2 村井さんの発言の欠点を指摘し、参加者に考えさせる意図。
- 3 村井さんが言い切れなかった部分を、明確にする意図。
- 4 村井さんの意見のよさを、参加者にうったえる意図。

(4) 話し合いを進めやすくするために、相川（司会）さんがしていたこととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

16

- 1 参加者に守ってほしい発言のルールを、初めに具体的に示したうえで、意見を述べる順番も明確に決めていた。
- 2 参加者の発言に対する自分の疑問や意見を積極的に述べて、ほかの参加者が発言しやすいふんいきを作っていた。
- 3 参加者が意見を述べるたびに、わかりにくい点を質問して、言葉を付け足していた。
- 4 参加者の案を整理したり、意見をまとめたりして、話し合いの方向性を示していた。

(3) (正答) 3

市 70.5
県 70.0
差 +0.5
自校()

(4) (正答) 4

市 68.2
県 67.6
差 +0.6
自校()

(5) この話し合いの続きで、あなたなら、Aでどのような案を発表しますか。次の条件に合わせて書きなさい。

17

条件1 話し合いの流れにそって、相川（司会）さんの「高齢者の方も」②「参考に考える」という発言をふまえた案を、具体的に書くこと。

条件2 なぜその案を提案するのか、理由を書くこと。

条件3 一〇〇字以上、一四〇字以内で書くこと。段落分けはしなくてよい。

(5) (正答例) 私は、高齢者の方が若いころにはやっていた歌を練習して発表し、高齢者の方にもいっしょに歌っていただいたうえで、昔話や体験談を聞かせていただくのがよいと思います。いっしょに歌うことで私たちと高齢者の方とがいっしょに楽しめ、また、私たちは当時の日本の様子を知ることができるからです。(138字)

市 57.8
県 57.8
差 0.0
自校()

と
思
っ
て
い
る
の
で
す
が、
た
だ
お
互
い
が
一
方
的
に
何
か
を
す
る
と
い
う
だ
け
で
は
な
く、
も
っ
と
何
か、
中
学
生
も
高
齢
者
の
方
も
同
じ
時
間
を
過
ご
し
た
こ
と
が
喜
び
に
つ
な
が
る
よ
う
な……
す
み
ま
せ
ん、
ま
だ
考
え
が
ま
と
ま
り
ま
せ
ん。

田中 村井さんの言いたいことって、交流^①を通じて、高齢者の方に、私たち中学生に何かを伝えることができた実感していただくだけでなく、互いの心が通い合うような時間が持てる
とよいということではないかと思うのですが、どうですか。

村井 田中さん、ありがとう。まさに、そういうことです。

相川（司会） 高齢者の方と気持ちが通じ合い、充実^{じゅうじつ}した時間だったと感じられる交流会にしたいということですね。それなら、高齢者^②の方でも私たちも楽しめて、なおかつ私たちが学べるような案を、アンケートの結果を参考に考える、というのはどうでしょうか。

全員 賛成。

相川（司会） では、具体的な内容について案を出してください。

あなたの発表

A

（１） 相川（司会）さんは、アンケートの結果を、高齢者の方とのかかわり方から三つに整理しています。【話し合いの様子】の ア・イ・ウ にあてはまる言葉を、それぞれ十字以内で書きなさい。

⑪⑫⑬

（２） 【話し合いの様子】の で、相川（司会）さんは村井さんに対して、どのような発言をしたと考えられますか。
 にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

⑭

- １ すみませんが、もう一度言ってください。
- ２ 具体的な体験談をありがとうございます。
- ３ ほかに人に対する質問はあとにしてください。
- ４ 発言が話し合いの流れからそれいていませんか。

（１）（正答）ア ひろうして
もらう

市 6 5. 2
県 6 7. 4
差 - 2. 2
自校（ ）

（正答）イ 教えたい

市 6 7. 3
県 6 8. 6
差 - 1. 3
自校（ ）

（正答）ウ 作る

市 8 1. 2
県 8 2. 0
差 - 0. 8
自校（ ）

（２）（正答）４

市 8 6. 7
県 8 6. 1
差 + 0. 6
自校（ ）

3

おおひら中学校一年生の相川^{あいかわ}さんのクラスでは、オープンスクールで、地域の高齢者^{こうれい}の方との交流会を行います。次の【話し合

いの様子】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合の様子】

相川（司会） 先日、高齢者の方に、交流会の内容についてアンケート

トをとりました。その結果をまとめたので、〈資料〉を見てください。

〈資料〉

- | | | |
|---|----------------------------------|----|
| 1 | 中学生に紙しばいや劇などを見せてもらいたい。…… | 8人 |
| 2 | 中学生に昔話や体験談を話したい。…… | 7人 |
| 3 | 中学生に昔の遊びを教えたい。…… | 7人 |
| 4 | 中学生に歌を聴 ^き かせてもらいたい。…… | 5人 |
| 5 | 中学生といっしょにものを作りたい。（折り紙など）…… | 4人 |
| 6 | 中学生といっしょに料理を作って食べたい。…… | 3人 |

相川（司会） この結果を見ると、高齢者の方の希望は、大きく三

つに分けられると思います。つまり、1と4は「私^{わたし}た

ち中学生に」**ア**もの、2と3は「私たち中学生と」**ウ**もの、

イもの、5と6は「私たち中学生と」**ウ**もの、

といえます。そこで、これをふまえて、交流会でどのようなことをすればよいかを、みんなで考えたいと思います。それでよいですか。

全員 はい。

相川（司会） それでは、交流会の内容について意見を出してくだ

さい。

田中^{たなか} 私は、高齢者の方の若いころに流行した歌を私たちが練習

して、発表するのがよいと思います。高齢者の方が昔を思い出して、若々しい気持ちになり、喜んでいただくことができると思います。

松木^{まつき} ぼくは、高齢者の方に昔話や体験談を話していただくのが

よいと思います。ぼくたちの知らない話が出てきて、ぼくたちもいろいろと学ぶことができると思うし、祖母もそうなのですが、昔の話をするとき、生き生きとします。お話をうかがうことで、高齢者の方に喜んでいただくことができるのではないのでしょうか。

村井^{むらい} そうそう、うちの祖父も同じです。よく、きもだめしの思

い出話をしてくれますが、ぼくがこわがると、ますますはりきって、いつも同じ怪談^{かいだん}を話し出して、それで……。

相川（司会） 村井さん、ちょっと、待ってください。

村井 すみません。ぼくは、昔の遊びを教えていただくのがよい

(1) 原稿の の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を○で囲みなさい。(○は解答用紙に書きこむこと。)

(2) — 部①「キカン」を漢字に直したとき、同じ漢字で書くものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 大学の研究キカンに調査をたのむ。
- 2 体のいろいろなキカンの働きを調べる。
- 3 春休みのキカンに体力づくりをする。
- 4 かぜを引いてキカンがはれた。

(1) (正答) 事前に資料、必ず読んで、多数決を採【完答】

市 58.0
県 51.1
差 +6.9
自校()

H25全国学力・学習状況調査で
出題された類似問題の平均正答
率は、34.6%

(2) (正答) 3

市 83.2
県 84.3
差 -1.0
自校()

(3) — 部②「出す」と同じ意味で「出す」を用いている文を、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 顔に喜びを出す。
- 2 宿題の作文を出す。
- 3 大きな声を出す。
- 4 箱から荷物を出す。

(3) (正答) 2

市 84.7
県 84.8
差 -0.1
自校()

(4) ……部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直すことにしました。つなぎ言葉には、「だから」を使います。一つめの文の終わりの七文字と、二つめの文の「だから」に続く七文字を書きなさい。

(4) (正答) (終わり)ている活動です
(始まり)一年生のみなさ

市 44.8
県 37.6
差 +7.2
自校()

H25全国学力・学習状況調査で
出題された類似問題の平均正答
率は、22.7%

1

次の問いに答えなさい。

①(正答)かさ	
市	98.1
県	97.9
差	+0.2
自校()	

(1) 次の①から③までの文の——部の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

①
②
③

- ① 話し合いを重^おねる。
② 至急、メンバ^ーを集める。
③ 規則^をを定める。

②(正答)しきゅう	
市	85.6
県	86.8
差	-1.1
自校()	

③(正答)きそく	
市	93.0
県	93.5
差	-0.4
自校()	

(2) 次の①から③までの文の——部のカタカナを、漢字で書きなさい。③は送りがなも書きなさい。

④
⑤
⑥

- ① ビヨウイン^に行く。
② コキユウ^をを整える。
③ 食器^ををアラウ。

①(正答)病院	
市	82.2
県	83.4
差	-1.2
自校()	

②(正答)呼吸	
市	84.6
県	81.6
差	+3.0
自校()	

③(正答)洗う	
市	91.6
県	91.7
差	0.0
自校()	

2

次は、生徒会から各学級に配付する予定の「お知らせ」の原稿の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

■生徒総会について

・日時 五月一日(木) 五・六時間目

・議題 一 平成二十五年度生徒会活動・決算の報告について

二 平成二十六年生徒会年間活動計画について

三 平成二十六年生徒会予算案について

四 平成二十六年度各委員会活動方針について

※ 事前に資料を配付します。必ず読んで、総会に来てください。多数決を採る議題もあります。

■新一年生部活動おためしキカン^①について

・五月二日(金) までに：一年生は、いろいろな部活動に自由

に参加して、入る部を決める。

・五月八日(木) までに：各部の顧問^{こもん}の先生に入部届^{とけ}を出す。

■さくら公園ごみ拾いボランティアについて

・日時 五月十七日(土) 午後一時～三時

※ このボランティアは、毎年、地域の方たちといっしょに行っている活動ですので、一年生のみなさんも、ぜひ参加してください。

中学校 第 1 学年

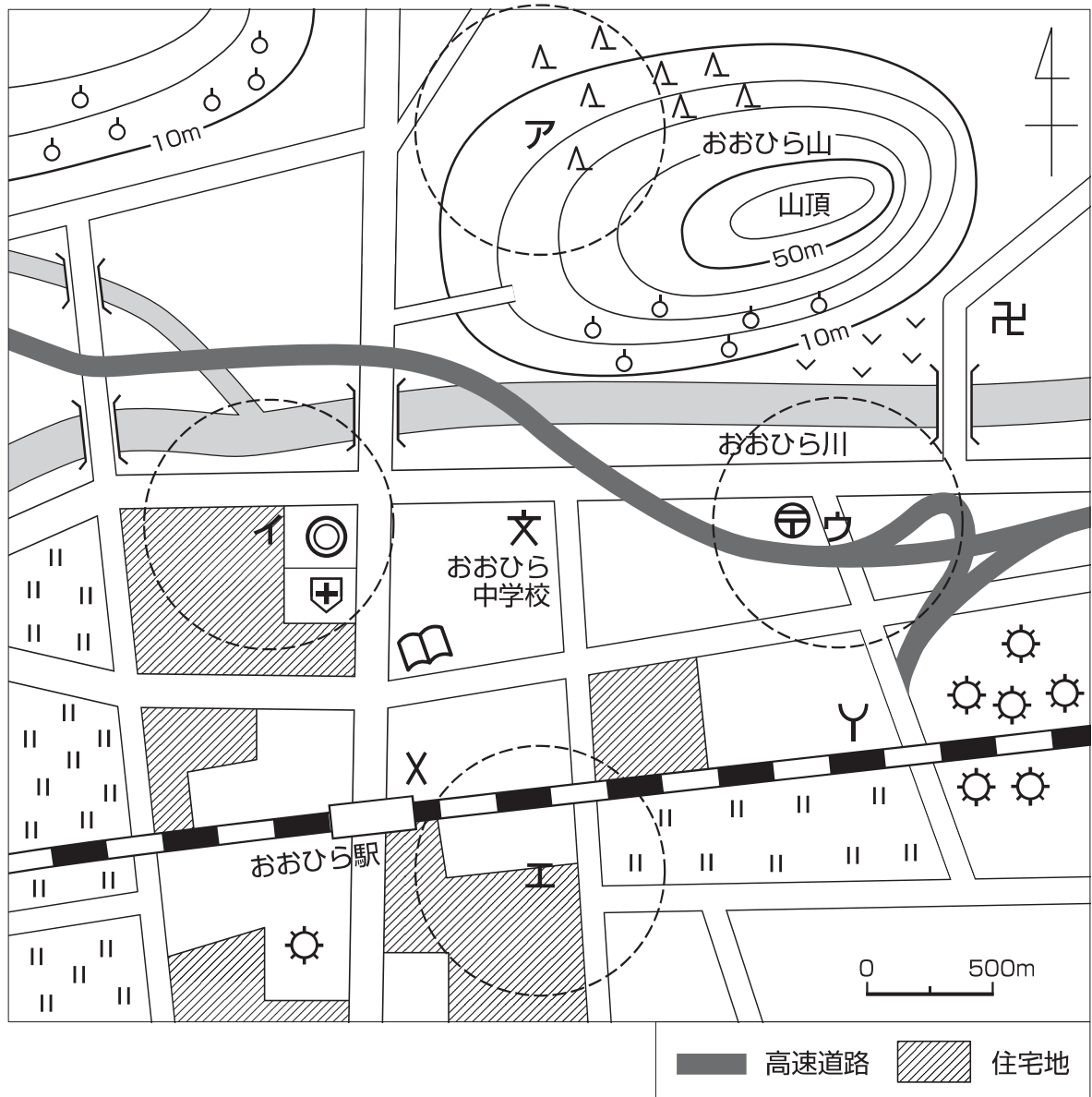
国語

中学校 第 1 学年

社会

1

次の地図は、あかねさんの学校のまわりを表したものです。あとの問いに答えなさい。

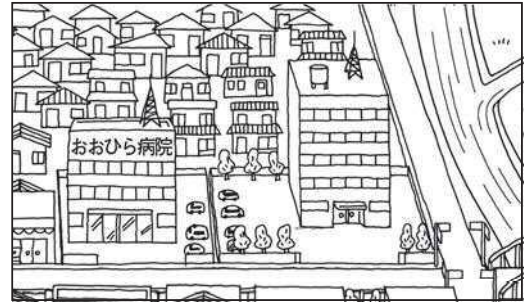


- (1) おおひら中学校と郵便局の直線距離は約何mですか。次の1から4までのの中から、あてはまるものを1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 約100m
- 2 約500m
- 3 約1000m
- 4 約1500m

(1) (正答) 3
市 66.5
県 65.0
差 +1.4
自校()

- (2) 右の絵は、あかねさんが中学校の屋上に上がり、まわりの様子をかいたものです。左の地図中の点線に囲まれたアから工の場所のうち、どこをかいたものですか。アから工までの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。また、この絵の場所は、学校から見てどの方位にあたりますか。答えなさい。



(2) (正答) イ, 西【完答】

市 64.2

県 64.4

差 -0.2

自校()

- (3) 次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひろし：おおひら山の斜面には、果樹園が広がっていました。

あかね：どうして、あの一带には果樹園が多くあるのですか。

ひろし：日あたりがよくて、果物の栽培に適しているからだと思います。

ただし：消防署の向かいには、自動車関連工場がたくさん建っていました。なぜ、この場所に自動車関連工場が集中しているのか、ほくたちの班では、資料1と資料2をもとに考えました。

理由として考えられるのは、です。

ただしさんは、で、工場が多く立地している理由を説明しています。

左の地図と次の資料1, 2をもとに、にあてはまる内容を書きなさい。

資料1 工場で働く田中さんの話

おおひら市には、たくさんの自動車関連工場があります。

私の働いている工場では、自動車のハンドルを作っています。他の工場では、サイドミラーやシートなどの部品を作っています。各工場で作った部品は、となりの県の自動車工場まで運ばれ、そこで自動車に組み立てられます。



資料2 おおひら市のできごと

昭和24年 国鉄(現JR)おおひら駅ができる。

昭和27年 せんい工場ができる。

昭和34年 おおひら工業高校ができる。

昭和42年 化学せんい工場ができる。

昭和59年 高速道路が開通し、インターチェンジができる。

(となりの県～おおひら市間60km)

昭和61年 自動車第1工場ができる。

昭和62年 自動車第2工場ができる。

平成3年 自動車第3工場ができる。

(3) (正答例) 近くに高速道路のインターチェンジがあり、となりの県の自動車工場に部品を運ぶのに便利だから。

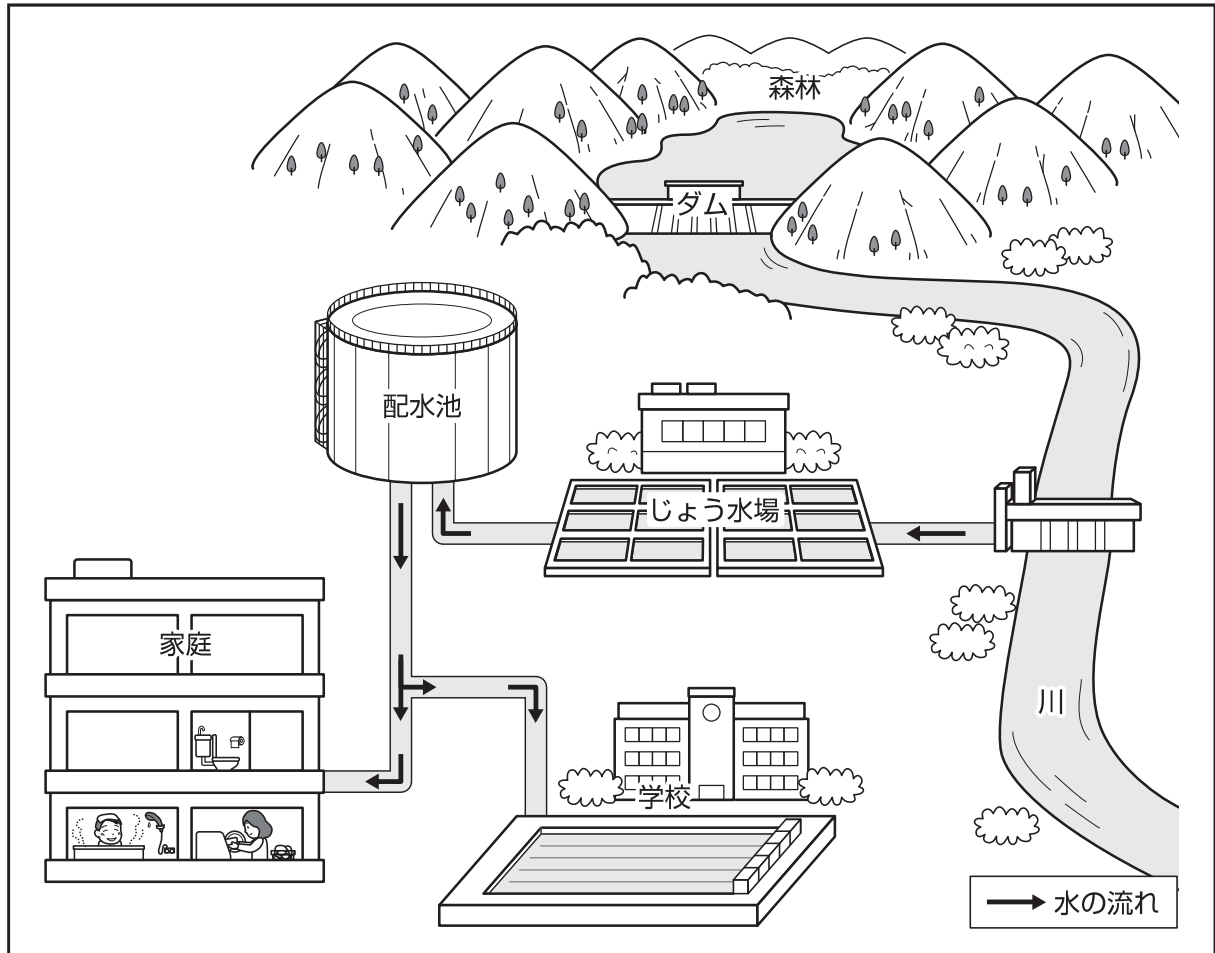
市 32.0 県 33.0

差 -0.9 自校()

2

たろうさんは、水が学校や家庭に送られてくるまでの流れについて調べ、次の絵にまとめました。あとの問いに答えなさい。

水が学校や家庭に送られてくるまでの流れ



- (1) 森林は、どのようなはたらきをしていますか。次の1から4までの中から、あてはまるものを1つ選んで、その番号を書きなさい。

4

- 1 川から水を取り入れ、ためておくはたらき
- 2 学校や家庭から出るよごれた水を集め、きれいにするはたらき
- 3 ダムにたまった水の温度を上げないはたらき
- 4 雨水をたくわえ、こう水を防ぐはたらき

(1) (正答) 4

市 65.3

県 66.5

差 -1.2

自校()

- (2) 平成24年の新聞記事を見ながら、たろうさんとお父さんが話をしています。あとの問いに答えなさい。

東京都では、10%の取水制限を開始した。今後の降水量によっては、水不足も深刻になり、市民生活への影響が心配される。東京都では、各家庭での節水を呼びかけている。

東京都、「家庭で5%節水を」

利根川で取水制限10%



平成24年は、取水制限※が行われたね。
我が家でも節水を心がけたよね。



東京都の水道水は、主に利根川から取り入れられた水が使われているんだよ。
利根川の上流には8つのダムがあって、そこで水をたくわえ、川の水量を調整しているんだ。ダムの貯水量※※が少なくなり、今後、水不足になる心配があるときには取水制限が出されるんだよ。



取水制限はダムの貯水量と大きな関係があるんだね。
平成24年は、水不足になる心配があったので、(A)の時期に取水制限が出されたんだね。



東京都の水の多くは家庭で使われているので、それぞれのB家庭が節水の取り組みを行うことで、大きな効果が期待できるんだよ。

①(正答)エ

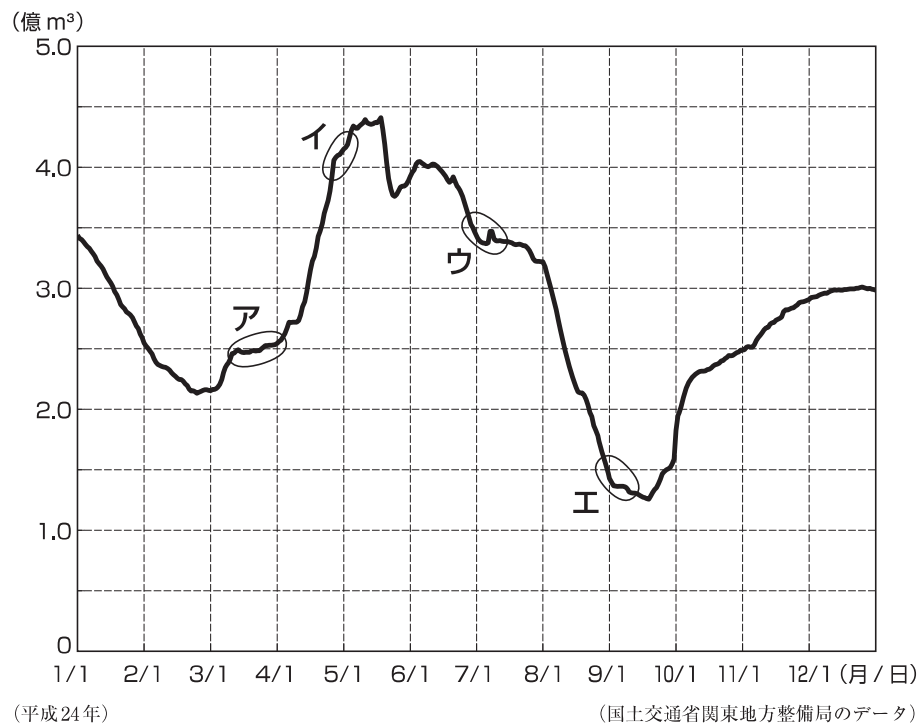
(例) 平年より降水量が少なかったことにより、ダムの貯水量が減ったから。【完答】
市 31.7 県 32.2 差 -0.6 自校()

- ① 会話文の(A)にあてはまる時期を、次のページの資料1のAからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。また、そう考えた理由を、資料1, 2をもとに、「ダムの貯水量」と「降水量」の2つの語句を使って説明しなさい。 ⑤
- ② 会話文の下線部Bの節水の取り組みについて、効果が期待できるものを次の1から5までのの中からすべて選んで、その番号を書きなさい。 ⑥

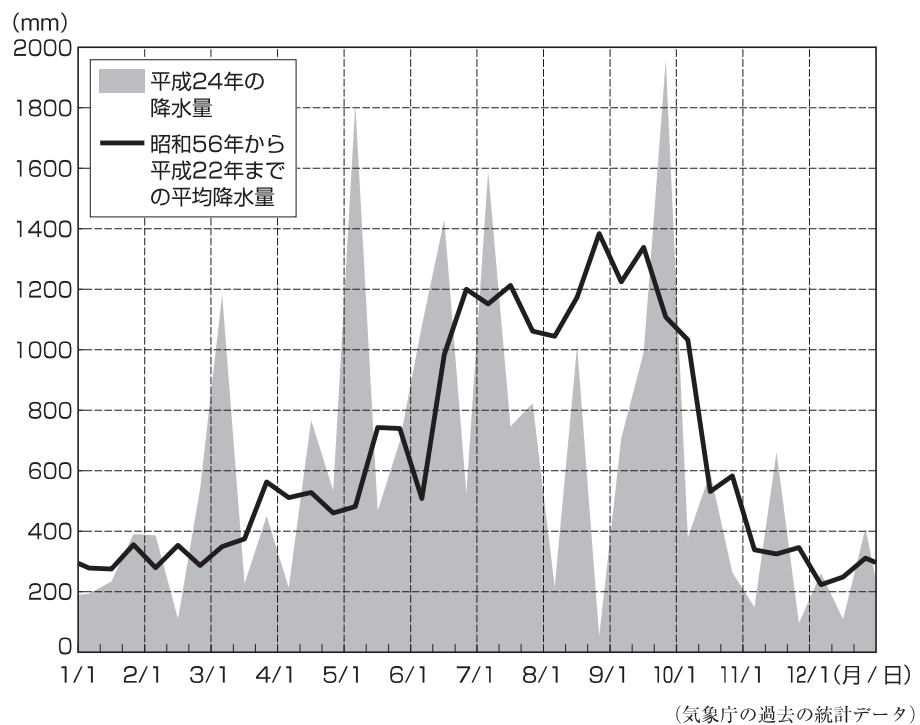
- 風呂の残り湯を、洗濯に利用する。
- 服の汚れを落とすために、洗剤を多めに使う。
- 車を洗うときに、水をバケツにためて使う。
- 食器を洗うときに、水道のじゃ口をこまめにしめる。
- 庭の木や花の水やりを使うホースを長くする。

②(正答) 1, 3, 4
【完答・順不同】
市 84.7
県 86.3
差 -1.7
自校()

資料1 貯水量の変化(利根川の上流域のダム)

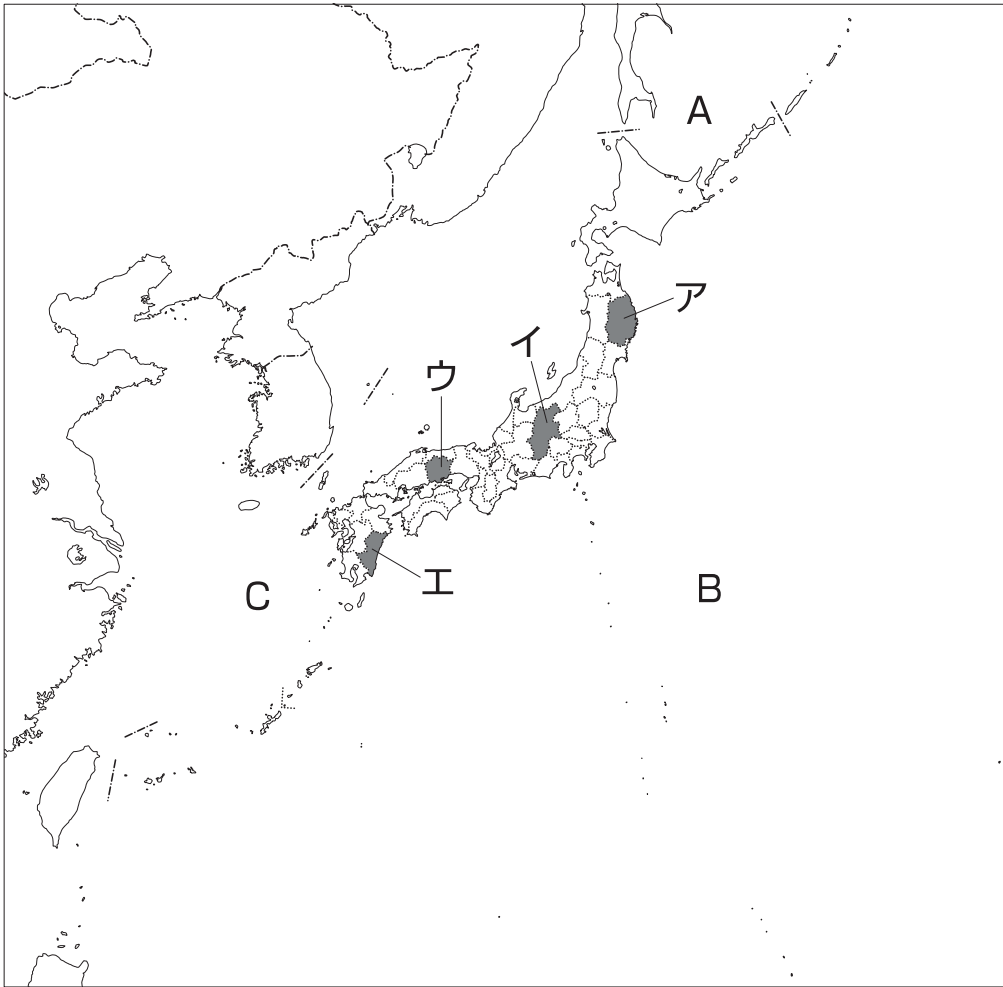


資料2 降水量の変化(利根川の上流域)



3

日本の国土と人々の暮らしについて、次の地図を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 上の地図中のA, B, Cの海洋名の組み合わせとして正しいものを、次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- | | | | |
|---|--------------------------|----------|--------------------------|
| 1 | A- ^{たいへいよう} 太平洋 | B-東シナ海 | C-オホーツク海 |
| 2 | A-太平洋 | B-オホーツク海 | C- ^{たいせいよう} 大西洋 |
| 3 | A-オホーツク海 | B-太平洋 | C-東シナ海 |
| 4 | A-オホーツク海 | B-大西洋 | C-太平洋 |

(1) (正答) 3
市 79.2
県 75.1
差 +4.1
自校()

- (2) 地図中のアからエの県名について、誤っているものを、次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- | | | |
|---|------------------------|------------|
| 1 | ア- ^{いわて} 岩手県 | (2) (正答) 2 |
| 2 | イ- ^{やまなし} 山梨県 | 市 42.1 |
| 3 | ウ- ^{おかやま} 岡山県 | 県 41.9 |
| 4 | エ- ^{みやざき} 宮崎県 | 差 +0.2 |
| | | 自校() |

(3) (正答) 〈ア〉二重 〈イ〉 7.4 【完答】
市 83.2 県 83.9
差 -2.0 自校()

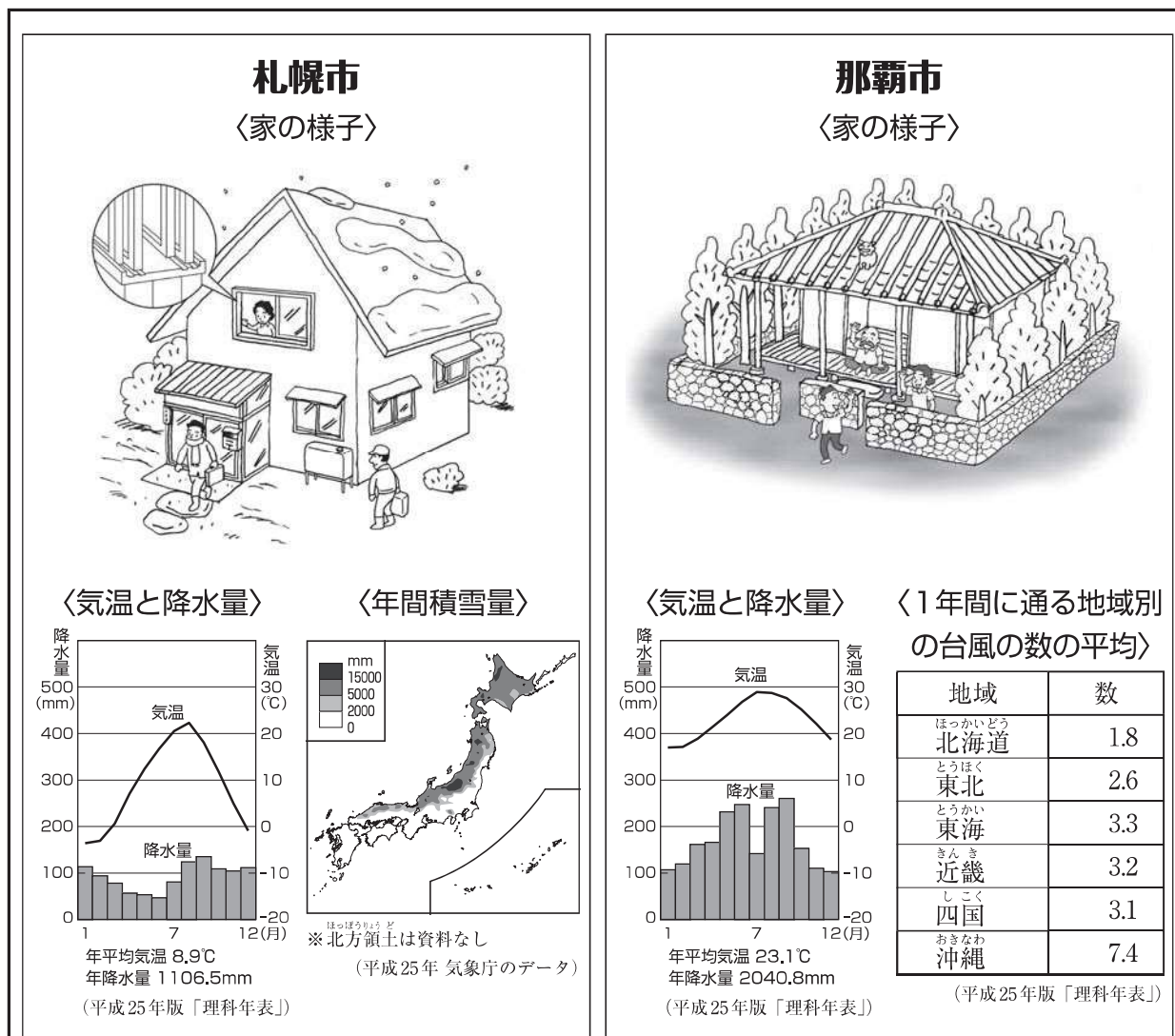
(3) (正答例) 〈ウ〉 風通しのよい家にと
と、ふくぎ(木)を防風林として植えること。
市 47.5 県 49.5
差 -2.0 自校()

- (3) ともやさんは、人々のくらしとその土地の気候には密接に関係があると考え、札幌市と那覇市のくらしについて調べ、次のようにノートにまとめました。

下の「ア」，「イ」にあてはまる言葉や数字を書きなさい。また，「ウ」には、暑さや台風に備えた工夫を2つ書きなさい。

910

〈ともやさんのノート〉



まとめ

札幌市は、12月から3月までの平均気温が0℃を下回り、冬の寒さが厳しく、雪も降る。そのため、住宅には、玄関のドアや窓を「ア」にしたり、屋根の傾きを急にしたりするなど、寒さや雪に備えた工夫がある。

那覇市は、夏の気温が高く、台風が1年間で平均約「イ」回通過する地域にある。そのため、昔からある伝統的な住宅には、「ウ」など、暑さや台風に備えた工夫がある。

4

次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひろし：田植えが始まる季節だね。おばあさんの家でも準備が始まったよ。
あきお：ぼくのおじさんもお米を作っていたけれど、2年前にやめたよ。お米を作らなくなった田んぼは、果物や野菜づくりに転作して、それ以外の土地は休耕田※になっているよ。おじさんは、「米づくりだけでは生活できない。」と言っていたよ。
ゆりえ：米の消費量が、この50年間で約30%も減ってきていると学校で習ったよね。このことが原因なのかな。
はるか：私のお父さんは、a 会社に勤めているけれど、家ではお米を作って出荷しているわ。b 「はえぬき」という新しい種類のお米を作っているよ。
ひろし：外国産の食料品の輸入についても、日本と外国とで話し合われているとニュースで報道されていたよ。ぼくのおばあさんは、「外国から安いお米が入ってくると、日本のお米が売れなくなる。」と心配しているよ。
ゆりえ：米づくり農家には、お米の消費を増やすため、また、c 米づくりにかかる費用を減らすための取り組みが、ますます必要になってくるね。

※休耕田：水田として利用していない田

- (1) 下線部 a のような農家を何と言いますか。書きなさい。 ⑪
- (2) 下線部 b のように、いろいろな種類のよいところを集めて、新しい種類をつくり出すことを何と言いますか。漢字4字で書きなさい。 ⑫
- (3) 次の資料は下線部 c の米づくり農家の取り組みを表したものです。資料の取り組みが、米づくりにかかる費用を減らすことにつながるのはなぜですか。その理由を説明しなさい。 ⑬

資料 生産組合(農業協同組合)で買った、大型機械を使つての共同作業



(1) (正答) 兼業農家

市 3.1
県 4.1
差 -1.1
自校()

(2) (正答) 品種改良

市 38.6
県 41.1
差 -2.5
自校()

(3) (正答例) 農家ごとの機械にかかる費用をおさえることができるから。

市 39.2 県 40.9
差 -1.8 自校()

5

よしおさんのクラスでは、ある共通のテーマをもとに、次の〈ア〉から〈オ〉の各時代の特徴をまとめました。あとの問いに答えなさい。

〈ア〉 アメリカのペリーが浦賀に現れ、強い態度で開国をせまった。幕府は、日米和親条約を結び、国交を開いた。

〈イ〉 中国の唐が力を失い、遣唐使が停止されるなど、中国の影響がうすれたので、日本風の文化が生まれた。

〈ウ〉 武士たちは、元軍と命がけで2度にわたって戦ったが、幕府から恩賞の領地などをほとんど与えられなかった。

〈エ〉 (A)は、小野妹子らを中国に遣隋使として派遣したり、留学生に中国の政治のしくみや文化を学ばせたりした。

〈オ〉 幕府は宣教師や貿易船の出入りを制限し、日本人が海外に行くことも海外から帰ることも禁止した。

- (1) よしおさんのクラスでは、どのようなテーマで、〈ア〉から〈オ〉の各時代の特徴をまとめたのですか。次の□にあてはまる言葉を書きなさい。

14

「日本と□について」

(1) (正答例) 外国との関係

市 68.9 県 71.6
差 -2.7 自校()

- (2) 〈ア〉から〈オ〉を、次のように年代順に左から並べます。解答用紙のあいているところにあてはまる記号を書きなさい。

15

エ → → → → ア

(2) (正答) エ→(イ)→(ウ)→(オ)→ア

市 54.5 県 55.8
差 -1.3 自校()

- (3) 〈エ〉の(A)にあてはまる人物を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

16

1 なかのおおえのおうじ 中大兄皇子

2 しゅうむてんのう 聖武天皇

3 しやうとくたいし 聖徳太子

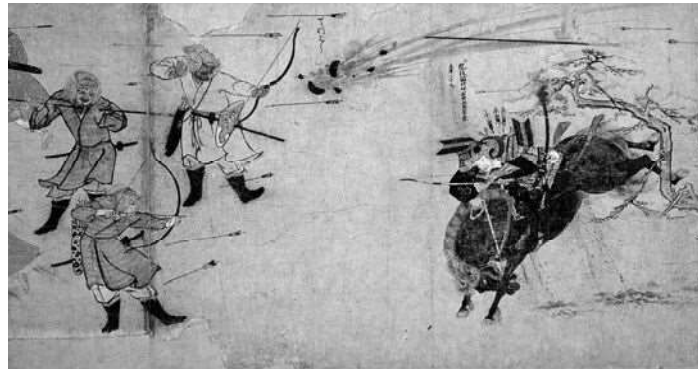
4 なかとみのかまたり 中臣鎌足

(3) (正答) 3

市 57.6 県 58.5
差 -0.9 自校()

- (4) 次の資料は、どの時代のできごとですか。〈ア〉から〈オ〉までの中から、あてはまるものを1つ選んで、その記号を書きなさい。

17

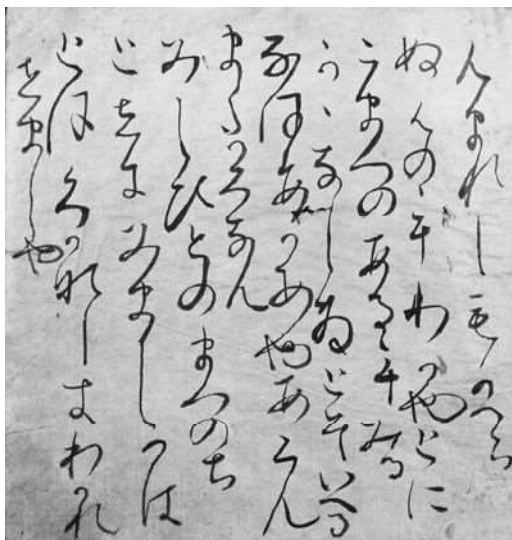


(4)(正答) ウ
市 91.1
県 91.0
差 +0.1
自校()

- (5) よしおさんは、〈イ〉の時代に生まれた日本風の文化について、次の資料1, 2をもとに、下のように説明しています。(①)から(③)にあてはまる言葉を書きなさい。

18 19 20

資料1 新しく生まれた文字



資料2 やまと 大和絵「(②)絵巻」



〈イ〉の時代には、(①)を用いた和歌や小説などの文学作品が数多く生まれました。

資料2の大和絵は、紫式部むらきしきぶが書いた(②)の一場面をえがいています。
(②)は、当時の(③)のくらしなどがかけられた世界的に有名な小説です。

(5)①(正答)かな

市 59.2

県 55.8

差 +3.4

自校()

(5)②(正答)源氏物語

市 37.9

県 35.3

差 +2.6

自校()

(5)③(正答)貴族

市 35.4

県 37.1

差 -1.7

自校()

6

日本国憲法について、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、日本国憲法の3つの原則についてまとめたものです。(①)から(③)にあてはまる言葉を書きなさい。 ㉑㉒㉓

日本国憲法の3つの原則は、国民主権、基本的人権の尊重、(①)です。国民主権には、自分たちのくらしをよくするための(②)に参加する権利があります。国会や地方公共団体に自分たちの代表者を選ぶ(③)もその1つです。(②)に参加する権利には、国民審査や国民投票もふくまれます。

- (2) 日本国憲法には、国民が果たさなければならない義務について定められています。次の1から5までの中から、日本国憲法で定められている義務をすべて選んで、その番号を書きなさい。 ㉔

- 1 裁判を受ける義務
- 2 税金を納める義務
- 3 環境を保護する義務
- 4 子どもに教育を受けさせる義務
- 5 仕事について働く義務

(1)①(正答)平和主義

市 63.7
県 62.9
差 +0.8
自校()

(1)②(正答)政治

市 24.1
県 27.6
差 -3.5
自校()

(1)③(正答)選挙

市 68.0
県 69.4
差 -1.4
自校()

(2)(正答)2, 4, 5【完答・順不同】

市 50.4
県 45.5
差 +4.9
自校()

中学校 第 1 学年

数学

1

次の計算をしなさい。

(1) $422 - 26$

①

(1)(正答) 396
市 85.5
県 85.1
差 +0.4
自校()

(2) $16 - 6 \div 2$

②

(2)(正答) 13
市 83.3
県 80.9
差 +2.3
自校()

H24岡山県学力・学習状況調査で出題された類似問題
【 $6 + 0.5 \times 2$ 】の平均正答率は、67.9%

H25岡山県学力・学習状況調査で出題された類似問題
【 $50 + 150 \times 2$ 】の平均正答率は、69.7%

(3) $0.75 + 0.9$

③

(3)(正答) 1.65
市 81.0
県 79.2
差 +1.8
自校()

H24全国学力・学習状況調査で出題された類似問題
【 $4.6 - 0.21$ 】の平均正答率は、53.8%

H25岡山県学力・学習状況調査で出題された類似問題
【 $6.4 - 0.31$ 】の平均正答率は、67.8%

(4) $6 \div 5$ (商を分数で表しなさい。)

④

(4)(正答) $6/5$ または 1 と $1/5$
市 77.7
県 77.0
差 +0.7
自校()

H24岡山県学力・学習状況調査で出題された類似問題
【 $2 \div 3$ 】の平均正答率は、71.7%

(5) $150 \times 0.8 \times \frac{2}{3}$

⑤

(5)(正答) 80
市 70.8
県 72.2
差 -1.3
自校()

2

次の問いに答えなさい。

- (1) 8と6の最小公倍数を求めなさい。

(1) (正答) 24
市 77.6
県 81.4
差 -3.7
自校()

6

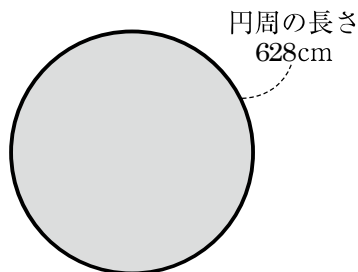
- (2) 四捨五入して千の位までのがい数にしたとき、2000になる整数を、次の1から5までの中からすべて選んで、その番号を書きなさい。

- 1 1499
2 1500
3 1809
4 2499
5 2500

(2) (正答) 2, 3, 4 【完答・順不同】
市 66.1
県 67.0
差 -0.9
自校()

- (3) 次の図は、円周の長さが628cmの円です。この円の面積は何 cm^2 ですか。答えを書きなさい。ただし、円周率は3.14とします。

8

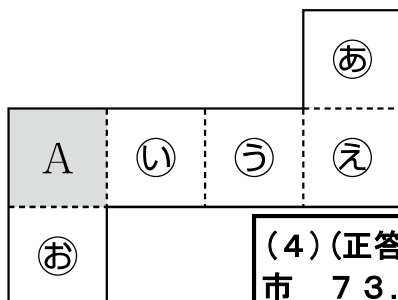


(3) (正答) 31400 (cm^2)
市 24.2
県 27.9
差 -3.7
自校()

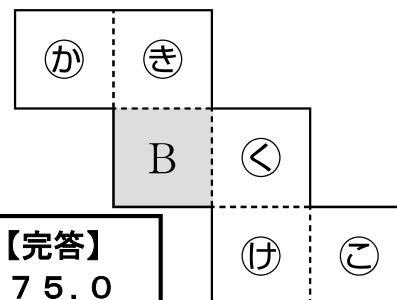
- (4) 次の①、②の展開図を組み立ててできる立方体について、面Aと平行になる面を㊦から㊩までの中から、面Bと平行になる面を㊦から㊩までの中からそれぞれ選んで、その記号を書きなさい。

9

①



②



(4) (正答) ①う②こ 【完答】
市 73.5 県 75.0
差 -1.6 自校()

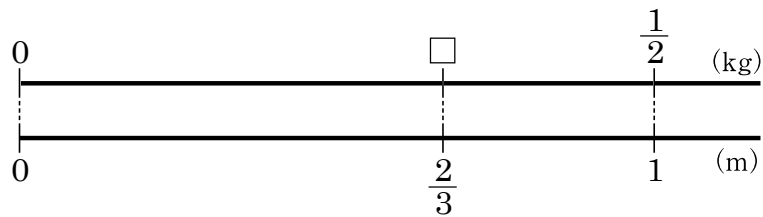
3

長さが $\frac{2}{3}$ mで、重さが $\frac{1}{2}$ kgの棒があります。次の問いに答えなさい。

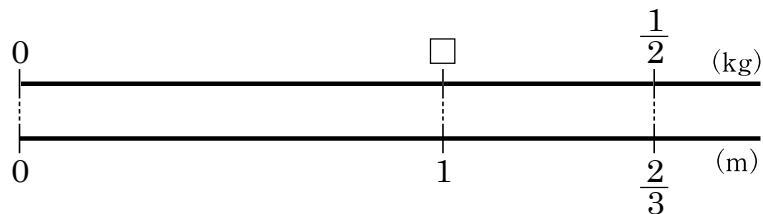
- (1) この棒の1mの重さを□kgとしたとき、この棒の重さと長さの関係を正しく表している図はどれですか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

⑩

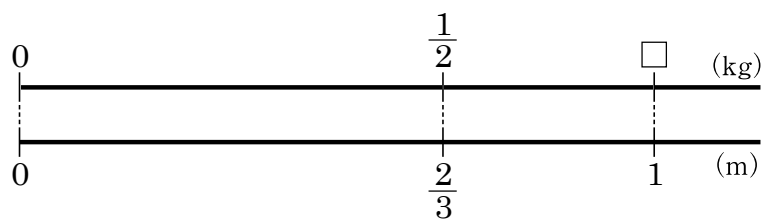
1



2

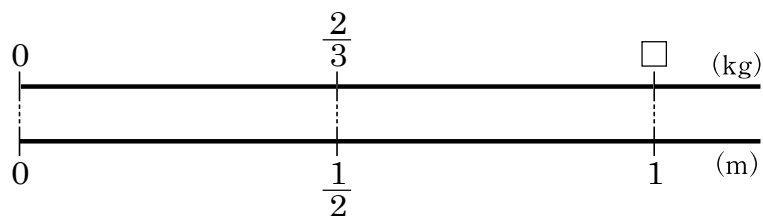


3



(1) (正答) 3
市 63.4
県 64.8
差 -1.3
自校()

4



- (2) この棒の1mの重さを求める式を書きなさい。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。

(2) (正答) $1/2 \div 2/3$
市 17.9
県 21.3
差 -3.4
自校()

⑪

4

イヌやネコが好きかきらいかを，13人に聞いて，【表1】のように記録しました。

【表1】 好ききらい調べ

出席 番号	イヌ	ネコ
1	○	○
2	○	×
3	○	○
4	○	○
5	×	○
6	○	×
7	○	○
8	×	×
9	○	○
10	○	×
11	×	○
12	○	×
13	○	○

○…好き
×…きらい

【表1】の記録を【表2】にまとめます。あとの問いに答えなさい。

【表2】 好ききらい調べ (人)

		ネコ		合計
		好き	きらい	
イヌ	好き		ア	
	きらい			イ
合計				

(1) アにあてはまる数は，何を表していますか。【表2】の中の言葉を使って書きなさい。

(1) (正答) イヌが好きで，ネコが
きらいな人の数

市 24.2
県 25.0
差 -0.8
自校()

⑫

⑬

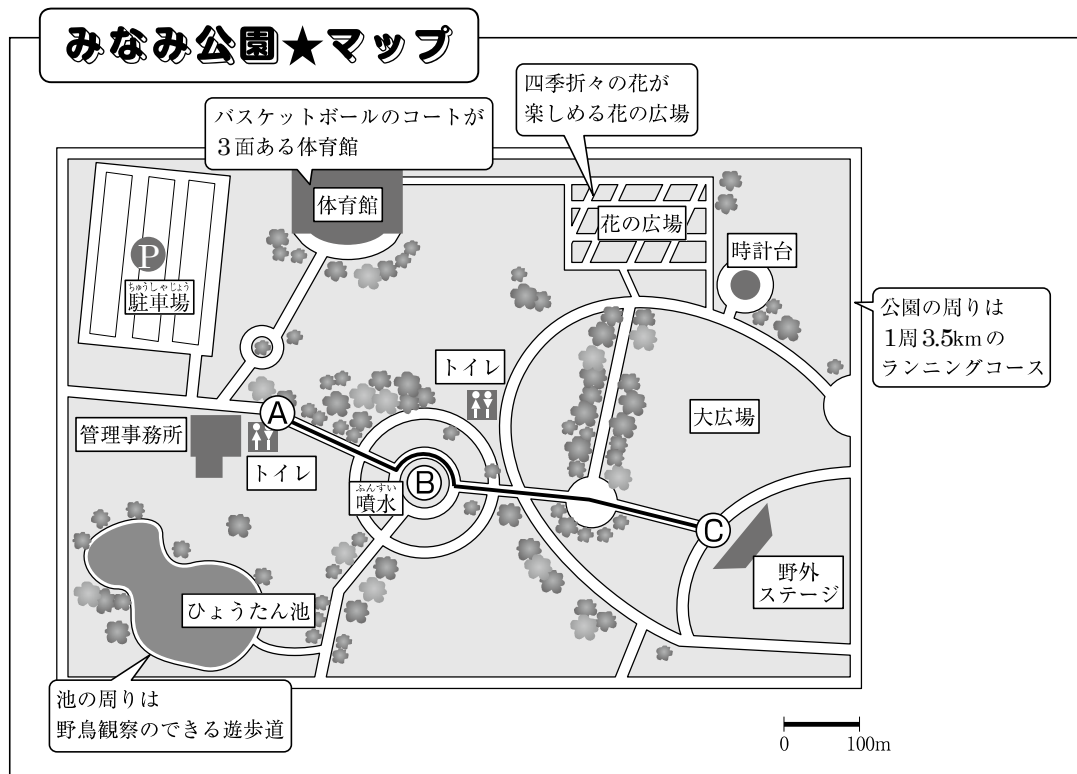
(2) イにあてはまる数を書きなさい。

(2) (正答) 3

市 60.9
県 63.1
差 -2.2
自校()

5

次の図は、まどかさんの家の近くにある「みなみ公園」の地図です。
これを見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 管理事務所のそばにあるトイレ①から、^{ふんすい}噴水②のそばを通って、野外ステージ③まで行くのに、まどかさんは上の地図の——の道を通りました。この道のりは約何mですか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

なお、「道のり」とは道にそってはかった長さのことをいいます。

14

- 1** 約100m **2** 約600m **3** 約1200m **4** 約2000m

- (2) まどかさんが、公園の周りのランニングコースを走ったところ、走り始めてから1周するまでに20分かかりました。まどかさんの走る速さは分速何mですか。答えを書きなさい。

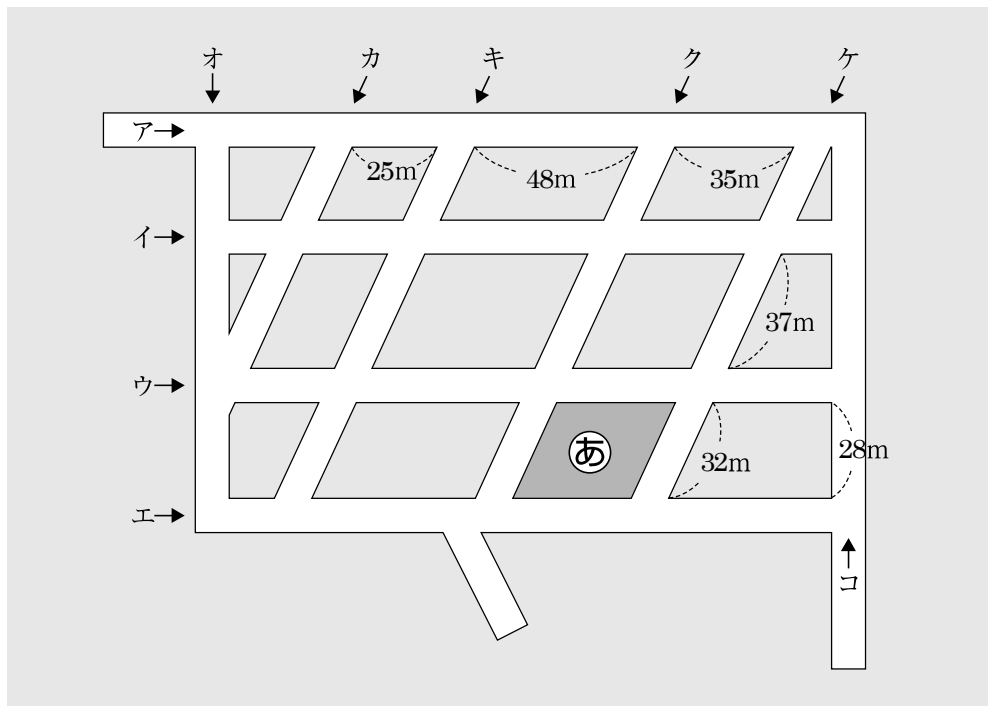
15

(1) (正答) 2
市 76.8
県 76.3
差 +0.6
自校()

(2) (正答) (分速) 175 (m)
市 41.9
県 45.7
差 -3.8
自校()

- (3) 次の図は、「みなみ公園」の花の広場を拡大したものです。
 ㊦の場所の面積を求める式と答えを書きなさい。

16



- 通路ア, イ, ウ, エは平行です。
- 通路カ, キ, ク, ケは平行です。
- 通路ア, イ, ウ, エは, それぞれ通路オに垂直です。
- 通路ア, イ, ウ, エは, それぞれ通路コに垂直です。

(3) (正答) (式) 35×28 (答え) $980 (\text{m}^2)$ 【完答】

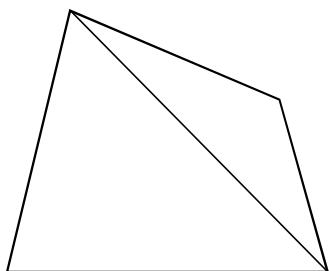
市 27.7
 県 31.8
 差 -4.1
 自校()

6

あつしさんたちは、多角形の角の大きさの和について調べています。次の問いに答えなさい。

- (1) あつしさんは、四角形の4つの角の大きさの和を次のように求めました。

【あつしさんの考え方】



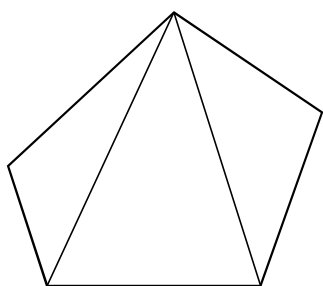
四角形を対角線で2つの三角形に分けます。
四角形の角の大きさの和は、三角形2つ分の角の大きさの和と同じになります。
三角形の3つの角の大きさの和は 180° だから、 $180 \times 2 = 360$
四角形の4つの角の大きさの和は、 360° です。



あつしさん

みずほさんは、あつしさんの考え方を使って、五角形の5つの角の大きさの和を次のように求めました。

【みずほさんの考え方】



五角形を対角線で3つの三角形に分けます。

ア



みずほさん

アに入る言葉と数や式を書きなさい。

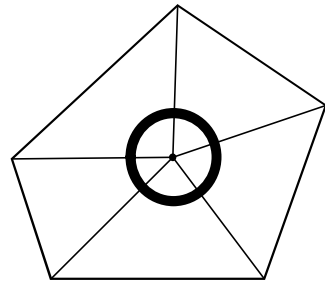
17

(2) ゆうとさんは、五角形の5つの角の大きさの和を次のように求めています。



ゆうとさん

五角形の中に点をとります。
その点と五角形の5つの頂点を
それぞれ結ぶと、右図のように
5つの三角形ができます。
三角形の3つの角の大きさの和
は 180° だから、 $180 \times 5 = 900$
五角形の5つの角の大きさの和は、
 900° となります。



ゆうとさんの説明を聞いて、みずほさんは次のように言いました。

五角形の5つの角の大きさの和は 900° にはならないと
思います。
なぜなら、 900° は、五角形の5つの角の大きさと、
の大きさをあわせた角度になって
いるからです。
だから、五角形の5つの角の大きさの和を求める
ためには、 $180 \times 5 = 900$ のあとに、と
いう式が必要です。



みずほさん

にあてはまる角を、解答用紙の図の-----をなぞってかきなさい。

また、五角形の5つの角の大きさの和を正しく求めるために、に式を書きなさい。

18

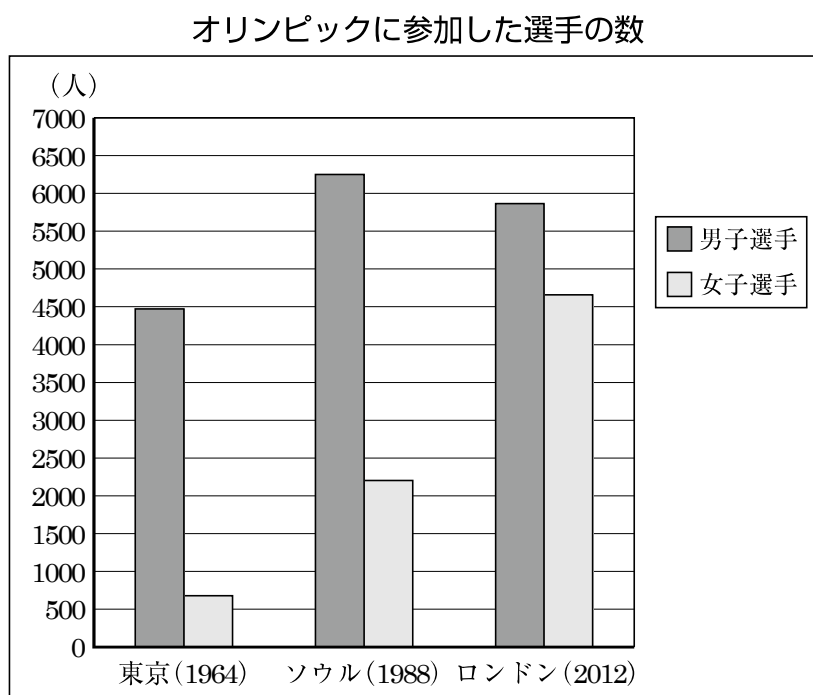
(1) (正答例) 五角形の角の大きさの和は、
三角形3つ分の角の大きさの和と同じ
になります。三角形の3つの角の大き
さの和は 180° だから、
 $180 \times 3 = 540$
五角形の5つの角の大きさの和は、
 540° です。
市 56.2
県 55.8
差 +0.4
自校()

(2) (正答)
(イ) (解答用紙に作図)
(ウ) $900 - 360$
【完答】
市 32.8
県 34.4
差 -1.7
自校()

7

2020年の第32回夏季オリンピック大会は、1964年の第18回大会以来56年ぶりに、東京で開催されることになりました。次の問いに答えなさい。

- (1) 次のグラフは、過去に東京、ソウル、ロンドンの各都市で開催されたオリンピックに参加した選手の数、男女に分けて表したものです。



- ① ロンドンオリンピックに参加した選手の全体の数は、ソウルオリンピックに参加した選手の全体の数と比べるとどのように変わりましたか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

19

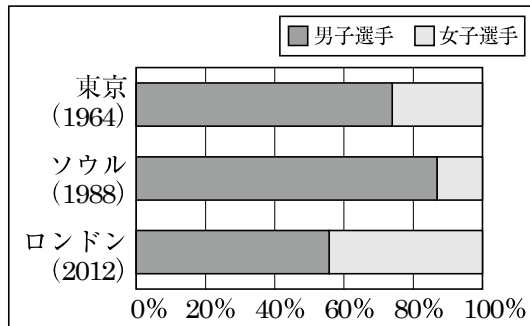
- 1** およそ500人減った。 **2** およそ2000人増えた。
3 およそ3000人増えた。 **4** ほとんど変わらない。

(1)①(正答) 2
 市 51.5
 県 52.9
 差 -1.4
 自校()

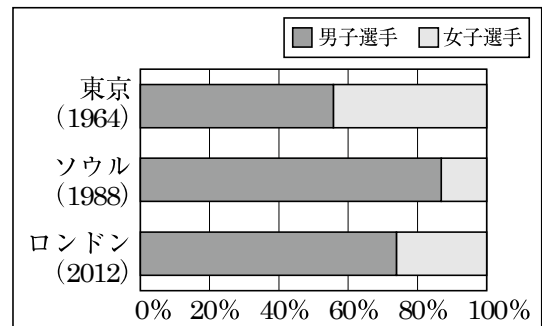
- ② オリンピックに参加した選手の数の男女別の割合を表したグラフを、次の**1**から**4**までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

20

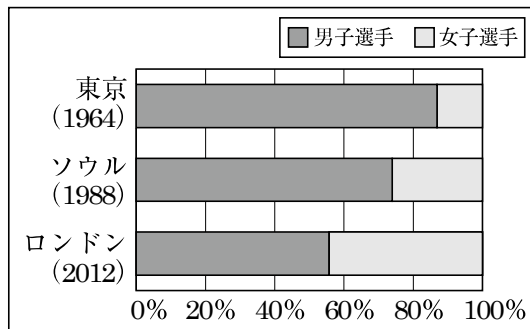
1



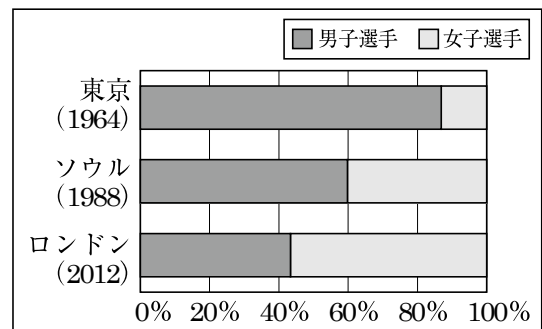
2



3



4



(1)②(正答) 3

市 57.0

県 57.6

差 -0.6

自校()

- (2) のぞみさんたちは、2012年にロンドンで開催されたオリンピックで各国の選手が獲得したメダル数をもとに、国の順位を決めています。

のぞみさんは、次のように国の順位を決めて、表にまとめました。

【のぞみさんの順位の決め方】

- 獲得した金メダルの数が多い国を上位の順位にします。
- 金メダルの数が同じときは、銀メダルの数が多い国を上位の順位にします。

国別メダル獲得数と順位

〈上位15か国のみ〉

順位	国名	金メダル	銀メダル	銅メダル	メダル総数
1	アメリカ	46	29	29	104
2	中国	38	27	23	88
3	イギリス	29	17	19	65
4	ロシア	24	26	32	82
5	韓国	13	8	7	28
6	ドイツ	11	19	14	44
7	フランス	11	11	12	34
8	イタリア	8	9	11	28
9	ハンガリー			6	18
10	オーストラリア	7	16	12	35
11	日本	7	14	17	38
12	カザフスタン	7	1	5	13
13	オランダ	6	6	8	20
14	ウクライナ	6	5	9	20
15	ニュージーランド	6	2	5	13

- ① ハンガリーの金メダルと銀メダルの獲得数はそれぞれ何個ですか。答えを書きなさい。

(2)①(正答) (金メダル…) 8 (個) (銀メダル…) 4 (個)

【完答】

市 63.2
 県 64.6
 差 -1.4
 自校()

②

- ② さとこさんは、獲得した金メダル1個につき3点、銀メダル1個につき2点、銅メダル1個につき1点として得点を求め、その得点が高い国を上順位とすることにしました。

さとこさんの順位の決め方では、オーストラリアと日本のどちらが上の順位になりますか。答えを書きなさい。また、その理由を書きなさい。 ㉒

- ③ たかしさんは、獲得した金メダルの数が、メダル総数のどれだけの割合にあたるかを求め、その割合が大きい国を上順位とすることにしました。

たかしさんと先生の会話を読んで、にあてはまる国名を左の表の中から1つ選んで書きなさい。 ㉓



たかしさん

わたし
私の順位の決め方では、左の表の15か国のうち
が1位になります。
その理由は、この国だけ金メダルの数の割合が
50%を超えているからです。

そのとおりです。

たかしさんの順位の決め方だと、獲得したメダルの
総数が少ない国でも、1位になることがありますね。



先生

(2)②(正答例) 日本(が上の順位になる)

(理由) オーストラリアの得点は

$7 \times 3 + 16 \times 2 + 12 \times 1 = 65$ で、
65点になる。

日本の得点は、

$7 \times 3 + 14 \times 2 + 17 \times 1 = 66$ で、
66点になる。

だから、日本が上の順位になる。

市 51.6
県 51.8
差 -0.3
自校()

(2)③(正答) カザフスタン

市 33.7
県 36.6
差 -3.0
自校()

中学校 第 1 学年

理科

1

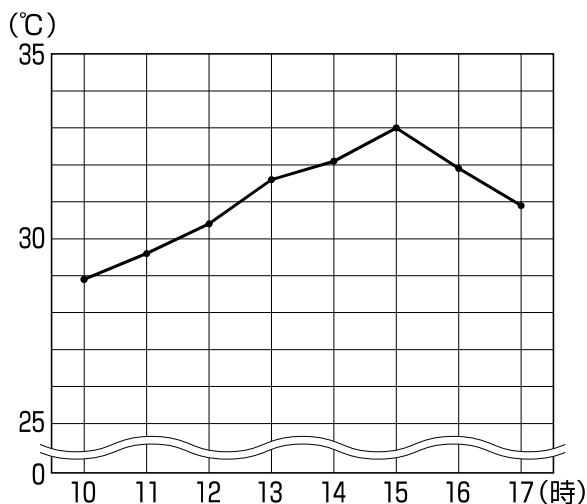
だいちさんは夏休みの自由研究で、気温の変化とヘチマの成長の記録をとり、クラスで発表することにしました。次の問いに答えなさい。

- (1) 温度計を使った気温のはかり方として正しいものはどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ①

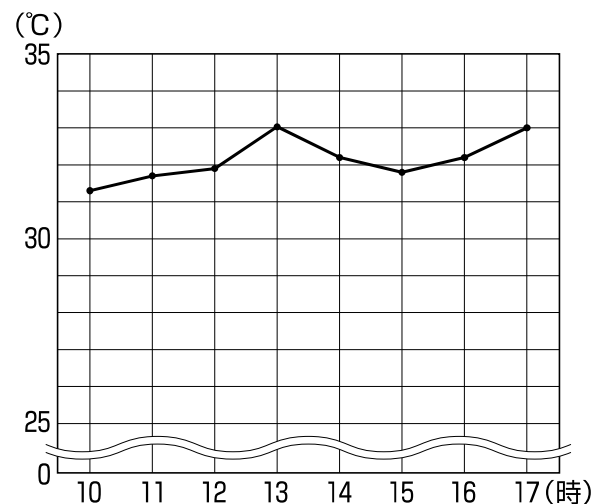
- 1 地面から20cm～50cmの高さで、温度計に日光が直接当たらないようにしてはかる。
- 2 地面から20cm～50cmの高さで、温度計に日光が直接当たるようにしてはかる。
- 3 地面から1 m 20cm～1 m 50cmの高さで、温度計に日光が直接当たらないようにしてはかる。
- 4 地面から1 m 20cm～1 m 50cmの高さで、温度計に日光が直接当たるようにしてはかる。

- (2) 次のグラフは、だいちさんが、^{おかやま}岡山県^{たかはし}高梁市の同じ場所で調べた1日の気温の変化を、折れ線グラフにまとめたものです。このとき、天気がくもりだったのは、アとイのどちらですか。記号を書きなさい。また、その記号を選んだ理由も書きなさい。 ②

ア



イ



(1) (正答) 3

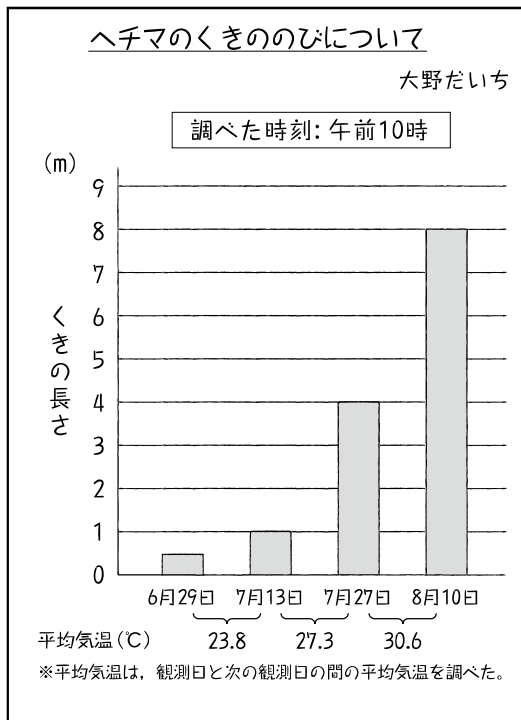
市 5 2. 5
県 5 1. 7
差 + 0. 9
自校()

(2) (正答) イ

(理由) 1日の気温の変化が小さいから。【完答】

市 2 4. 7
県 2 8. 3
差 - 3. 6
自校()

- (3) 次の資料は、だいちさんが、ヘチマのくきののびについて、クラスで発表したときに使ったものです。



まとめたグラフから、ヘチマのくきがのびた長さは、(ア) から (イ) の間にいちばん大きかったことがわかります。調べた結果から、ヘチマがよくのびるのは、(ウ) と考えられます。



だいちさん

- ① だいちさんが発表した内容の(ア), (イ)にあてはまる日にちは、それぞれいつですか。次の1から3までのの中から正しい組み合わせを1つ選んで、その番号を書きなさい。

③

- | | |
|-----------|---------|
| 1 ア…6月29日 | イ…7月13日 |
| 2 ア…7月13日 | イ…7月27日 |
| 3 ア…7月27日 | イ…8月10日 |

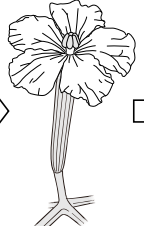
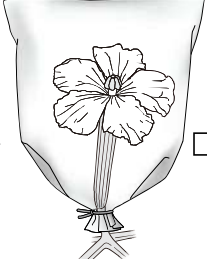
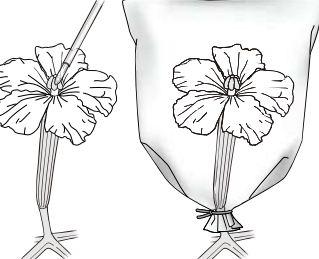
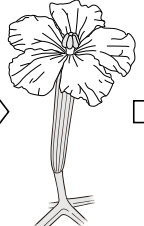
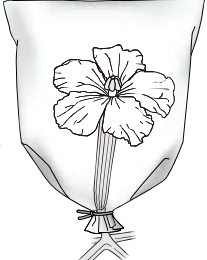
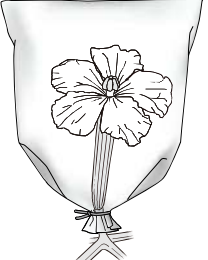
(3)①(正答) 3
市 91.9
県 91.5
差 +0.3
自校()

- ② だいちさんは、ヘチマがよくのびる条件について考察したことを説明しています。(ウ)にあてはまる言葉を書きなさい。

④

(3)②(正答) 気温が高くなることに関係している
市 53.4
県 54.0
差 -0.7
自校()

- (4) だいちさんが育てているヘチマに実ができました。学校で、めしべの先におしべの花粉がつくと実ができると習っただいちさんは、ヘチマのめばなのつぼみを使って、次のような実験をしました。

実験方法					実験結果
ア	めばなの つぼみ	めばな	めばながさいた後、 ふくろをかぶせておく。	花粉をつけて、すぐに、 ふくろをかぶせる。	実ができた。
					
イ	めばなの つぼみ	めばな	めばながさいた後、 ふくろをかぶせておく。	花粉をつけずに、 そのままにしておく。	実ができた。
					

※花粉をつけること以外の条件が、すべて同じになるように実験を行いました。



だいちさん

花粉をつけなかったイのめばなにも、
実ができたのはなぜだろう。

実験方法を見直して、もう一度、
やり直してみた方がいいと思うよ。



まりこさん

だいちさんは、どのように実験をやり直せばよいですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。また、その番号を選んだ理由も書きなさい。⑤

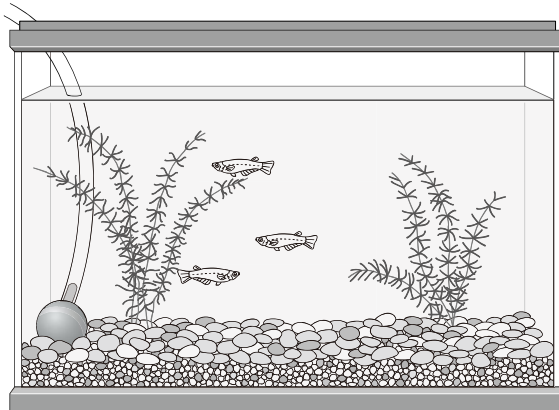
- 1 アとイのめばなに、つぼみのときからふくろをかぶせておく。
- 2 アとイのめばなに、ふくろをかぶせない。
- 3 アとイのめばなのめしべの先に、花粉をつける。
- 4 アのめばなのめしべの先に花粉をつけ、
アとイのめばなのふくろをはずす。

(4)(正答) 1 (理由) 風や昆虫、鳥などによって花粉が運ばれ、おしべの花粉がめしべの先につき、受粉してしまうことがあるから。

市 10.0 県 11.4
差 -1.4 自校()

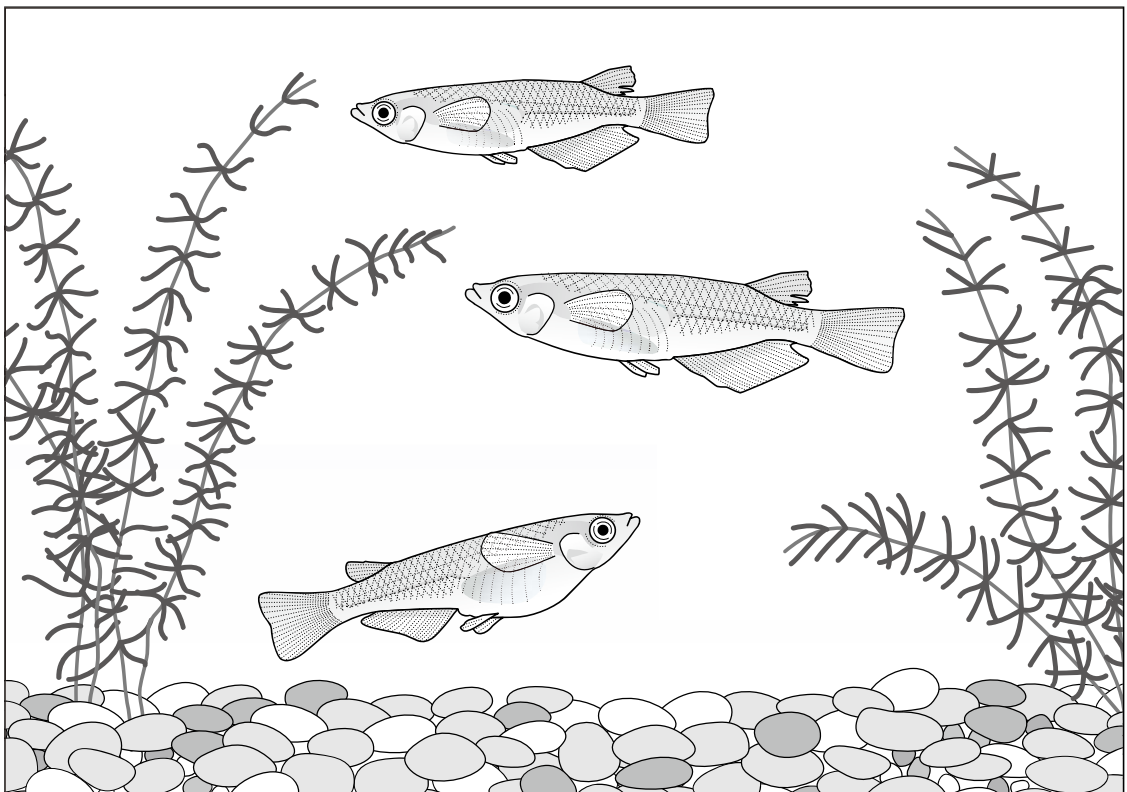
2

みかさんの学校では、次の図のような水そうで、メダカを3びきかっています。ある日、みかさんは小さなメダカのたまごを見つけました。あとの問いに答えなさい。



- (1) 次の図は、水そうの中のメダカを、拡大して表したものです。おすのメダカの数
答えなさい。また、おすと判断した理由も書きなさい。

6



(1) (正答) 2 ひき

(理由) ひれの形が平行四辺形である。

お腹がふくらんでいない。など【完答】

市 7 5 . 8

県 7 7 . 5

差 - 1 . 7

自校()

- (2) 次の文は、メダカの誕生について、説明したものです。(ア),(イ),(ウ)
にあてはまる言葉の正しい組み合わせはどれですか。あとの1から4までの中から1
つ選んで、その番号を書きなさい。

7

めすがうんだ(ア)が、おすが出した(イ)と結びつくことを、(ウ)
という。(ウ)すると、生命が誕生する。

- | | | | |
|---|-------|-------|------|
| 1 | ア…精子 | イ…たまご | ウ…受精 |
| 2 | ア…たまご | イ…精子 | ウ…受精 |
| 3 | ア…精子 | イ…たまご | ウ…受粉 |
| 4 | ア…たまご | イ…精子 | ウ…受粉 |

(2)(正答) 2

市 89.9

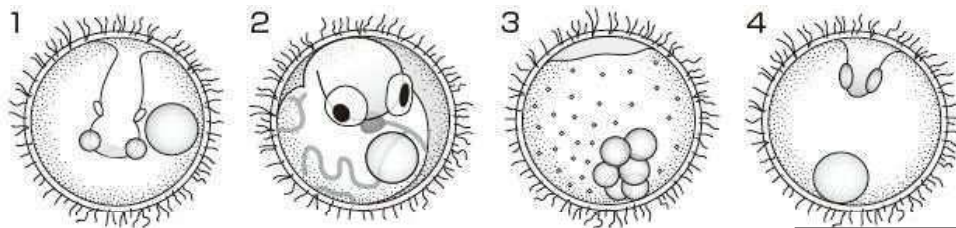
県 88.6

差 +1.3

自校()

- (3) 次の図は、けんび鏡で見たメダカのたまごの様子です。次の1から4を、たまごが
変化する順に、左から書きなさい。

8



(3)(正答) 3→4→1→2

市 93.2 県 93.2

差 +0.0 自校()

- (4) みかさんとひろさんが、次のような会話をしています。

ひろ：今日のメダカの世話係は、みかさんだったよね。

みか：うん、休み時間にえさやりをしたよ。うまれたメダカも大きくなっていたよ。自然の中で生きているメダカにも、えさをやる人がいるのかなあ。

ひろ：自然の中で生きているメダカには、だれもえさをあたえていないよ。

みか：自然の中で生きているメダカは、だれからもえさをもらえないのに、なぜ生きていけるのかな。

ひろ：わたしも不思議に思って、本で調べたんだ。それによると、自然の中で生きているメダカは、(A)から、えさをあたえられなくても生きていけるそうだよ。

みか：なるほど。

みかさんとひろさんの会話の、(A)にあてはまる言葉を書きなさい。

9

(4)(正答) 水中の小さな生き物を食べる

市 45.5 県 40.0

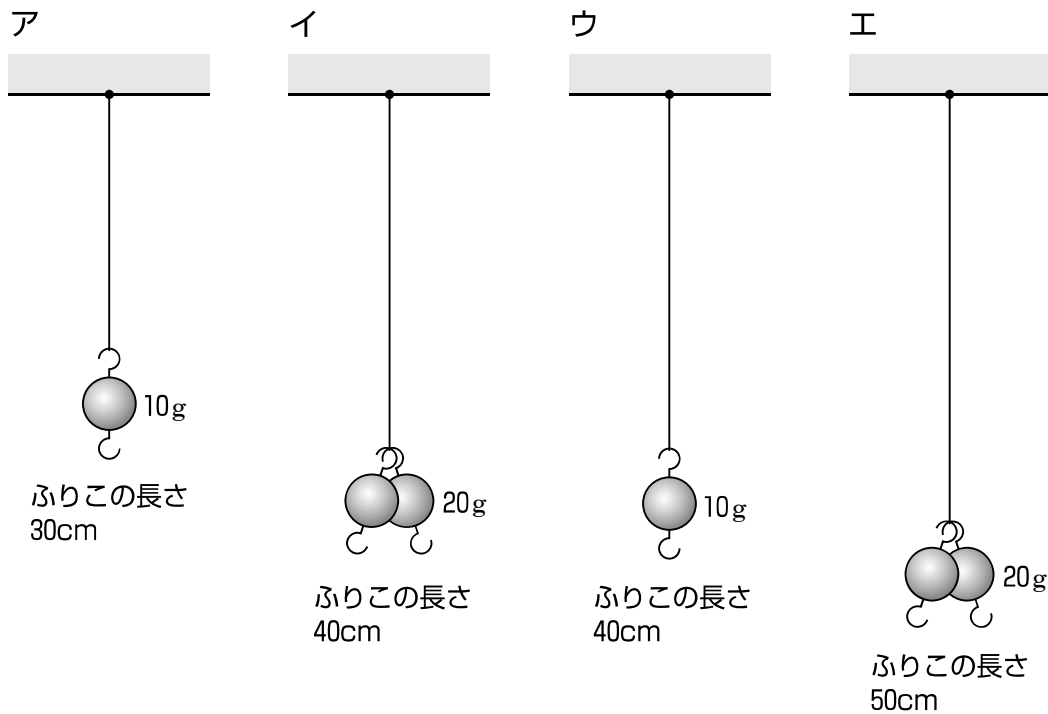
差 +5.5 自校()

3

ともゆきさんは、ふりこの性質について調べるために、次のような実験をしました。
あとの問いに答えなさい。

実験

図のアからエのように、おもりの重さとふりこの長さが異なる実験装置を用意しました。ふりこのふれはばを同じにして、それぞれのふりこの1往復する時間を調べました。



- (1) ふりこの1往復する時間の求め方として、最もふさわしいものを、次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

10

- 1 ふりこの1往復する時間を1回はかる。
- 2 ふりこの1往復する時間を3回はかり、その3回の平均の時間を求める。
- 3 ふりこの10往復する時間を1回はかり、その1回の時間を10で割って求める。
- 4 ふりこの10往復する時間を3回はかり、その3回の平均の時間を10で割って求める。

(1) (正答) 4

市 4 1.4 県 4 2.9 差 -1.6 自校()

- (2) ふりこの1往復する時間が、おもりの重さによって変わるのかどうかを調べるためには、図のアからエのふりこのうち、どれとどれを比べればよいですか。アからエまでのの中から2つ選んで、その記号を書きなさい。

11

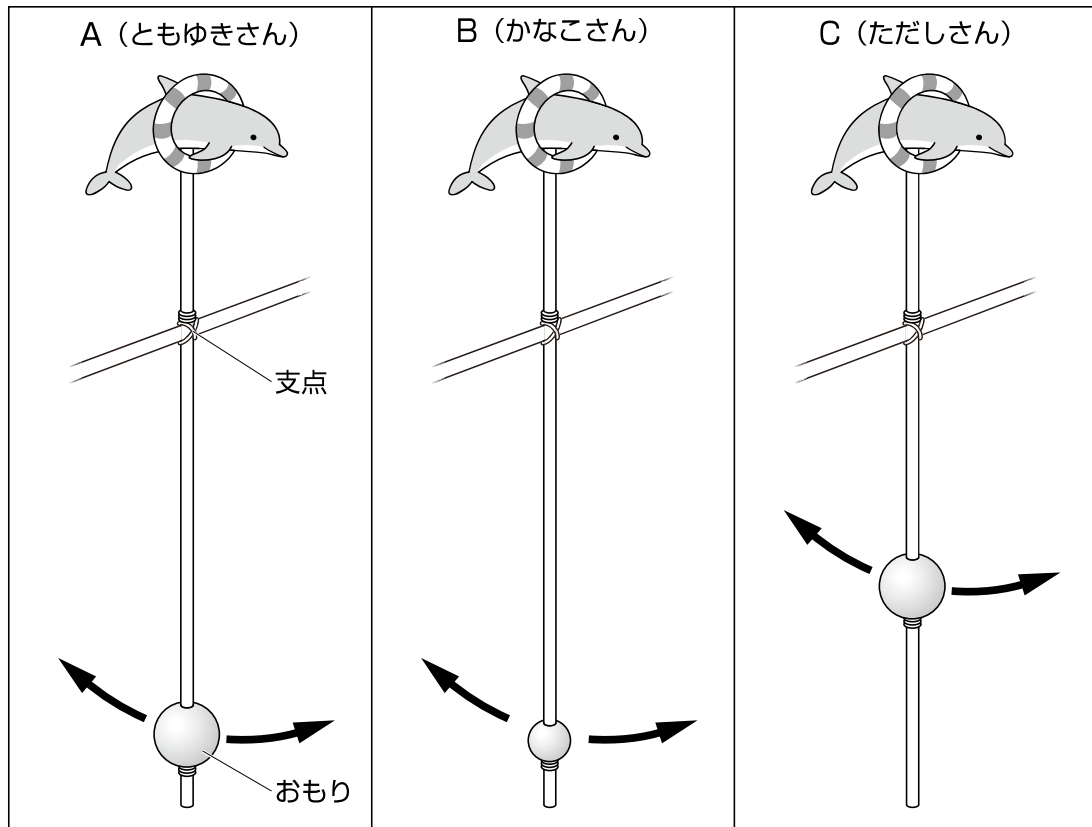
(2) (正答) イ, ウ

市 8 0.0 県 8 1.8 差 -1.8 自校()

- (3) 左ページの実験で、1往復する時間が最も短いふりこを、図のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

12

- (4) ふりこの実験のあと、ともゆきさん、かなこさん、ただしさんはそれぞれ、次の図のような、ふりこを使ったおもちゃA、B、Cを作りました。



ともゆきさんたちは、おもちゃA、B、Cがそろってゆれるようにしたいと考えています。おもりをつけた棒のはしを同じ高さまで持ち上げて、同時に手をはなしたところ、おもちゃA、B、Cのうち、1つだけ往復する時間が異なりました。それはどれですか。おもちゃA、B、Cの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

また、おもちゃA、B、Cの往復する時間を同じにするためには、どのおもちゃのおもりを、どのようにすればよいですか。説明しなさい。

13

(3) (正答) ア

市 72.3
県 72.0
差 +0.3
自校()

(4) (正答) 記号 : C

説明 : Cの(のおもり)を、下にずらして、

A、Bのおもりの高さにそろえる。など【完答】

市 34.0
県 36.3
差 -2.3
自校()

4

まりさんは、電磁石のはたらきについて調べるために、図1のように実験器具を準備しました。あとの問いに答えなさい。

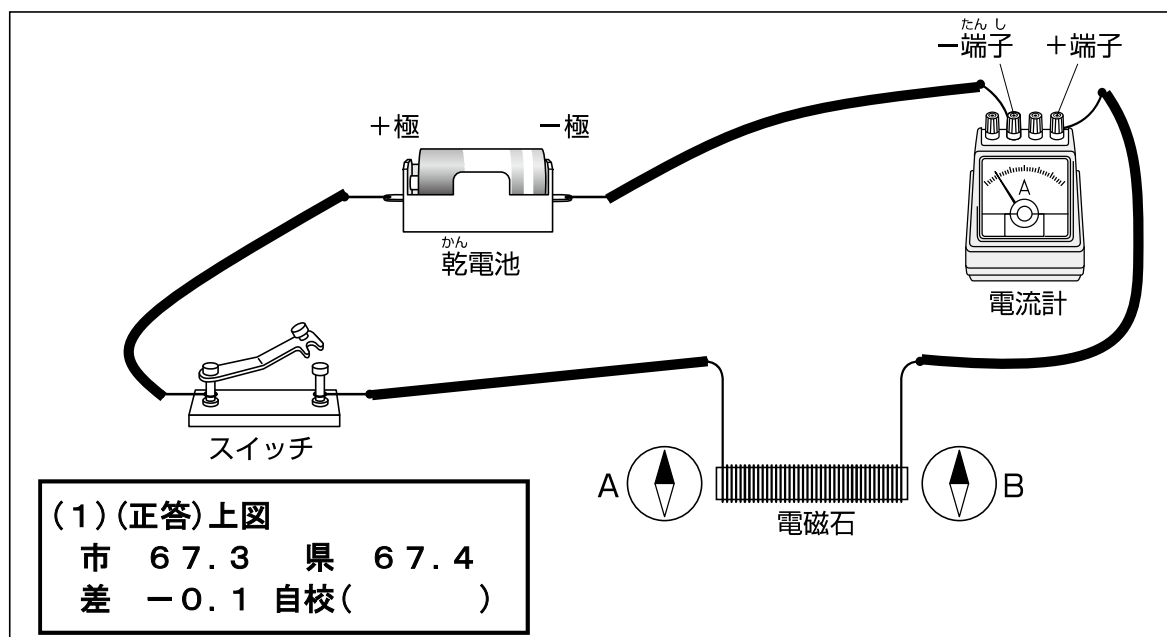


図1

- (1) 図1の乾電池，スイッチ，電磁石，電流計をつないで(・と・を結ぶ)，電磁石に流れる電流をはかることができる回路を解答用紙にかきなさい。 14

- (2) 図1の電磁石に電流が流れるように回路を作り，スイッチを入れると，Aの方位磁針の針が，図2のようにふれました。このとき，Bの方位磁針の針はどのようにふれますか。次の1から4までの中から1つ選んで，その番号を書きなさい。

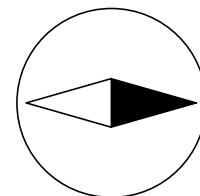
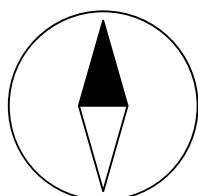
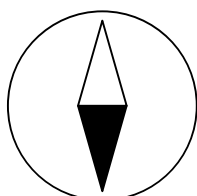


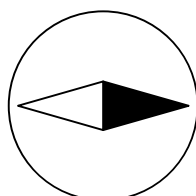
図2



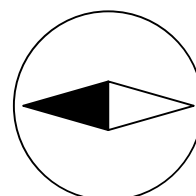
1



2



3



4

(2) (正答) 3
市 36.1
県 39.2
差 -3.0
自校()

(3) まりさんのクラスでは、小学校1年生との交流会で、電磁石と磁石の性質を利用した魚釣りゲームを行うことにしました。

図3のように、乾電池とスイッチをつけた板に、エナメル線をのばし、鉄しんにエナメル線を巻いた電磁石をとりつけて、つりざおを作りました。紙で作った魚アから魚工の口には、それぞれ棒磁石のN極、S極、アルミニウムの棒、鉄の棒をつけ、魚同士がくっつかないように床に置きました。その後〈ゲーム1〉から〈ゲーム3〉を行い、その結果を表にまとめました。

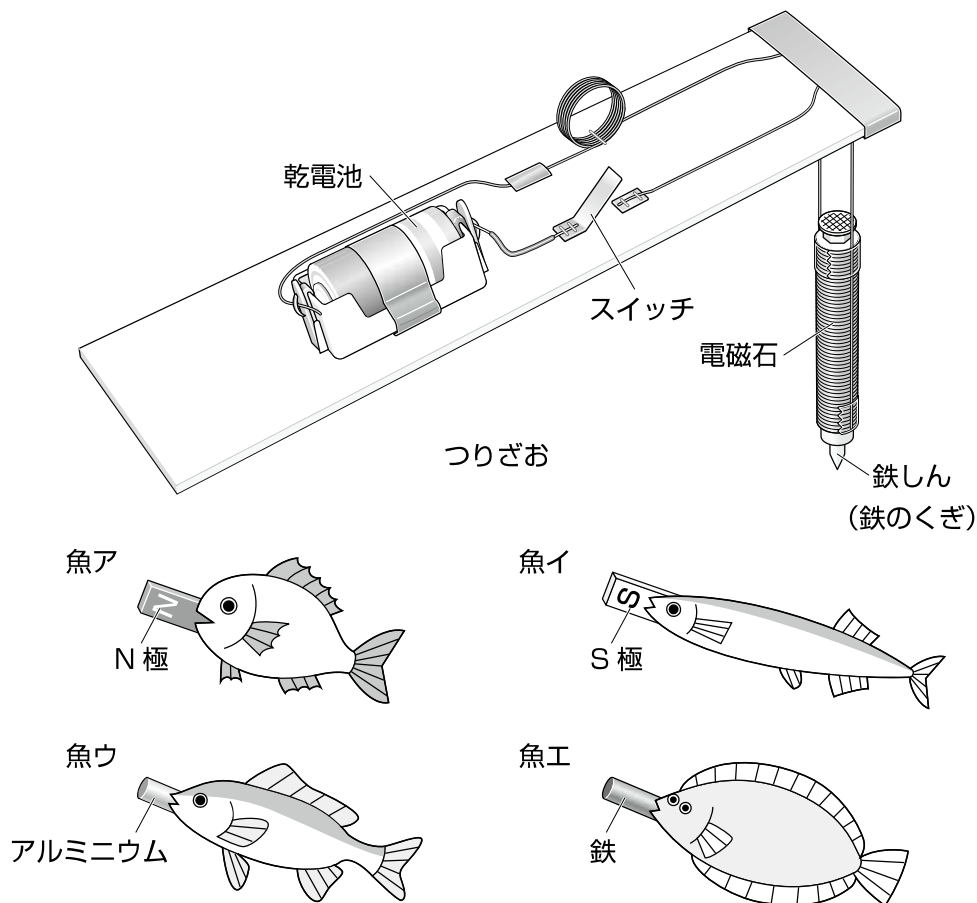


図3

〈ゲーム1〉 スイッチを入れずに、つりざおを魚アから魚工の口のところに近づけた。

〈ゲーム2〉 スイッチを入れて、つりざおを魚アから魚工の口のところに近づけた。

結果 魚アと魚工がつれた。

〈ゲーム3〉 〈ゲーム2〉のつりざおの乾電池の向きを逆にしたあと、スイッチを入れて、つりざおを魚アから魚工の口のところに近づけた。

ゲームの結果

	魚ア	魚イ	魚ウ	魚エ
〈ゲーム1〉				
〈ゲーム2〉	○	×	×	○
〈ゲーム3〉				

※○は、魚がつれた

×は、魚がつれなかった

- ① 〈ゲーム1〉の結果はどのようになりましたか。解答用紙の表に、つれた魚には○を、つれなかった魚には×を書きなさい。 16

- ② 〈ゲーム3〉の結果はどのようになりましたか。解答用紙の表に、つれた魚には○を、つれなかった魚には×を書きなさい。 17

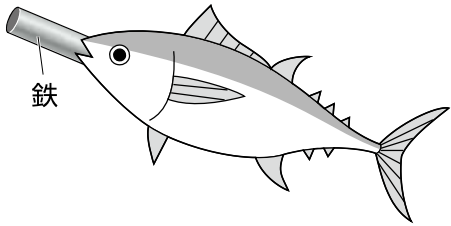
- ③ まりさんとけんさんは、次のような会話をしています。

けん：みんなが楽しそうに、魚つりをしているから、大物を作って持ってきたよ。つってみよう。

まり：魚の口にはくつつくけど、持ち上げるときに、はずれてしまうよ。

けん：電磁石の力を強くしたら、持ち上げられるかもしれないよ。a 電磁石の力を強くするには2つの方法があったよね。

まり：そうだね。つりざおを作りかえてみよう。



会話文の下線部aについて、2つの方法を書きなさい。

18

(3)①(正答) 魚ア：○ 魚イ：○ 魚ウ：× 魚エ：× 【完答】
市 22.4 県 24.1
差 -1.7 自校()

(3)②(正答) 魚ア：× 魚イ：○ 魚ウ：× 魚エ：○ 【完答】
市 33.2 県 37.7
差 -4.5 自校()

(3)③ (正答) ・電磁石のエナメル線の巻き数を増やす
・電池を2個直列にして電流を大きくする など 【完答】
市 8.0 県 11.1
差 -3.1 自校()

5

たろうさんは、理科の授業で水や金属をあたためる実験をしました。次の問いに答えなさい。

- (1) たろうさんは図1のように、入れ物に水を入れ、底の左はしを熱しました。このとき、図1の矢印のように水は動きながら、全体があたたまっていきました。図2のように、入れ物の底の中央を熱したとき、水は、どのように動いて全体があたたまりますか。あとの1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

19

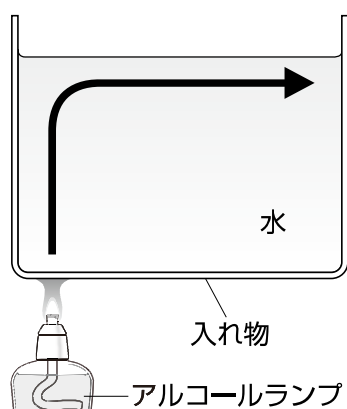


図1

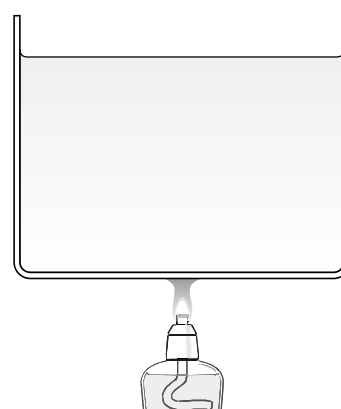
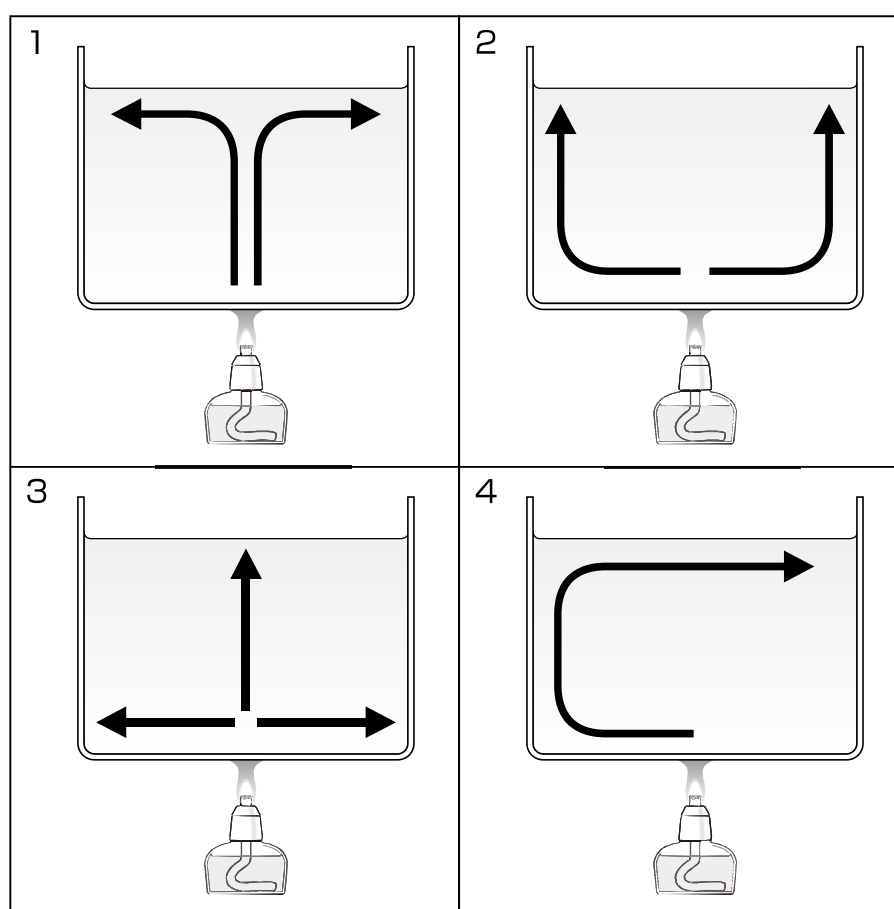


図2



(1)(正答) 1 市 49.8 県 52.8 差 -3.0 自校()

(2) たろうさんの家の近くでは、電車が走っています。



どうして、電車が走るときに、「ガタンゴトン」と音をするんだろう。

たろうさん

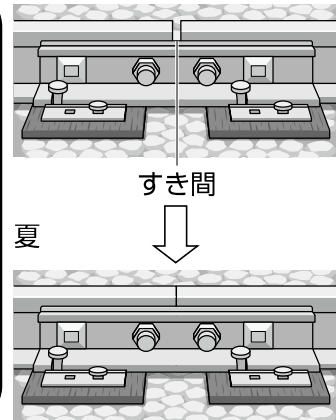


お父さん

線路は、短いレールがたくさんつながってできているんだよ。

レールとレールのつなぎ目には、すき間があるので、電車がその上を通るときに、音をするんだよ。

このレールとレールのつなぎ目のすき間は、夏になると、小さくなるんだよ。



たろうさんは、夏になると、なぜレールとレールのつなぎ目のすき間が小さくなるのかを考え、理科のノートを調べました。

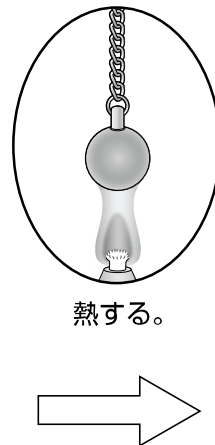
〈たろうさんの理科のノート〉

実験方法

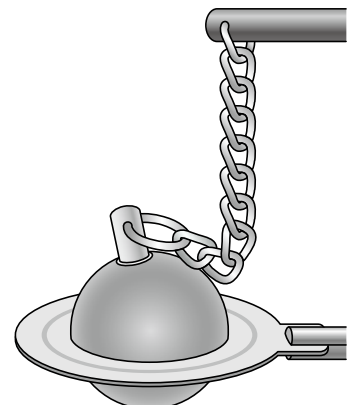
実験1 金属の球と輪を用意し、初めに、金属の球が輪を通りぬけるかどうかを調べる。

実験2 金属の球を熱して、金属の球が輪を通りぬけるかどうかを調べる。

実験1



実験2



実験結果

実験1のとき、金属の球は輪を通りぬけた。

実験2のとき、金属の球は輪を通りぬけなかった。

たろうさんは理科のノートの実験結果から、次のように考えました。



レールは金属でできています。夏になると（ ア ），
その結果、体積が（ イ ）から、すき間が小さく
なると思います。

たろうさんの考えの、（ ア ）と（ イ ）にあてはまる言葉を、それぞれ書きなさい。

(2) (正答) ア…温まり イ…大きくなる
市 45.5
県 46.0
差 -0.5
自校()

4 倉敷市の学習状況の特徴

学習状況調査では、65の質問に生徒が回答している。4では、倉敷市の学習状況として特徴的な内容について、下記の項目で分析し、掲載している。

(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問（各3問）

(2) 自分自身について（自己意識と生活の様子）

(3) 家庭での様子について

①学習の取り組み方 ②学習時間 ③生活時間

④携帯電話・スマートフォンの使い方

(4) 学校での学習について

①教科等に関する意識 ②学校の授業

(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問

① 肯定的な回答の割合が高い質問（高い方から3問）

質問内容	市	県	差
(7) 友達との約束を守っている。	97.2	97.5	-0.3
(36) 学校の宿題をしている。	97.0	97.4	-0.4
(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	96.7	96.9	-0.2

○3項目とも、昨年度と同じ質問内容となっている。

○(7)については、H24からひき続き、肯定的な回答をした生徒の割合が最も高く、友達とのかかわりを大切にしようとする意識は強い。(H24は97.0, H25は97.4)

○宿題については、年々肯定的な回答をした生徒の割合が増えている。(H24は94.9, H25は96.8)

○「いじめは絶対に許さない」という意識は引き続き高い。(H24は96.3, H25は96.4)

② 肯定的な回答の割合が低い質問（低い方から3問）

質問内容	市	県	差
(31) 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思わない。	26.2	27.3	-1.1
(37) 学校の授業の予習をしている。	49.4	52.1	-2.7
(48) 国語の勉強は好きだ。	54.1	55.8	-1.7

○(31)については、H24, H25に続き、肯定的な回答をした生徒の割合が最も低い項目であった。しかし、県との差は、小さくなっており(H25は-1.9), その割合も年々増えている。(H24は21.8, H25は24.0) 引き続き言語活動の充実に向けた取組が重要である。

○(37)については、肯定的な回答をした生徒の割合が年々増えている。(H24は41.0, H25は47.1) (29) から、家庭学習の内容や方法について学校の先生から指導を受けている生徒の割合も、38.4 と増えている。しかし、特に教えてもらっていない、自分なりに考えてやっている生徒の割合も 50.7 とかなり多い。効果的な家庭学習の方法についての指導が進めば、予習をする生徒がさらに増えると予想される。

○国語に関して、「将来社会で出たときに役立つ」と考える生徒の割合は、88.4, 「よく分かる」と感じている生徒の割合は、72.9 とかなり高いのに比べ、「好きだ」と感じている生徒の割合は低い。学ぶ楽しさを感じることでできる国語学習を工夫していく必要がある。

③ 肯定的な回答の割合が県よりも高い（県との差が小さい）質問
（県との差が小さい方から３問）

質問内容	市	県	差
(52) 社会の勉強が好きだ。	64.9	64.2	+0.7
(3) 将来の夢や目標をもっている。	85.3	85.3	±0
(33) 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習できていた。	75.2	75.4	-0.2

○ 4教科の勉強が好きだと回答した生徒はいずれも昨年より増え、県との差も小さくなっている。学習への意欲が少しずつ高まっていることが分かる。

○ (33) については、肯定的な回答をした生徒が増え（H25は72.4）、県との差も小さくなった。（H25は-1.3）学習規律を意識した指導が、徹底されてきていることが分かる。

④ 肯定的な回答の割合が県よりも低い質問
（県との差が大きい方から４問）

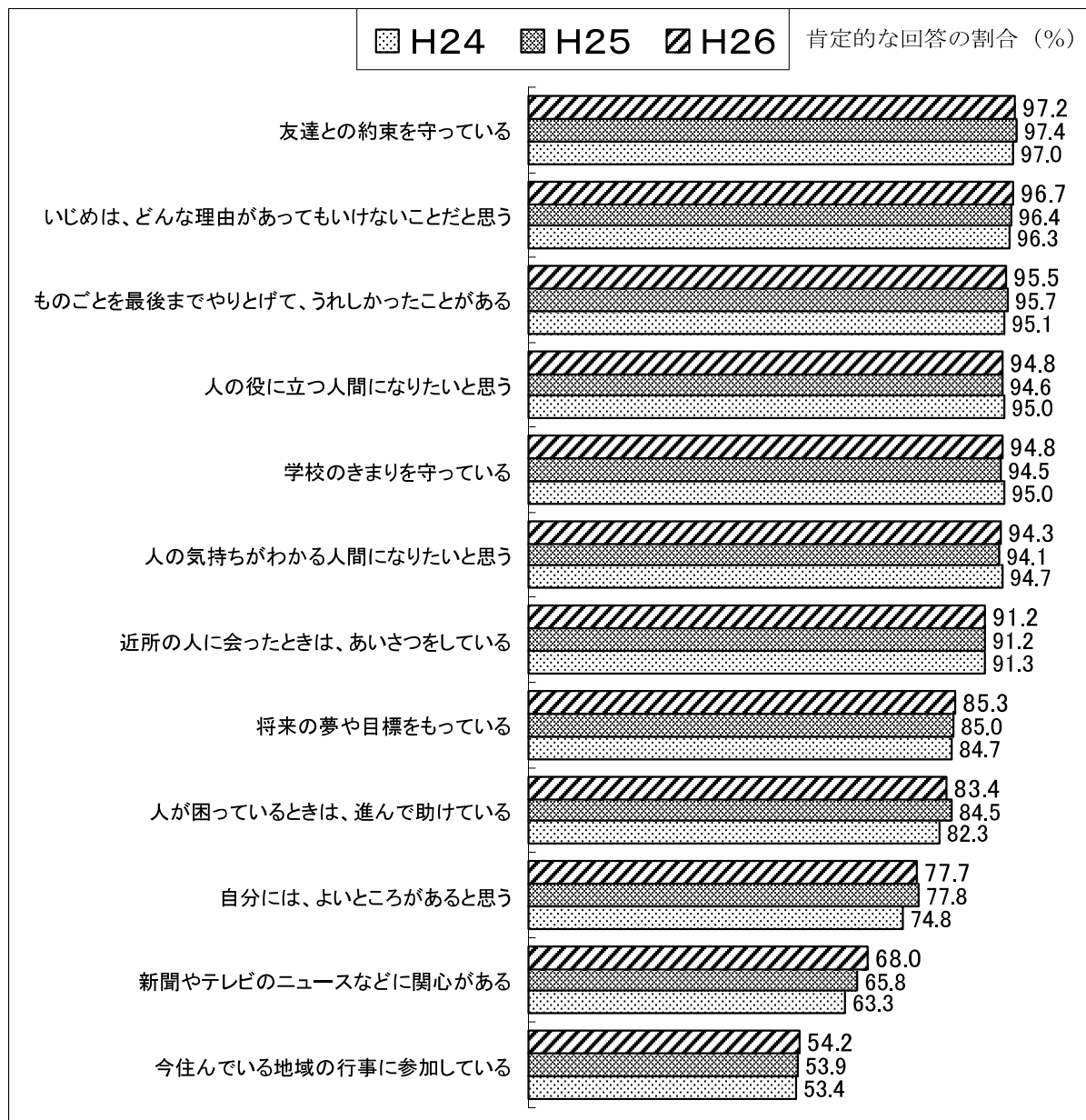
質問内容	市	県	差
(5) 今住んでいる地域の行事に参加している。	54.2	65.7	-11.5
(44) 授業の中で、学級全体で話し合いをしていた。	68.3	72.7	-4.4
(32) 学校で、将来の夢や目標について考える学習や活動をした。	75.5	79.6	-4.1
(45) 授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた。	72.8	76.9	-4.1

○ (5) は、県の平均と比べ、H24から引き続き、10ポイント以上も低い結果となっている。地域とのつながりが希薄になっている傾向が、強く現れている。

○ 授業において、目標の明示、考えをもつ時間の確保、グループでの話し合いについては、昨年度に比べ肯定的な回答をした生徒の割合が増え、県との差も小さくなっている。しかし、全体での話し合いやまとめ、振り返りについては、依然県との差が大きい。授業の前半部分については改善が進んでいるものの、タイムマネジメントがうまくいかず、授業の後半部分の時間が足りなくなっていることが推測できる。

（２）自分自身について（自己意識と生活の様子）

◇次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



○自己意識と生活の様子について尋ねた質問の回答結果では、H24から大きな変化はないが、肯定的な回答の割合が、微増する傾向にある。

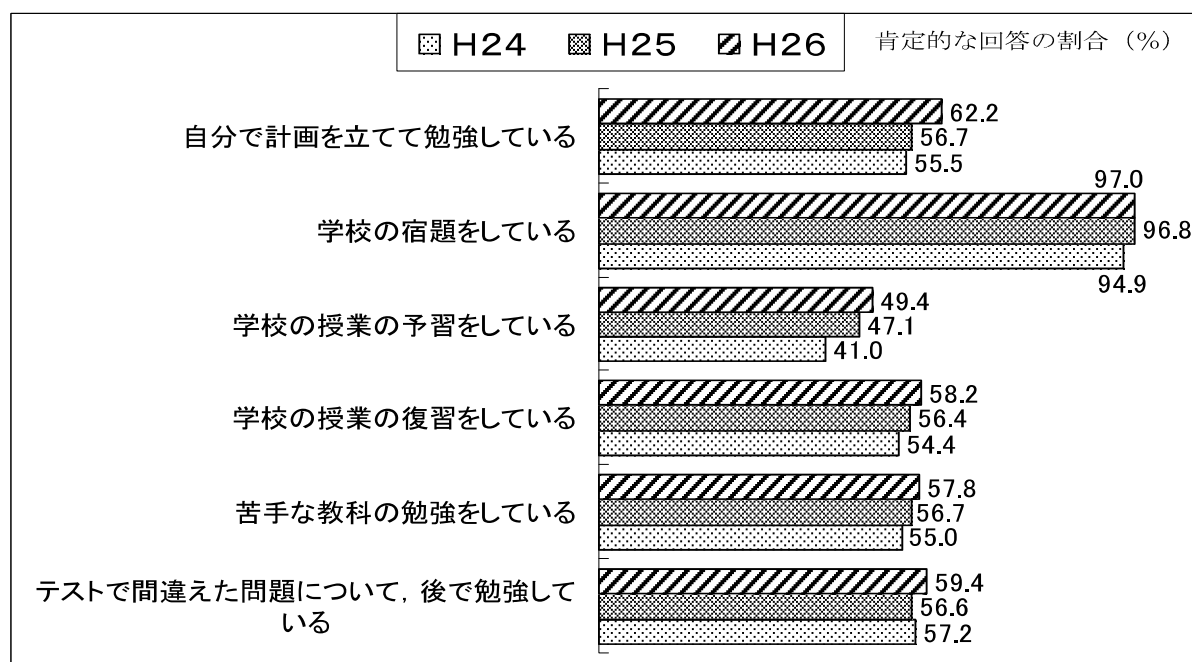
○3ヶ年とも、肯定的な回答をした生徒の割合が90%を超えているのは、きまりや約束を守ること、近所の人にあいさつをすること、ものごとを最後までやりとげてうれしかったこと、望ましい人間像についての意識、いじめに対する意識である。

○地域の行事への参加と、新聞やテレビのニュースなどに関心については、H24から少しずつではあるが、肯定的な回答をした生徒の割合が増えている。

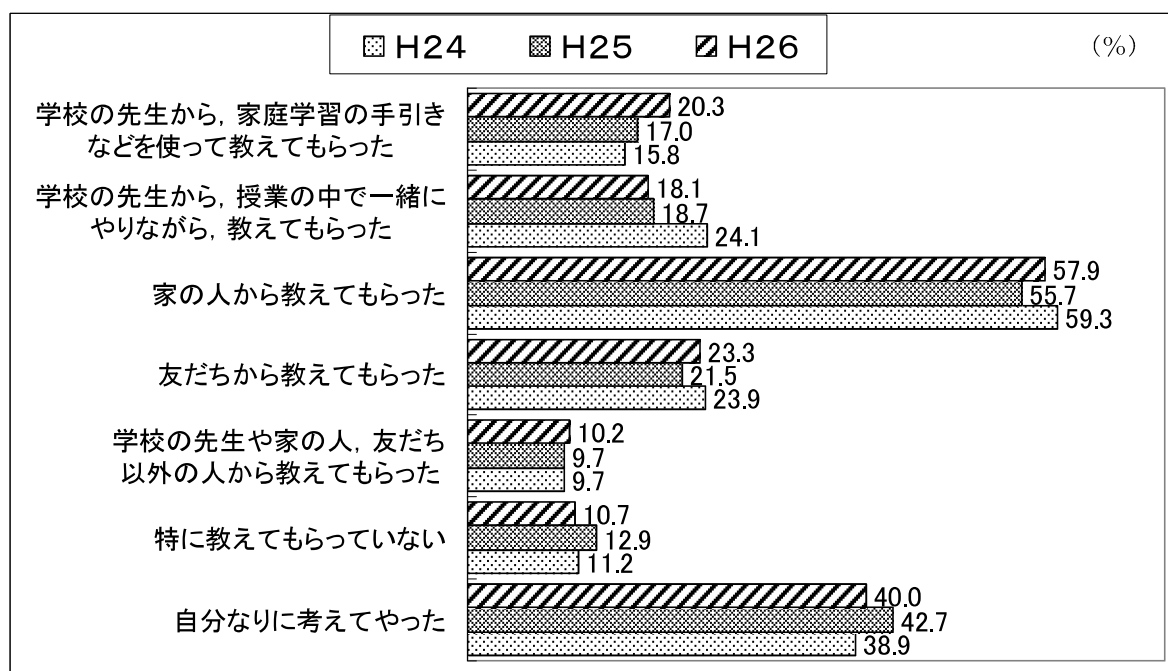
(3) 家庭での様子について

①学習の取り組み方

◇家で次のようなことをしていますか。



◇学習内容や方法について、だれからどのように教えてもらいましたか。



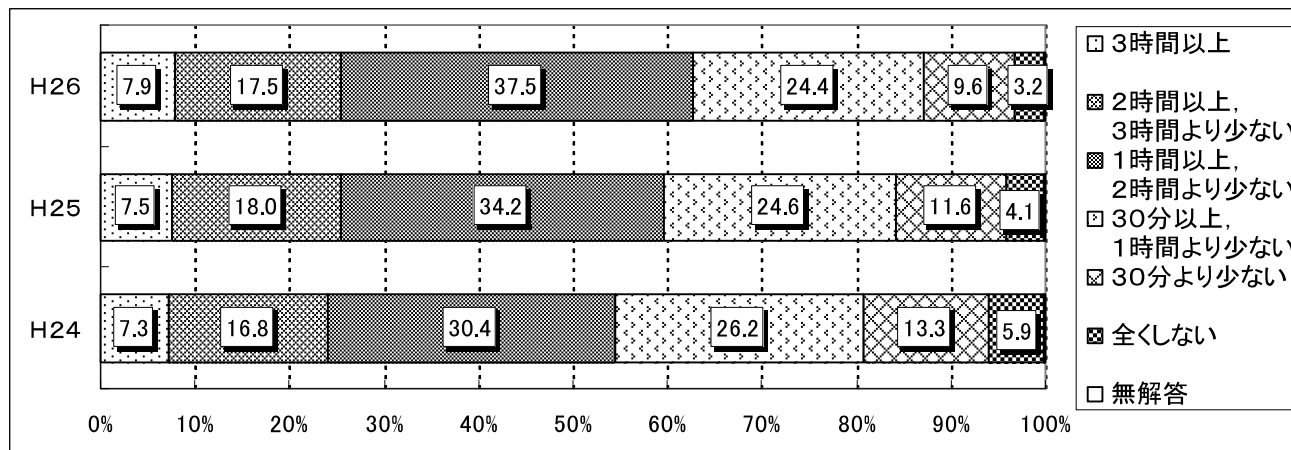
○計画的な学習・予習・復習等，家庭での学習の取組について，肯定的な回答をした生徒の割合は，全体的に増えている。

○学習の内容や方法を，家庭学習の手引き等で教えてもらう項目が年々増えているので，さらに家庭との連携を図りながら，意欲的に家庭学習に取り組むことができる手だてを講じることが大切である。

②学習時間

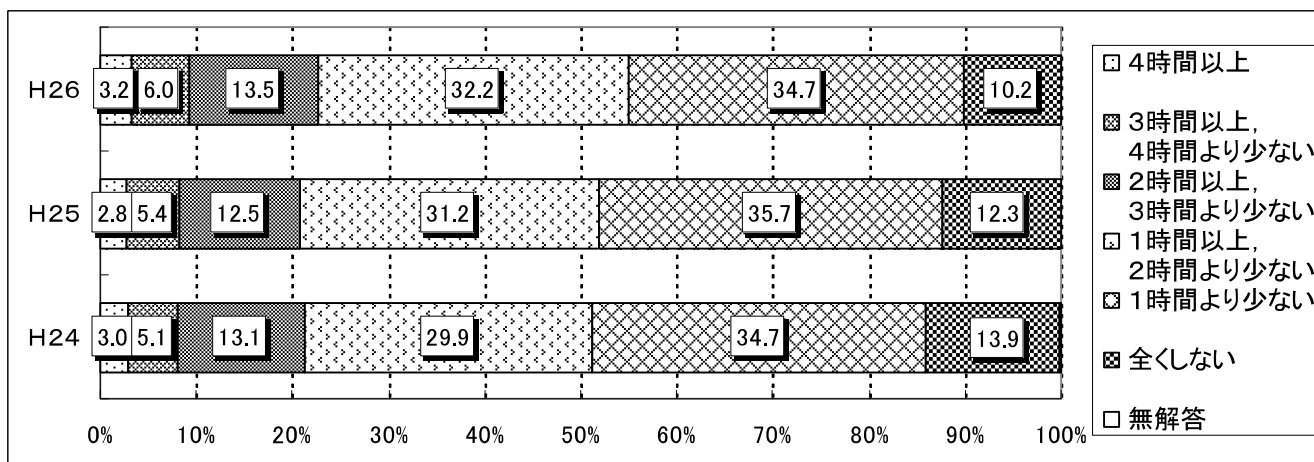
◇平日の学習時間について

学校の授業時間以外で、ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，勉強をしますか。（放課後に先生や地域の方に教わっている時間，学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



◇休日の学習時間について

土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日あたりどれくらいの時間，勉強をしますか。（地域の方に教わっている時間，学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



○平日１時間以上勉強している生徒の割合は，県平均よりはやや下回っているものの，年々増えている。また，全くしない生徒の割合は，年々減っている。

・ H 2 4 (58.3%)→H 2 5 (59.7%)→H 2 6 (62.9)

※県平均：H 2 6 (64.6%)

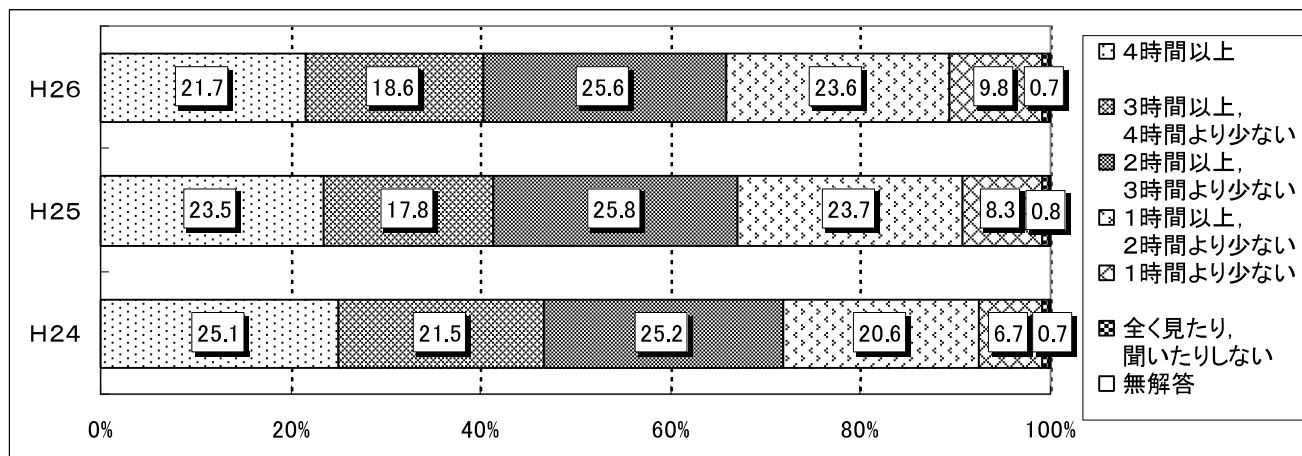
※全くしない生徒の割合：H 2 4 (5.9%)→H 2 5 (4.1%)→H 2 6 (3.2)

○休日の学習時間についても，同様の傾向が見られる。今後も，生徒が学習習慣を身に付け，計画的に毎日一定の時間以上家庭学習をすることができるように，課題の出し方についての工夫が必要である。

③生活時間（メディア視聴時間・ゲーム時間）

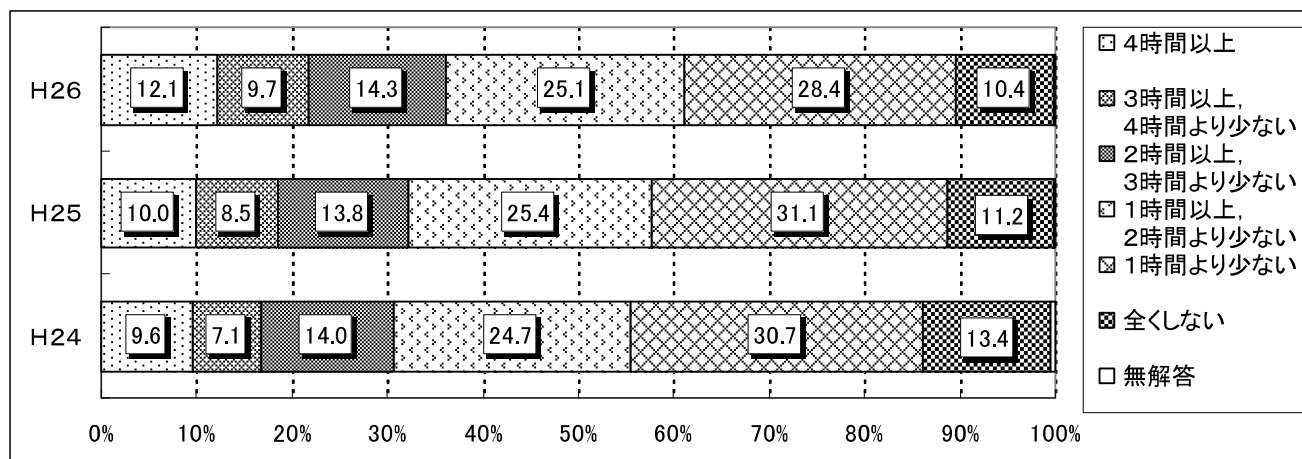
◇メディア視聴時間について

ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見ますか。（テレビゲームをする時間は除く。）



◇ゲーム使用時間について

ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，テレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム，携帯式のゲームをふくむ。）

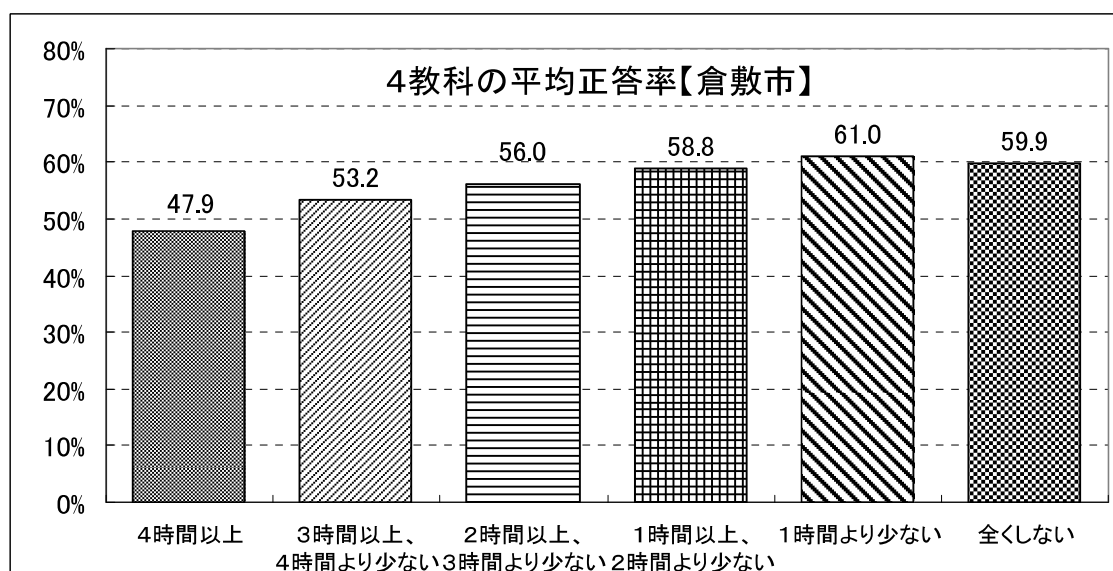


○メディア視聴時間については，H24から，少しずつではあるが長時間視聴する生徒の割合は減ってきている。

○ゲーム使用時間については，H24から少しずつ増えている。スマートフォン等通信機器の普及が進み，その使用時間が増えていることが原因と考えられる。メディア視聴時間はやや減っているものの，ゲーム使用時間との合計時間を考えると，電子機器の長時間利用傾向がますます懸念される。また，ネットモラルという視点も，今後の課題であると言える。

◇テレビやビデオ・DVD、ゲームなどメディアとの接触時間と学力の関係について

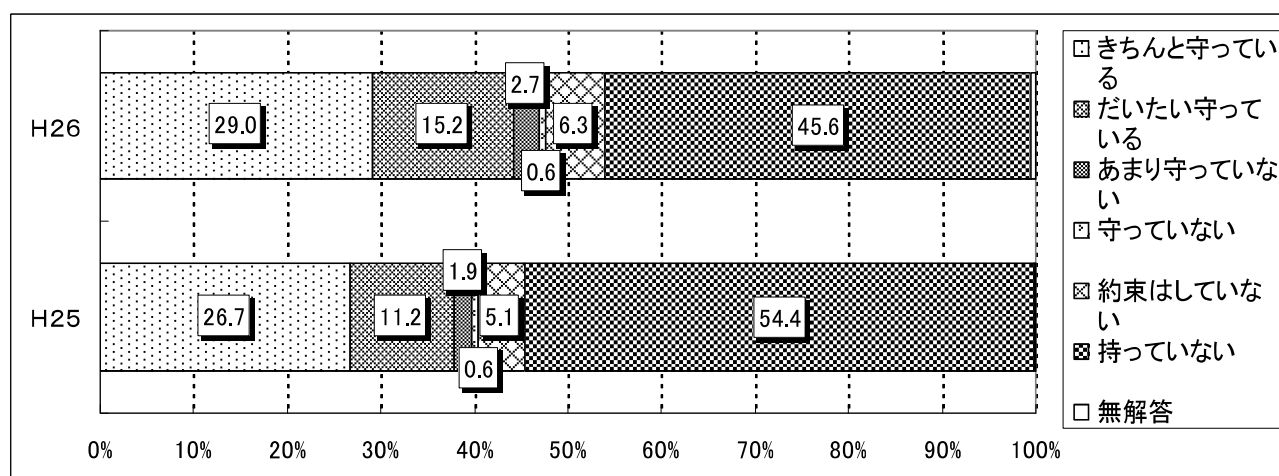
ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見ますか。（テレビゲームをする時間は除く。）



○メディアとの接触時間が少ない方が，平均正答率が高い傾向にある。このことは，ゲーム使用時間についても同じ傾向になっている。

④携帯電話・スマートフォンの使い方

携帯電話やスマートフォンの使い方について，家の人と約束したことを守っていますか



○携帯電話やスマートフォンを持っていない生徒の割合が，昨年度と比べて 8.8 ポイントも減っていることから，普及が進んでいることがわかり，今後もこの傾向は続くと考えられる。

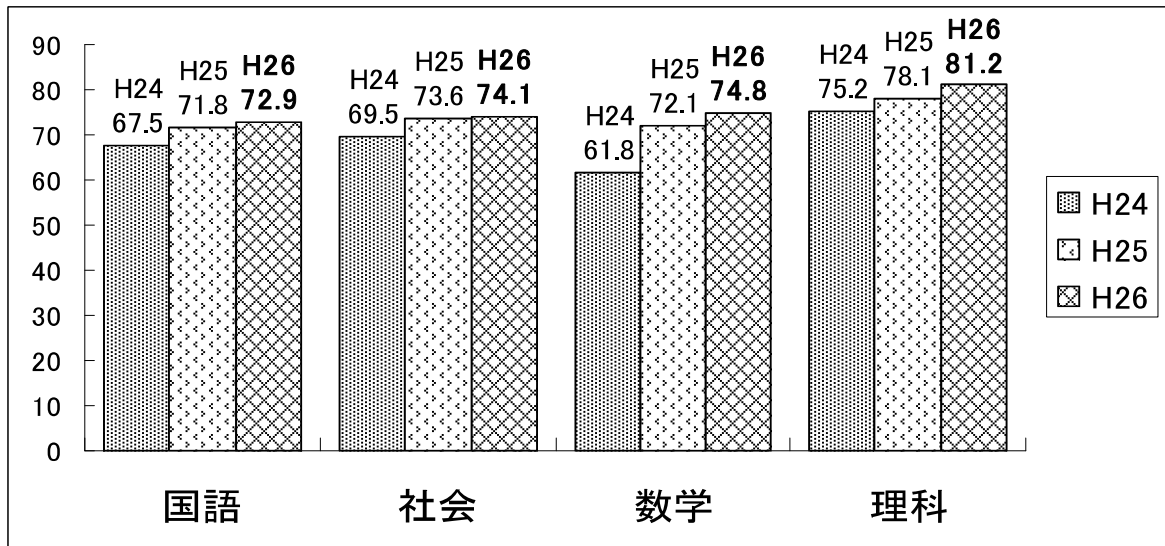
○約束をしていない生徒や，約束しても守れていない生徒の割合も増えていることから，使用する場所・時間・仕方等，ルール作りについて，しっかりと考えていくことが重要である。

(4) 学校での学習について

①教科等に関する意識

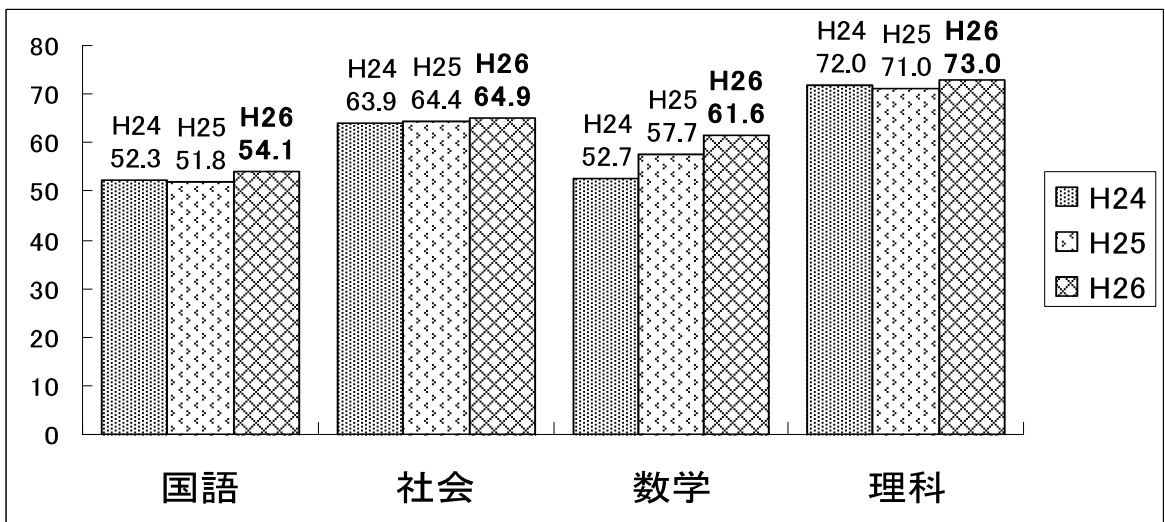
◇授業の内容はよく分かる。

肯定的な回答の割合 (%)



◇教科の勉強は好きだ。

肯定的な回答の割合 (%)

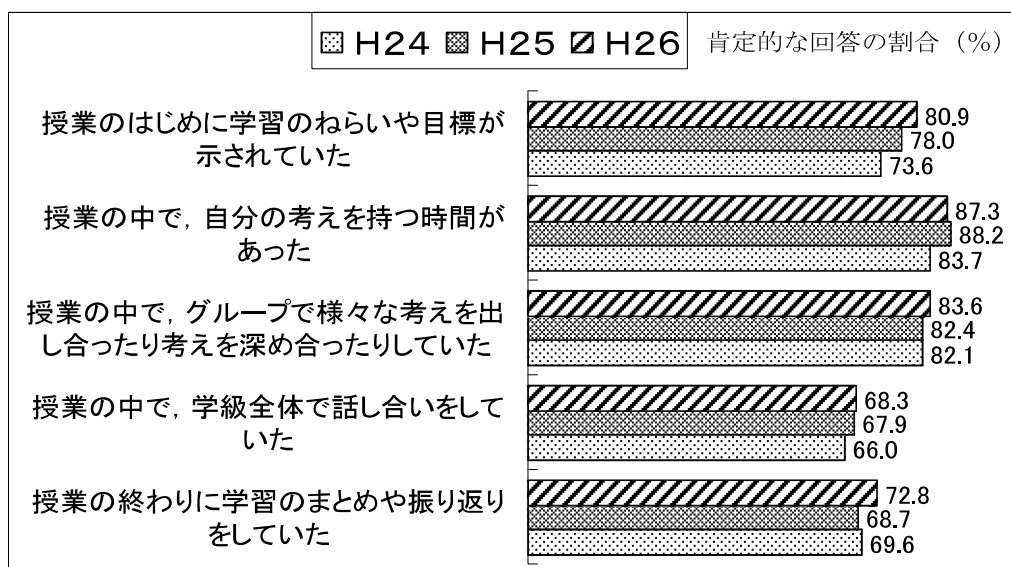


○「授業の内容はよく分かる。」の項目については、4教科とも、年々肯定的な回答をした生徒の割合が増えており、日々の授業改善の取組が成果となって現れていると考えられる。

○「教科の勉強は好きだ。」の項目の割合が少しずつ増える傾向にあることも、分かる授業を目指して授業改善に取り組んでいることの成果であると考えられる。今後もこれらの傾向が続くように授業改善を継続していくことが大切である。

②学校の授業

◇学校の授業では、どのように学習が進められていましたか。



○「自分の考えを持つ時間」の項目が、H25と比べてわずかに減少したが、H24から比較すると、肯定的な回答をした生徒の割合がどの項目でも増えている。

○県の数値と比較すると、やや下回っているが、その差は縮まる傾向にある。

・「ねらいや目標の明示」

市 (H26 : 80.9, H25 : 78.0)

県 (H26 : 84.8, H25 : 83.0)

差 (H26 : -3.9, H25 : -5.0)

・「まとめや振り返り」

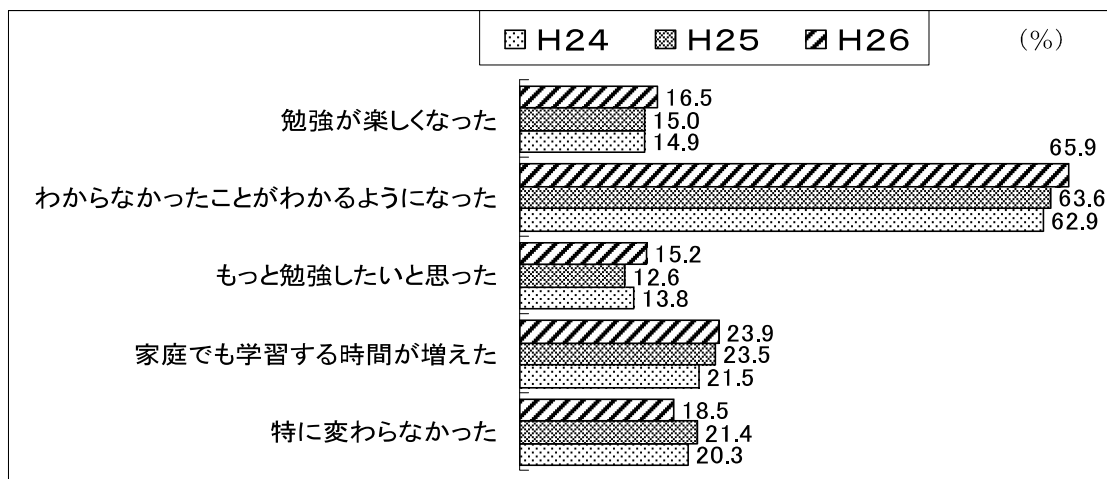
市 (H26 : 72.8, H25 : 68.7)

県 (H26 : 76.9, H25 : 74.0)

差 (H26 : -4.1, H25 : -5.4)

(5) その他の学習について

◇放課後や土曜日、夏休みなどで学校の先生や地域の方などと勉強して、どうでしたか。



○その他の学習についても、肯定的な回答をした生徒の割合が少しずつ増える傾向になっている。

○授業以外の学習により、分からない学習内容やつまづきが解消されており、今後も、放課後・夏休みの補充学習や個別学習等、授業以外で学習の場を提供することが大切である。

5 総 括

(1) 学力調査の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆国語について

- 「文の定義を理解する問題」、「意味のつながりを考えて一文を二文に分けて書く問題」では、H25全国調査の類似問題の平均正答率を大きく上回り、改善が見られた。また、県の平均正答率も大きく上回っている。
- 漢字の読み・書きの設問においては、6問とも正答率が8割を超えており、県の平均正答率との差も縮まっている。
- 昨年度に続き、「資料を参考に」、「理由をつけて」、「決められた字数で」等、複数の条件を付した記述を求める設問において、正答率が低く、無解答率が高い傾向が見られる。
- よりよい話し合いの方法を探るという目的に応じた読み取りや、登場人物の心情等に即した描写の読み取り等に課題があると考えられる。

◆社会について

- 国土に関する基礎的・基本的な知識の理解や、資料に基づく歴史的な事柄の説明を問う設問については、県の平均正答率を上回る設問が増えるなど、改善の傾向がみられる。
- グラフ等、資料の読み取りや情報の抽出などを問う設問において、一定の成果が見られるが、複数の資料から抽出した情報を根拠にして、結び付けて説明する設問に課題が見られる。
- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問の中で、自分の生活と関連がある設問に比べ、「兼業農家」「品種改良」等日常生活であまり接することがない事項を答える短答式の設問において課題が見られる。

◆数学について

- 整数・小数・分数の基本的な四則計算について、昨年度までは県の平均正答率を下回る設問が多かったが、今年度は県の平均正答率を上回った問題も多く、改善が見られる。
- 基礎問題の中で、図や表から数値を読み取り立式する設問では、県の平均正答率と比べても正答率が低く、課題が見られる。
- グラフから様々な情報を読み取り、数的処理を行うことについては、依然として課題が見られる。

◆理科について

- 「メダカの誕生」の設問は、概ね正答率が高く、多くの問題で県の平均正答率を上回っていた。
- 振り子の規則性の設問では、定着状況が見られるものの、電流と磁界等に関する知識について、確実な理解が図られていない。
- 重さと距離、磁石と電磁石といった、2つの要素を比較したり、推論したりして説明する設問において、実験結果の整理やその要因の考察をすることに課題が見られる。

(2) 学習状況調査の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆自己意識と生活の様子について

- 自尊感情や規範意識等で、肯定的な回答をした生徒の割合が高い。H 2 4 から大きな変化はないが、微増する傾向にある。
- 地域の行事への参加や、新聞やニュースへの関心は、少しずつ高まる傾向が見られるが、肯定的な回答をした生徒の割合は依然として低い。

◆家庭での学習・生活について

- 計画的な学習・予習・復習等、学習の取り組み方については、H 2 4 から比べて肯定的な回答をした生徒の割合が年々増えている。学習時間についても改善傾向が見られる。
- メディア視聴時間はH 2 4 から少しずつ減っているが、ゲーム使用時間は増えている。携帯電話やスマートフォンの普及等の傾向と併せて、今後も保護者の協力を得ながら、家庭での生活習慣を見直す必要がある。

◆学校での学習について

- 教科の学習に対する意識は年々高まってきている。「授業の内容はよく分かる。」「勉強が好きだ。」と答えた生徒の割合は、4教科ともH 2 4 から増加傾向にあり、日々の授業改善の取組が成果となって現れていると考えられる。
- 授業の進め方については、「ねらいや目標の明示」や「まとめや振り返り」等の項目で成果が見られる。しかし、「学級全体での話し合い」等、県との差が改善されていない項目もある。今後も、授業改善に向けて、工夫した取組を継続していくことが大切である。

◆その他の学習について

- 授業以外の学習（放課後・土曜日・夏休み等）についても、肯定的な回答をした生徒の割合が年々増えている。授業以外の学習でつまずきが解消されていることがうかがえる。

(3) 考察

- ◇特に、国語・数学の正答率がH 2 5 と比べて高くなっている。過去の全国調査（基礎問題）の類似問題が多く出題されており、春休みの課題等でも、類似問題に取り組んだことが成果の一因であると考えられる。
- ◇昨年度まで継続的な課題であった漢字や計算等の基礎問題は、県の平均正答率を上回る設問が増えており、少人数指導や補充学習等、基礎・基本を重視したきめ細かい取組が成果となって現れていると考えられる。基礎・基本の定着が、活用問題への意欲的な取組にもつながると考えられることから、効果的な取組を継続することが大切である。
- ◇無解答率については、H 2 5 は県平均と比べ高かったが、今年度は、全教科において改善傾向が見られる。しかし、記述問題については依然として高い傾向があり、今後も自分の考えをもったり、表現したりする時間の確保、字数や時間の制限のもとで学習のまとめを書く習慣を身に付けていく等、日頃から言語活動の充実を図る必要がある。
- ◇教科等に関する意識が肯定的に変化しており、授業改善の成果が見られる。一方で経年比較から授業の内容や構成等の改善傾向と学力の相関が明らかになっていることから、授業改善をより一層推進していくことが大切である。授業改善にあたっては、今年度県から示された「岡山型学習指導のスタンダード」や、全国調査も含めた調査問題を積極的に活用することが有効である。
- ◇学習状況については、経年比較から、多くの項目で肯定的な回答をした生徒の割合が高くなっている。県と比較すると、依然として多くの項目が下回っているが、その差は縮まっている。授業改善、授業以外の学習の充実等、今までの取組の継続と、更なる工夫・改善が必要である。

倉敷市の取組（県の取組を含む）

① 学力・学習状況調査の分析・研修

- 倉敷市教育委員会指導課により調査結果の分析を行い、学力向上研修会や教育課程連絡協議会等において、結果を説明する場を設け、小・中学校の教員が情報の共有をする。

② 授業力アップ支援事業

- 授業の経験が豊富で優れた指導力をもつ退職教員等を授業力アップ支援員として任用し、授業力アップ支援員が指定校の教員に指導方法や教材研究等について指導・助言等の支援を行うことにより、教員の授業力を向上させる。
- 授業力アップ支援事業指定校が、市内の学校の教員を対象に授業を公開し、研究協議会を開催することにより、市内の学校の教員の授業力向上に役立てる。

③ 学力向上支援事業

- 基礎学力の定着や基本的生活習慣の確立等に支援を必要とする児童生徒に対して、授業時間や放課後等の時間に、教員と連携しながら学習支援員が児童生徒に効果的な個別支援等を行うことにより、基礎学力の定着を図る。

④ 学力・学習状況改善プランの作成及び実施

- 岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校の課題を改善するために「学力・学習状況改善プラン」を作成する。目標を設定し、12月、3月に達成状況の確認を行う。

⑤ 小・中学校の連携による学力向上の取組

- 管理職研修や教員対象の研修会・説明会等において、中学校区で情報交換や取組状況等についてグループ協議を行う。
- 岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を活用し、中学校区の研修会を開催する。
- 中学校区において、行事や公開授業等の機会を通じ、小・中学校が互いの理解・連携を深めるとともに、基本的生活習慣（学習習慣を含む）等について、具体的取組を行う。

⑥ 確かな学力の基盤となる基本的生活習慣の確立

- 全国及び岡山県学力・学習状況調査における学習状況調査等の結果を分析し、保護者にノーテレビ・デーやノーゲーム・デーの取組等、家庭での子どもの生活習慣や学習習慣の形成について、「広報くらしき」等により啓発する。
- 倉敷市PTA連合会及び倉敷市公立幼稚園PTA連合会等、PTAとの連携を深め、働きかけを行う。

⑦ 春休みの課題の作成・配付

- 学年末・学年始休業中に、学習習慣を継続し、基礎・基本の事項を再確認することで、円滑に次学年及び中学校での学習への接続ができるよう、第５・６学年に春休みの課題を作成・配付する。

⑧ 指導教諭・授業改革協力員による公開授業

- 指導教諭及び授業改革協力員による、所属校での校内研究の企画・運営や各地域に向けた授業公開等により、地域の授業改革の核として、学力向上の取組を推進する。（岡山県事業）

⑨ 学習到達度確認テストの活用

- 各学校に配付されており、県総合教育センターのホームページからも配信されている学習到達度確認テストを活用し、児童生徒の学習到達度を確かめるとともに、学習指導の充実を図る。（岡山県事業）

⑩ 魅力ある授業づくり徹底事業

- 指導主事や退職教員等の積極的な派遣により、授業改善に向けた指導・助言等や校内研修等の支援を継続的に行うことで、教員の授業力向上を図り、児童生徒に確かな学力を育成する授業の実現を図る。（岡山県事業）

⑪ 放課後学習サポート事業(小学校対象)

- 小学校に支援員を配置し、放課後に補充的な学習を実施することで、児童に学習内容の確実な定着を図る。（岡山県事業）

⑫ 学びのチャレンジコンテスト(小学生対象)

- 児童が様々な課題に、個人やグループ、クラスで挑戦することを通して、考える楽しさや解けた喜びを味わうことにより、自ら進んで学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起を促す。（岡山県事業）

⑬ 授業改革推進リーダー・推進員の配置

- 地域内の学校を継続的に訪問し、授業改善や校内指導体制への指導・助言を専門的に行う「授業改革推進リーダー・推進員」を配置することで、教員の授業力向上や学校の学力向上の取組を支援するとともに、児童生徒の学力向上を図る。
※推進リーダー１名・推進員４名、本務校・兼務校合わせて市内１５校に配置
（岡山県事業）

〈参考資料〉

平成２６年度岡山県学力・学習状況調査の調査対象である中学校１年生が，平成２５年度に小学校６年生として調査した全国学力・学習状況調査の結果との比較。

※教科は，国語，算数・数学について掲載。

※下記の【県調査】の数値は，県立中学校等に進学した生徒の数値を含むため，当報告書のＰ３の数値とは差異がある。

教 科	国語			算数・数学		
調査種類	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】
年 度	H25		H26	H25		H26
倉敷市平均	62.0	48.7	68.1	74.3	58.0	57.4
岡山県平均	61.4	47.7	67.4	74.6	57.2	57.7
全国平均	62.7	49.4		77.2	58.4	
県との差	+0.6	+1.0	+0.7	-0.3	+0.8	-0.3
国との差	-0.7	-0.7		-2.9	-0.4	